

令和4年度  
(2022)

事業報告書



社会福祉法人  
神港園



# 令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

## 目 次

### 令和4年度 事業報告

I 総括事業報告	.....	1 ～ 8
II 事業報告		
[1] 法人本部	.....	9 ～ 20
[2] 養護老人ホーム神港園	.....	21 ～ 26
[3] 神港園シルビアホーム	.....	27 ～ 34
[4] 神港園しあわせの家	.....	35 ～ 42
[5] 神港園サニーライフ白川	.....	43 ～ 50
[6] さん舞子神港園	.....	51 ～ 62
[7] さん舞子神港園いこいの家 (サン舞子マンション 含む)	.....	63 ～ 68
[8] 神港園レインボー西宮	.....	69 ～ 74
[9] 神港園レインボー酒蔵通	.....	75 ～ 78
[10] 医療事業部	.....	79 ～ 82
[11] しあわせの村保育園	.....	83 ～ 86
[12] けあスクール	.....	87 ～ 88
[13] 介護しょっぷ神港園	.....	89 ～ 90

### 令和4年度 事業報告 資料集

資料① 施設入居関係	.....	91 ～ 96
資料② ショートステイ関係	.....	97
資料③ デイサービス関係	.....	98
資料④ ホームヘルプ関係	.....	99
資料⑤ 居宅介護支援事業所関係	.....	100
資料⑥ あんしんすこやかセンター関係	.....	101
資料⑦ 事故関係	.....	102 ～ 104
資料⑧ 医療・保健関係	.....	105 ～ 106
資料⑨ 栄養関係	.....	107
資料⑩ 法人職員関係	.....	108 ～ 109
資料⑪ 職員採用・離職関係	.....	110
理事会・評議員会開催状況	.....	111 ～ 115



令和4年度  
(2022)

事業報告書

(事業報告)



# 令和4年度 社会福祉法人神港園 事業報告

理事長 高谷 雅子

## I. 法人基本方針

### 1. 法人理念

#### 《黄金律》

自分がしてほしいと思うことをひとにしてさしあげましょう

実現指標は、常に関係者の気持ちや立場に配慮し、  
・相手を笑顔にすること ・より多くの心のこもった笑顔を

#### ● ご利用者、ご家族へ

総括事業報告・重点報告 1

初めて不安を感じた際の相談受付から、施設における看取りまで、良質で、いまその方に必要な支援を提供し、常に安心のある生活を支える

#### ● 職員へ

総括事業報告・重点報告 2

無資格未経験人材を福祉の担い手として育成  
体系的な人事・教育諸制度と、多彩多様な拠点・部署を擁する規模の強みを活かし、福祉人・職業人としての成長支援と仕事の喜びを提供する

### 2. 高齢者福祉総合拠点の地域展開

総括事業報告・重点報告 1

3

欠かすことのできない福祉基盤として、地域社会からの支持を確かなものとする

・福祉相談窓口	・訪問介護	・養護老人ホーム	・医療系事業
・介護予防支援	・通所介護	・特別養護老人ホーム	・その他の関連事業
・居宅介護支援	・短期入所生活介護	・介護型ケアハウス	放課後等デイサービス
・福祉用具貸与、販売事業		・グループホーム	企業主導型保育事業
		・サービス付き高齢者向け住宅	資格取得研修事業



社会資源としての  
機能の発揮

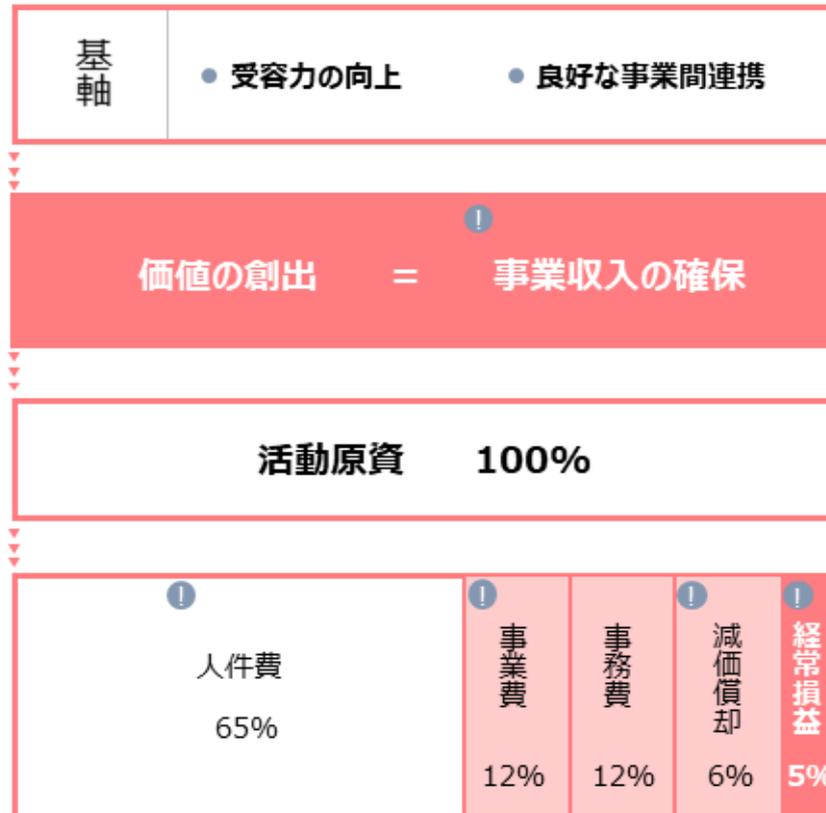
=

経営資源を  
最大活用して  
福祉サービスを提供

### 3. 安定経営

持続経営という社会的責任を果たすため、安定した経営構造を築く

#### ● 経営構造



※図は希求すべき安定経営のモデル構成比率（年度固有の例外的事項は除く）

#### ポイント

- ① 収入確保…事業ごとの高い目標稼働を達成し、事業活動の原資とする。
- ① 人件費…良好な収入確保の下、独自基準の手厚い人員配置と十分な生活賃金水準を両立する。
  - ※ 地域全般の担い手不足を背景に、良質な支援の基盤である人財確保は最優先課題
  - 原資：1人当たり人件費×職員数は、概ね収入の65%（外部への業務委託費を除く）
  - 手厚い人員配置 → サービス水準の担保と、長期勤続に資するやりがい醸成、負荷軽減
  - 十分な生活賃金水準 → 生活の安定は、職場として選ばれ続けるための基本条件
  - 限りある原資の中で、相反する二者の、市場原理と職員意識に基づくバランスを調整する  
（総額は、生産性と連動する次期員与原資の増減調整により管理）
- ① 事業費・事務費…人件費以外の各種費用は、無駄を根絶し、活かした費用への支出を徹底する。
- ① 減価償却費…事業を行う建物や各種設備の維持更新のため、長期的・計画的に活用する。  
（図では国庫補助金等特別積立金取崩額分を控除）
- ① 経常損益の確保…安定経営の根源であり、事業の維持発展を支える原資
  - ※いずれは発生する想定外の事態にも備え、常に経営体力の強化が必要

## 4. 創立以来70年余の歴史と未来への成長



高瀬老人ホーム神港園



神港園シルビアホーム



神港園あわせの家



神港園サニーライフ白川



さんじ子神港園



さんじ子神港園いこの家



神港園レインボ－西宮



神港園レインボ－森崎通



あわせの村保育園

1951年の創立以来、時に応じて変化する経営課題の克服に尽力しつつ、発展を目指してきた法人の歴史。その歩みに、慎重にリスクを見極めながら、新たな事業拡張がもたらす成長を着実に積み重ね、地域で培ってきた信頼を、更なるステージへと高めていく。

事業拡張 = 地域貢献の新たな基盤を築く

総括事業報告・重点報告 1

<p><b>外発的 動機</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化で確実に不足する福祉資源の整備</li> <li>● 他法人の事業伸張と比較した相対劣位の回避</li> </ul>
<p><b>内発的 動機</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経営基盤の強化がもたらす持続的成長</li> <li>● 静止することで沈滞する組織の活性化</li> </ul>

## Ⅱ. 総括事業報告

令和4年度は、3年目を迎えた新型コロナウイルス感染症流行の第6波（令和4年1月～5月）で幕を開け、新規感染者数が下がりきることなく、未曾有の感染力を持つオミクロン株BA5による第7波（7月～9月）、第8波（10月～2月）へと続いた1年でした。

ご入居者と職員による大規模な感染クラスターが、北区・須磨区・垂水区・西区の各施設で発生し、医療機関の逼迫によってご入居者の入院が例外的措置となる中、隔離区画における感染者ケアに尽力しました。在宅サービスのご利用者やご家族の生活への悪影響を抑えるべく努力しましたが、自宅療養職員・待機職員の増加により、事業の休止や利用制限に踏み切らざるを得ない施設がありました。

ただ、次々と大型クラスターの報告が舞い込む地域情勢において、それぞれの事業が比較的早期に感染の鎮静を実現できました。これは、規模を活かして部署間・職種間・地区間応援を編成し、隔離管理の徹底に邁進した職員の努力の賜物と自負しています。

結果として、年度目標としていたウィズコロナの施設生活向上は大変限定的なものとなり、安全優先のためとはいえ、ご入居者やご家族の当たり前の日常の喪失は3年間続くこととなってしまいました。感染法上の5類移行が果たされる次年度こそ、私ども施設は全力を挙げて社会的生活を取り戻したいと考えています。

前年度3月に発生したさん舞子神港園ショートステイにおけるご利用者の負傷が、夜勤職員による傷害であったことが判明して4月に逮捕される事態となり、新聞でも報道されました。被害ご利用者やご家族には本当に申し訳なく、また全ての法人関係者にとって誠に遺憾で、社会的責任が大変大きな事件です。職員の心の安定の重要性を痛感するとともに、施設の虐待防止対策が基準を満たしていたことで行政処分の対象にならなかったとは言え、予防に取り組む当事者意識にはやはり不足があったものと反省しています。

半月ほどで傷が完治したことや、退職した加害職員の謝罪もあってご家族との和解に至りましたが、本当の意味での解決は今後の再発防止に掛かっています。万能薬のような対策はなく、独自の手厚い人員配置を堅持しつつ、認知症をはじめ精神疾患や感情のマネジメント等に関する研修教育の拡充、ご利用者向け・職員向けの内外相談窓口の周知と活用啓発、現場のちょっとした違和感でも顕在化する職員アンケート等の実施と即時共有による早期組織的対応等、引き続き対策強化を図ります。下期には、職員が日常のちょっとした感謝の気持ちを、互いにアプリポイントの贈呈によって形にできる「ありがとう制度」を導入しました。目線を変えた職場活性化に繋げていきます。

また、各施設内の様々な調査資料として、モニター映像と音声の記録が極めて有用であることを、改めて確認しました。ICT技術の進化により、人員不足を補って事故防止等の見守りを強化する機器が開発され、地域の導入施設も増えています。法人においても、ご入居者と職員の双方から望まれる先端機器の導入を進め、施設環境の安心安全を高めていきます。

## <重点報告>

### 1. 支援の品質向上と福祉サービス提供の維持・拡充・多職種連携

\*科学的介護の実践 [生活リハビリ等の促進による機能の維持回復ほか]については、法人内の全ての特別養護老人ホーム（以下「特養」）・ケアハウス・グループホーム、並びに、最も小規模単独の西鈴蘭台デイサービスほっと以外の全てのデイサービスで、科学的介護推進体制加算を取得できている状況です。多職種の連携強化により、科学的根拠に基づいた自立支援のためのケアを提供できるよう努めています。

同様に、多職種協働による特養の加算として、栄養マネジメント強化加算や排泄支援加算、褥瘡マネジメント加算を取得している施設もあり、介護保険制度によるサービス評価に当たる各種加算の取得に向け、今後とも対象ご入居者に応じた支援体制を整えていきます。

\*ノーリフティングケアの推進について、各拠点ともノーリフトケアベーシックコースの受講者が増えました。拠点ごとに入居者像の違いがあることや職員への浸透状況の違いなどで導入機器の数量や種類に差がありますが、移乗ケアをスムーズにするためのシート使用は全ての拠点で進めています。以下に拠点ごとの導入機種や種類を示します。

#### ノーリフト機器使用状況(令和5年3月時点)

	シルビア ホーム (特養)	しあわせ の家 (特養)	サニーライフ 白川 (特養)	さん舞子 (ケアハウス)	いこい (特養)	レインボー 西宮 (GH)
床走行式リフト		4	2			
電動式スタンディングリフト		4	2			
非電動式スタンディングリフト		2	1			
スライディングボード	17	3	15	6	16	
スライディングシート	8		9		30	2
フレックスボード	7	7			2	
ポジショニング用		60				
イージーターン					13	
ペンギンサポート					1	

\*福祉用具貸与・販売事業「介護しよっぷ神港園」（白川地区拠点）を5月に新規開設しました。利用者確保に予定外の遅れが生じましたが、地域包括ケアの重要機能として、細やかな事業間連携の下に在宅介護を支えるため、専門性に裏打ちされた提案力の習得に努めていきます。またスケールメリットを活かした物販納入力強化により実績確保を図ります。

＊リハビリテーション特化短時間型デイサービス事業所「リハデイ Gs（ジーズ）さん舞子神港園」を6月に新規開設しました。コロナ禍の逆風にさらされ稼働確保に苦慮しましたが、神港園らしさのある特色づくりを進めて、ご利用者の支持を確かなものに育てていきます。

＊加速する高齢化の新たな受け皿となるべく開設準備を進めている須磨区拠点サテライト事業「神港園サニープラザ妙法寺」の建築計画（5,060㎡：特養、サービス付き高齢者向け住宅、通所介護、外来診療所等）は、突然のウクライナ情勢を受けた物価高騰に応じて経営シミュレーションの様々な修正を迫られる等、厳しい情勢の中で令和6年9月竣工を目指しています。須磨区拠点の発展と、医療事業強化の基点とすべく、開設準備に注力いたします。

＊養護老人ホーム神港園の大規模修繕工事を行いました。また、多数の入所希望を集め、ますます不足する地域資源である従来型特養100床を備えた、神港園シルビアホームの大規模修繕工事～ICT設備強化計画に着手いたしました。

## **2. 人財活用～人財確保施策の整備・改定**

＊全法的な研修教育体系強化の一環として、介護資格者等の養成研修事業「けあスクール神港園」における実務者研修講座（一般募集あり）の令和5年1月新規開講、外国人介護人材向けの資格取得準備のための日本語研修の7月開講を行いました。また新規導入したEラーニングサービスの、階層別、職種別研修体系への落とし込みを次年度予定しています。残念ながら、新マイスター制度の創設によって理念の浸透を向上させる等の取組み、ウイズコロナで経験したテレワーク等を含む、より自由で新しい働き方の発展的導入と法人に適した制度化等については、次年度への持ち越しとなりました。

＊国策である第3の処遇改善制度に応じて新設した「職員処遇支援手当」の月額支給を開始し、非介護職に対しても、介護職に特化した従来の処遇改善制度に由来する待遇不均衡の是正を図るとともに、負荷に応じた細かな待遇調整を行いました。非介護職内の新たな不均衡を避けるため、独自に年約16,000千円の人件費原資を投入し、公的制度の対象外である地域包括支援センターやケアプランセンター等所属職員も上乗せ支給対象に決めました。

＊人財確保の多面的強化策として、人事制度プロジェクトから提案のあった、福利厚生アウトソーシングサービス：リロクラブ（契約社数10,800社・会員数690万人）の導入（常勤職員対象）を決定し、判断の決め手となった付帯サービスも含めて11月から利用を開始しました。職員と法人がアプリで繋がり、Eラーニング、災害時の安否確認、職員アンケート、ちょっとした感謝を職員同士がポイントで贈り合う「ありがとう制度」等を活用できます。基本の福利厚生面では、職員とその家族が、生活と密着した幅広いサービスで、割引やポイントを使用できる楽しみを提供し、職場の多面的な魅力向上に繋がります。

計画していた国内遠隔地採用の再開拓は停滞していますが、資格と有効前歴他の要件を備えた中途採用介護契約職員の正職員登用を早期化することとし、雇用の安定を進めています。また、誕生月特別休暇（1日）の次年度施行準備を整えました。

### **3. リスク管理と業務の効率化・標準化に資する「神港園スタンダード」の進展**

＊感染症対策法人会議を毎月開催し、新型コロナウイルス対応の共有とルール更新を行いました。クラスター感染が発生した際には、拠点对策本部の要請に応じて、法人対策本部が人的応援・物的応援の拠点間調整を行い、早期鎮静に務めました。

＊内部統制と規則類の体系的整備、更新等の管理向上に関し、外部コンサルタントと内部統制強化の推進を図り、経理規程や決裁処理規程の改定等、ガバナンスとコンプライアンスの強化を進めました。またその一環で、会計処理の合理化標準化を図るためのマニュアル作成と ICT を活用した業務フロー構築を依頼しました。間接処遇職種の業務集約と合理的な再配置、会計関連業務の外注検討（新たな全体最適の模索）を進める上で、次年度の段階的導入に繋がる見通しです。

＊ICT 活用の段階的な法人内全方位展開を計画する中で、将来的な介護ロボットとの連携を踏まえた介護記録・請求管理システムの更新を行うとともに、各事業者の商品特性の分析を進めています。

＊時代の変化を反映し、車通勤等における燃料費計算基準の適正化を図りました。改定前は 10 km/L を基準に算定していましたが、大手 Web サイト公開情報（現在は約 14 km/L）に応じて更新する運用となりました。また駐車場の職員完全無料供与に関して、給与の現物支給に一部抵触する可能性に言及された事例があり、かつ現実に駐車場の維持費も必要である点等から、極めて低額の受益社負担を導入しました。

＊事業継続マネジメント（BCM）の法人内、拠点内の 2 階層での水準向上を図るため、外部機関からの情報収集及び研修等に取り組んでいます。法人としての事業継続計画（BCP）の指針を改めて作成し、次は各拠点及び各サービス部門の計画及びマニュアルを再度見直している段階です。また、令和 4 年 1 1 月から導入した福利厚生のリロクラブによる安否確認サービスを利用して、災害時にはいち早く職員の安否確認ができるようにシステム作りに取り組んでいます。

### **4. 生産性の向上と合理的なコスト抑制**

＊各拠点の指標に照らした生産性向上を、原資加算で評価する賞与制度の運用を開始しました。拠点毎の実績評価は、評価用に調整した収入と損益（拠点の管理下でない寄付金や減価償却費、修繕費、新規事業の先行費用、本部配賦等の、除外項目を除いた数値）から算出した指数で行います。指数は、自拠点の予算及び前年度実績との対比のみによって導くため、他拠点が介在しない点で全拠点が同条件です。今年度は正職員賞与原資の 0.1 ヶ月分を、実績ランクと規模に応じて各拠点に分配しました。法人全体の経営実績に基づく総原資をベースに、拠点毎の原資加算を一部併用することで、賞与と拠点実績＋個人成果の連動を実感しやすくなります。今後も運用の充実に努め、職員の意欲と当事者意識を高めることで、経営体質の向上を図ります。

＊コスト抑制に資する施策として、社用携帯電話の契約更新に合わせて大手通信会社の格安プランに移行し、内容も見直すことで、11 月から月次費用を 6 割削減しました。

＊前年度から実績の悪化が著しい企業主導型保育事業しあわせの村保育園に関しては、コロナ禍の出生率低下と待機児童解消に伴う根深い園児不足が経営を圧迫しています。可能な限りの運営コスト適正化を進めており、物価高騰等に応じた料金の適正化、何よりしあわせの村内という類まれなる環境を活かした園児数増ほかの収入確保に尽力し、地域資源としての役割継続に向けて努力を続けます。

＊予定の事業期間を超えて、老朽化と維持経費が見越せせない住宅型有料老人ホーム「サン舞子マンション」に関しては、3名のご入居者が隣接するケアハウスに転居の運びとなり、10月末付で事業廃止となりました。こうべ市民福祉振興協会による昭和59年の設立以来、平成15年度からの新入居停止、介護施設への段階的な事業転換計画に基づく北1・2号館の解体と平成17年度からの神港園運営受託及び介護型ケアハウス開設、平成23年度からの直営化、本館・南1号館解体後の平成25年ケアハウス南館開設増床、平成26年の特養いこいの家開設を経て、令和5年6月完了予定の南2号館解体をもって、38年間の歴史に幕を下ろすこととなります。ご入居者の高齢化に伴う介護需要の受け皿として、継承事業者の責任を19年間大過なく果たすことができたと考え、誠に安堵しています。

## 【1】法人本部

業務執行理事 高谷 明

### 1. 事業報告

コロナ禍も3年目を迎え、初期と比較してかなり変化が見られました。壮年期以下の致死率はインフルエンザ並みにまで低下したものの、高齢者のリスクは比較的下がっていないとの報道もあり、厳戒態勢の緩和は限定的でした。また感染力が飛躍的に上がったことから、未経験の大規模な集団感染が複数拠点で発生し、対応に追われました。ご利用者の感染報告を聞かない月は稀有で、事業全体が多大な影響をこうむった1年でした。

組織変更として、診療所を含む西区拠点全体を所管する、施設長兼医療事業部事務部長及び副施設長兼診療所事務長を配置して一体的な管理とすることで、規模の強みを活かした事業間連携が実現可能な体制としました。同様に垂水区拠点でも、地区の施設長の下で2名の副施設長が担当する事業区分を一部移管し、より一体的に経営を行える体制としました。

人財面では、新任副施設長1名、新任チーフリーダー3名、新任リーダー5名の昇任を実現できました。幹部並びに役職者の世代交代に備えて、引き続き後任候補者の育成を急ぎます。管理向上を図るため、数年間滞っていた人員配置基準（手厚い法人加配によりご入居者対介護看護職員比率2.0：1以上）の更新を行いました。基準総人員数（令和5年3月時点574.0名）に対する常勤換算配置人員数は100.7%の実績でした。相談援助職に不足傾向がありますが、介護職数はやや多めの水準にあり、部署ごとの調整を上手く図りながら、今後は、ケア品質を維持しつつ生産性と一人当たり賃金の向上を目指すのか、生産性や待遇の優先順位をやや下げて法人人員基準を増員し、ケア向上に資するパート人員の活用等を強化した新たなワークシェアを強みとすること等を目指すことも選択肢となるのか、安定経営の要である人財確保を左右する戦略の塩梅を、慎重に調整していく必要があります。いずれにせよ、あらゆる社会情勢が担い手不足の加速を示しており、外国人介護人材の活用とICT技術の進化を手中に収める外、事業継続の活路はありません。

先の参議院選挙では、介護福祉の各団体が一致して推薦した代弁候補者が唯一の議席を失い、現場の実情を関係法案に反映頂く道りが遠のいたと言われていました。公的な制度に則り公的な財源によって公的サービスを提供する責任を担う介護福祉事業者にとって、自助では対策の見つからない課題がいま山積しています。次回令和6年度の介護・医療・障がい制度トリプル改定を前に、子育て分野の財源確保強化が叫ばれています。厳しさを増す事業環境に耐えうる自己改革を、法人の全役職員が当事者であることを再確認して実行していきます。

## 2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	3,936,795	3,938,825	△2,030
前年度決算	3,898,813	3,852,227	46,586
対前年(差)	37,982	86,598	△48,616

### ◆情勢と取り組み

今年度は「ケアハウス」、「サニーライフ白川」、「しあわせの家」、「西区拠点」の4施設での新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）のクラスターが発生し、在宅系を中心に稼働率の下振れによる大幅な減収となりましたが、神戸市のコロナ禍における物価高騰対策福祉施設等緊急支援事業給付金や新型コロナに係る介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業補助金など補助金全体で前年差約 64,000 千円増により、令和 4 年 2 月からスタートした介護職員処遇改善支援補助金（前年差約 30,000 千円増）を含めると収益全体の前年差は約 38,000 千円増となっております。

費用については、水光熱費高騰やコロナに関する消耗品関係など経費が増えており、事業費は前年差約 53,000 千円増が影響し、介護職員処遇改善支援補助金に応じた手当分（居宅包括の対象外職員の法人持ち出し分（約 13,000 千円増）を含め約 43,000 千円増を含めると、経費全体で約 86,000 千円増加となっております。

法人全体のサービス活動増減差額は前年差△48,616 千円減の△2,030 千円と厳しい結果となりましたが、高騰した水光熱費の各施設の削減への取り組みや不要不急の経費節減により、大幅な赤字は免れました。養護の外壁補修等修繕費（22,383 千円）と妙法寺の新規事業に関わる解体費用（10,500 千円）を除くと、約 31,000 千円の黒字に相当すると評価できます。

### 【サービス活動収益について】

在宅系で特にショートステイについては、前年差額で約 43,000 千円減、ホームヘルプは前年差が約 12,000 千円減と大幅に下振れ傾向で推移しておりますが、デイサービスは約 23,000 千円増、居宅介護支援事業は約 10,000 千円増などカバー出来ている事業もございます。

令和 5 年 5 月 8 日をもって新型コロナの感染症法上の位置付けが、5 類に引き下げられました。対面による面会の再開を行えば、外部との交流が増え、クラスターのリスクが高まります。感染リスクは変わらない中で、どう安全性を確保するか依然として新規入居者や利用者に対する予防対策は最重要課題として取り組む必要がありますが、今年度も、ご利用になる方にもっと喜んでいただけるよう、様々なアイデアや工夫を重ね、新たなご利用者、リピーターの増加に努めてまいります。

### 【サービス活動費用について】

費用全体では、物価高騰に伴う水光熱費の大幅値上げ（前年差約 32,000 千円増）や新型コロナウイルス等による消耗品関係や時間外の増加などが主な要因と思われます。業務委託費の大幅な増加（約 29,000 千円）要因については、妙法寺の解体費用（10,800 千円）や人材紹介料（約 8,000 千円増加）、新規事業の介護しよっぷ（福祉用具）の仕入れ（約 9,000 千円）などが含まれます。

一方で保育園においては、委託業者の保育士配置見直しにより、11,462 千円減となっております。修繕費については、全体で前年差が△13,000 千円となっておりますが、養護の外壁等大規模修繕費(22,383 千円)も含まれております。（前年度はサニーライフ白川の外壁修繕費約 29,152 千円計上）ここ数年来、各施設の建物や設備関係の老朽化が進んでおり、大規模改修や更新の時期を迎えておりますが、費用をいかに確保していくかが、大きな課題となっております。

特記事項として、前年度から、監査法人の指導により、医師及び PT・OT の各施設への派遣料（医療事業部収益）を内部取引消去（△45,356 千円）する処理に変更しております。

費用における最重要課題の人件費であります。人員配置基準の見直しなど、今年度はある程度圧縮できたかと思われませんが、今後も継続して、人事評価に加え、拠点別実績を加味した個別評価等により生産性の向上を積極的に評価して連動する賞与制度運用の導入を進めていく必要があります。

### 【本部管理費用の状況（各拠点会計への配賦額含む）について】

- ◇サービス活動収益：272 千円（予算執行率 181.3%）
- ◇サービス活動費用：157,618 千円（予算執行率 107.5%、予算差 10,957 千円増、前年差 29,341 千円増）
- ◇サービス活動増減差額：△157,346 千円（予算差 10,835 千円増、前年差 29,139 千円増）

今年度は業務委託費において、新規事業に関わる妙法寺の解体費用（10,500 千円）と人材紹介料（前年差約 8,000 千円）増加などが影響しており、費用全体で前年よりも増加しております。

## 3. 部署報告

### 3-1.財務部

#### 《部門行動指針》

- ① 月次サマリーシート、水光熱比較表など、より実態把握、分析に適した資料への見直し
- ② 月次資料（法人全体・保育園）予算・決算業務の連携
- ② 週次 MT で進捗、納期管理することにより、計画的な業務遂行の実現を目指す

## 《部門報告》

- ① 各拠点の運営状況を計数だけでなく、現場実態を共有することにより的確でタイムリーな対応を行いました。
- ② 事業予算執行力強化のためのフォロー体制を修正 従来の資金収支予算と事業活動予算の二本立てから、考え方として令和4年度予算自体は資金収支計算書をベースとし、事業活動計算書は拠点の事業運営の管理資料として活用しました。
- ③ 保育園の運営を管理している人事部と連携の上、保育園の収支改善対策を担当し、委託業者との交渉により、保育士の人員配置を見直しにより、大幅な収支改善を行う事が出来ました。
- ④ 総務部（ICT）と連携し、事務業務の省力化・合理化を目指した業務統合や標準化の取り組みの推進（記帳代行等）を継続して行っておりますが、拠点ベースに留まり、全拠点への取り組みには至っておりません。
- ⑤ 新規事業(サニーライフ白川拠点のサテライト事業)において、各部署と連携し、資金調達を行いました。

### 3-2. 総務部・ICT 推進室

#### 《部門行動指針》

- ①法人ガバナンスの強化へ向けた内部統制プロセスの確立
- ②法人における事業継続計画（BCP）の策定推進
- ③間接処遇職種の効率的な業務の設定、再配置等による生産性の向上
- ③ICT を活用した業務省力化の取り組みの推進及び運用における統括的な管理体制の構築によるコンプライアンスの強化

#### 《部門報告》

- ① 日本経営のコンサルティングを受け、業務の有効性・効率性、財務報告の信頼性、法令等の遵守、資産保全の推進に向けた基盤整理より開始した、基盤整理の一環として規程等の内容も確認、一部改訂へ向けた整理を行い経理規程等の改訂を行いました。
- ② BCP の策定推進においては、拠点及び委員会等との連携ができておらず停滞していますが、神戸市老施連モデルをベースにした BCP の策定を開始し、ハザードマップ等の情報収集を行いました。
- ③ 白川拠点をモデルケースとして、外部事業者による記帳代行に取り組んだ、その成果として、小口現金や業者支払・本部経費配賦等の仕訳自動入力の仕組みを作成しました。今後、全拠点への展開を目指し業務の効率化を推進します。
- ④ ICT 活用による業務省力化については、RPA（Robotic Process Automation）の活用至今一つ取り組めていない現状であります。③の記帳代行処理の中で取り組んだ仕訳自動入力の仕組みを RPA に活用してオートメーション化し、一層の効率化を図ります。

### 3-3. 人事部

### **(1) 人事中期計画の策定**

次世代リーダー候補の育成のため令和 3 年度より開始しました「リーダーシップ力向上研修」は 2 年目を迎え研修受講者の自身の役割を意識した行動変革による組織内好循環の兆しが見えつつある状態にあります。

20 代で介護リーダーに異例の抜擢をした職員は役職以上にその役割を意識し、組織マネジメントに注力しており年功に囚われない人事制度の在り方を模索する契機としたいと考えています。また、組織運営の変革のエンジンとして若い人財の育成、発掘に引き続き注力して参ります。

### **(2) 職員満足度向上に向けた取組**

令和 4 年度の意識調査に eNPS (Employee Net Promoter Score = 職員の正味の法人推奨比率) を調査項目に設けました。スコアは法人全体で ▲ 50.6% (医療・福祉の平均 ▲ 65%程度) と業界平均より高スコアでしたが及第点としていました▲ 40%を下回る施設は 2 施設に留まりました。意識調査結果によりスコアに起因するキーファクターは「利用者への貢献実感 (やりがい)」、「正当な評価」、「育成・成長の環境及び制度」にあると推測できますので、コミュニケーションツールとしての人事評価制度のあり方、人財育成のあり方について改めて考える契機とし人事部内で効果的な研修の再構築、施設幹部との人的情報共有の連携を強化して参ります。

制度の変更については仕事の家庭の両立、調和をより一層推進する事を目的に、アニバーサリー休暇制度を導入し、その第一弾として令和 5 年度より誕生日休暇 (誕生月の 1 日を特別休暇) を設けました。今後の拡大については引き続き法人内で検討して参ります。

### **(3) ダイバーシティーマネジメントの趣意審と確立に向けた取組強化**

令和 4 度中に技能実習生第一期生が満期を迎えました。帰国する職員がいる一方で、特定技能への切り替え 介護福祉士取得による在留資格の獲得等、長期継続雇用への事例及びその意思表示者が格段に増え続けています。生活・就労環境、介護のプロとしての育成環境が整備されている事実をより浸透させ、戦力化を図ると共に令和 5 年度の事業計画にあります外国人介護人財 40 名体制の早期実現へのシナリオの実行度を高めて参ります。

女性活躍推進の一環として参画している兵庫県経営者協会の「VAL21」の法人内での活用はまだ途上ですが、段階的な進化を法人内で模索していきたいと考えています。

女性比率が高い業種である事から、令和 4 年度に就業規則を改定した所定労働時間の短縮措置の延長 (3 歳未満から小学校就学の始期) は対象職員から高い評価をいただいておりますので引き続き女性が働きやすい職場環境の整備に取組んで参ります。

## **3-4. 事業部**

### **1. けあスクール神港園における研修体制の強化**

介護福祉士実務者研修通信制の開講準備を行い、兵庫県の指定を受けて令和 5 年 1 月 1

日に開講しました。法人内外から9名の受講生がレポートを提出し、3月29日から座学を開始しています。

介護職員初任者研修を令和4年4月と10月を初回に年2回開講し、11名が修了しました。

介護福祉士・介護支援専門員の受験対策講座を西区で開講し、受講した外国人材1名が介護福祉士に合格しました。

外国人材に対し、通年で特定技能評価試験の教材及び作成した教材を使って、介護関連知識の習得を目指しました。令和5年度は、初任者研修教材を使って、資格取得を目指した研修を開講します。

## **2. 新規事業企画への関与**

サニープラザ妙法寺の事業内容の検討に参画し、職員配置やサービス総量、家賃額や部屋割り等の検討を行いました。サニーライフ白川の福祉用具事業について、OJTや実務の支援を行いました。

## **3. 訪問介護の法人内連携の推進について**

部会において指導監査対策や人員不足時の相互支援を実現しましたが、一体的運用の検討は常時の人員不足もありすすんでいません。

## **4. ノーリフティングケアの導入支援について、**

ノーリフト協会の研修受講を推進しましたが、コロナ感染により集合ができず検討が十分できていません。

## **5. 西宮拠点の運営支援**

レインボー施設長及び両チーフ、常務理事、事業部で定期的に会議を行い、神港園スタンダードの進行と経営支援を行いました。酒蔵の満床化の実現のため、事業会議に参加して赤字解消を目指しました。

## 4. 部会・部門報告

### 4-1. 施設部会【介護部門】

部会長：久保副施設長

各施設における感染症クラスター発生に伴い、実際に感染症対応が行われている中での部会開催は難しく、主に社内メールや ZOOM 等を活用した部会開催を行い、感染症対応を中心とした各拠点情報の共有と適切なケアの実施に向けて行うべきことの検討を進めました。

#### ①丁寧な介護と誠意ある対人援助への取り組み

介護部門が用いるマニュアルについて、介護技術・ご利用者対応・職員マナーを含め、現在使用しているマニュアルの見直しと新規項目の選定を進めました。次年度は、介護部門のサービス基準と標準化に向けて、介護技術や礼儀・作法等についてのマニュアル作成を進めていきます。

#### ②ノーリフティングケアの浸透

拠点単位に進捗状況の報告を行うに留まり、福祉用具の利点・欠点の共有やリハビリテーション部会との合同検討まで進めることはできませんでした。

#### ③実地指導・監査への対応強化の徹底、マネジメントスキルの向上およびスタンダード化

施設ケアマネジメント業務に関する研修計画の策定に着手する事ができませんでした。施設ケアプランの質の向上が、適切なケアへの重要課題と認識し、次年度以降についても検討を継続していきます。

### 4-2. 施設部会 生活相談員部門

部会長：船江施設長

上位加算取得に向けた取り組みと実地指導・監査への対応強化の徹底を重点課題として取り組みました。感染症クラスターが各施設で発生し、参集での開催が困難なことも続きました。

#### ①上位加算取得に向けた法人全体での取り組み課題の抽出等の取り組み

参集と ZOOM のハイブリッド開催にすることで、先行してケアカルテを導入している西宮拠点からの情報提供ができ、神戸拠点でのシステム活用をスムーズに行うことができました。上位加算やその取得と記録に関して、ケアカルテの活用方法についても事前協議がスムーズに移行できました。

#### ②新型コロナウイルス感染症ならびに自然災害発生時の協力対応の検討とスタンダード化

いこいの家、レインボーを除く各施設がクラスター対応で経験したことを共有し、それぞれが協力していく姿勢を確認しました。業務分掌や運用ルールの改正など課題も多く、次年度は相談員部会として進める事案に対して、担当制を導入し課題解決を計画し、部会共有のもと実践に繋げる体制で実施していくことを検討していきます。

### 4-3. 在宅部会 ショートステイ部門

部会長：前田副施設長

①感染症対策として、新型コロナウイルス感染症の対策を盛り込んだ法人内ショートステイの感染症対応マニュアルを更新しました。また、各関係者に配布する感染症に関する予防的対応の案内

文章を作成し、法人統一の様式を随時配布できる体制を整えました。

②通年実施しているアンケート調査の様式等を更新するため、各拠点でアンケートを実施し顧客ニーズの把握に努めました。

③集客力向上のための各拠点の取り組みを共有し、法人内で活用できるよう努めました。

#### 4-4. 在宅部会 デイサービス部門

部会長：太田副施設長

年 4 回のうち、8 月は新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生への対応のため法人内共有メールで開催、他の 3 回はオンラインで開催（5 月、11 月、2 月）となりました。

①新型コロナウイルス感染症対策については、各拠点近隣の発生状況を共有するとともに、対策に関するアイデアを持ち寄り予防の強化につなげました。

②事業所別の計画及び進捗状況の確認と、情報共有を実施しました。科学的介護推進体制については貴重な情報共有の場となりました。

③各種マニュアルの整備、更新については、前年度からの持ち越し案件となっていた各種マニュアルの整備を実施しました。業務継続計画の作成については、各担当者が各拠点内で相談しながら厚生労働省のフォーマットを使って進めることとし、次年度への持ち越し案件となっています。

④外部研修については、部会内で損害保険会社による利用者の送迎時のリスクマネジメントに関する研修を受けました。各拠点の情報を共有するとともに、対策に関するアイデアを持ち寄り予防の強化につなげました。

#### 4-5. 在宅部会 ホームヘルプ部門

部会長：鷲尾副施設長

訪問介護員の人材確保困難化加速の中で、法人ホームヘルプ全体最適化に繋がる人材育成、業務効率化、人材運用化、相互応援体制の更なる具体化を進め、就業環境の平準化を目指しました。感染症蔓延及び災害発生時の、在宅ヘルプ部会に特化した BCP 策定にも着手しました。

##### ① 全体最適化につながる人材育成と運用に向けたセンター長業務の標準化（拠点訪問研修）

新型コロナウイルス感染症蔓延時期を避け、法人内 5 拠点の内 3 拠点の訪問を実施しました。中でも北区の「神港園しあわせの家ホームヘルプセンター」での効果的な書類管理方法を横展開し、各拠点で取入れるとともに、実際に見ることでより実現的になりました。

##### ② 感染症蔓延及び災害発生時における BCP 策定

ホームヘルプ事業の特性に特化した事象と緊急時の連絡体制・安否確認方法など、具体的な部分への着手と検討を開始しました。令和 4 年度は土台部分の作成に着手できたため、次年度は完成に向け、分かりやすく実践的な計画を策定していきます。

##### ③ 平時からの業務・書類管理体制の再構築とスタンダード化の更なる推進

拠点訪問研修と同時進行することができ、統一する部分と独自性を維持する部分、一部取り入れる部分などを切り分けることができました。また、小さな課題でも部会内で共有することで、解決に

繋がりました。

#### ④ 法人ヘルプの一元管理化の具現化

法人ヘルプの一元管理については着手することができませんでした。法人方針と合わせて今後の課題として検討を継続していきます。

#### 4-6. 居宅介護支援事業所・地域包括支援センター部会 部会長：明田施設長代行

①新型コロナウイルス感染症ならびに災害発生時において BCP が実行できるように、拠点でのシミュレーションを実施しました。又、そこで確認できた課題を反映できるよう BCP の更新に努めました。

②新型コロナウイルス感染症対策としてのテレワーク導入となっている為、一昨年と比較するとテレワークの機会が減少しています。今後は『働き方』としての導入に向けて、更なる情報共有の効率化を図る必要があります。

③事務作業の効率化を図るべく、FINELINK（LINEWORKS）、Microsoft Teams の活用に努めました。

④居宅介護支援事業所部会にて適切な事業運営（法令遵守）に寄与べく『内部点検体制』を構築し、運用を開始しました。

#### 4-7. 栄養部会 部会長：明田施設長代行

① 拠点によって差異はあるものの適切な加算取得ならびに情報共有に取り組みました。

②栄養関連の BCP に関しては継続的な課題として進行していますが、拠点の BCP との連動が課題となっています。また、実行性の向上を目指したシミュレーションの実施も課題です。

③管理ソフトの移行（ちょうじゅ⇒ケアカルテ）については、円滑に行う事ができました。

#### 4-8. 診療・医務部会 部会長：船江医療介護連携事務部長

診療と看護による健康管理に関連した拠点内連携と全般的な水準向上、ならびにご入居者・ご利用者の QOL 向上と加算取得の徹底も重要な役割として取り組みました。

##### 重点課題

①期中の準備期間を経て電子カルテの導入が9月から各拠点で完了し、運用に繋がりました。

②電子カルテを活用した診療様式の多様化を検討し、コロナ禍の診療や緊急時の遠隔診療などを模索しました。

③感染症クラスター発生時にはその施設の必要な状況に併せて、限られた人員の中でも応援体制を組むことができました。

④自然災害発生時の協力対応検討（BCP の浸透）には取り組むことができず、法人指針、施設方針に併せて検討していきます。

⑤期中に神戸拠点（舞子を除く）の処方箋薬局が変更になり、安定した処方継続のための情報

交換を行いました。舞子拠点、調剤・居宅療養管理指導も含め変更ができなかったため、令和5年度の継続事項として進めます。

#### 4-9. リハビリテーション部会

部会長：明田施設長代行

- ①ノーリフティングケアならびに腰痛予防対策を推進するべく、継続的に各拠点の進捗を共有するとともに課題検討を行いました。また、拠点毎に差はありますがノーリフティングケアによるご入居者影響、ならびに職員の腰痛予防に関連するデータ集積による比較検討が行えるようになりました。
- ②セラピストチームによる拠点研修（拠点毎に優先されるテーマを設定）を計画しましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により見合わず事となりました。
- ③施設（介護）部会との合同研修を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。外国人介護人材の腰痛予防対策を含めたスキルアップも重要課題である為、次年度に持ち越しとなります。

#### 4-10. 事務・ICT部会

部会長：村上総務部長

- ①情報共有及びスキルアップの推進においては、職員の入れ替わり等が多く発生し、個々の対応に終始しており、次年度に向けて研修等を計画していきたいと考えます。
- ②内部統制の一貫として、外部コンサルタントと共同した業務効率化の取り組みをサニーライフ白川にて実施しました。
- ③日常業務処理のキャッシュレス化についても進捗していないため、次年度上期において実施すべく、業者との導入スケジュールを固めていきます。

#### 4-11. 広報部会

部会長：村上総務部長

- ①ブログによる地域社会への情報発信等について、ブログの発信頻度の安定を図りました。
- ②その他のSNSを利用した情報発信についても検討し、次年度以降具体化していく予定です。
- ③ホームページのリニューアルについて検討し、次年度以降取り組んでいきます。

## 5. 委員会

### 組織強化委員会

黒田施設長

重点的に取り組んだ課題は下記になります。

- ①「感染症および食中毒の予防及びまん延の防止のための指針」の制定に向けての意見取り纏めと戦略会議への上程。
- ②「事故発生の防止のための指針」の制定に向けての意見取り纏めと戦略会議への上程。
- ③「褥瘡予防対策指針」の制定に向けての意見取り纏めと戦略会議への上程。
- ④「身体的拘束等の適正化のための指針」の制定に向けての意見取り纏めと戦略会議への上程。
- ⑤「自然発生災害時における業務継続計画のための指針」の制定に向けての意見集約と議論。

## 6. プロジェクト

### トライやるウィーク 交換研修

担当：亀岡副施設長

交換研修の実施については、参加職員の知識・視野拡大だけでなく受入施設側の自事業サービス内容の見直しや、再認識等の相互刺激を得る事ができる貴重な機会である為、2021 年度から以下 3 点を重点計画としてスタートしました。

1. 法人内事業への理解と視野拡大
2. 相互刺激による活性化
3. 実習経験の業務反映

今年度は、コロナ禍において人の往来が制限される中で、当初予定していた各拠点間交換研修式の計画的実施は叶いませんでしたが、研修参加に対するニーズ収集と、今後の事業の進め方として「より柔軟な形」での実施が望まれる事を再認識する事ができました。



## 【2】養護老人ホーム 神港園

施設長 船江 孝志

### 1. 事業報告

西区拠点として、神港園シルビアホームとの総合的運用が効率的に実践できた事で、各部門それぞれで連携と協力の体制が強化されました。

神港園の理念「黄金律」、施設の運営理念『心温まる支援』の浸透、事業目標の『介護が必要になっても安心して過ごして頂ける養護老人ホームを目指して』、ホームヘルプは事業目標の『安心して在宅生活が継続できるよう心のこもった支援を行う』の実現に向け、法人倫理綱領と職員行動規範の実効性を注視し、質の高いサービス提供と職員の資質向上を目指し継続的に取り組みました。特に介護部門においては、新たな取り組みとして「適切なケア委員会」を設置することで課題抽出を行い、改善策の検討を行いました。

サービス活動収益の拡大を目指す取り組みと、サービス活動費用の計画的執行を行い、大規模修繕の修繕費を除けば、サービス活動増減差額黒字での安定的経営を実践しました。

人事考課の制度運用に関しては、新しい職責者も考課者として人材育成強化を目指し取り組み、限られた人材での能力を最大限発揮して部門間連携を強化しました。

お互いが気持ちよく働ける職場の構築を推進し、ハラスメントの無い職場づくりを目指しました。改善意識はあるものの満足いく成果には至らず、より高い意識で積極的に取り組むことを来期も継続します。

ホームヘルプは、サービスの依頼に対応できるマンパワー不足が解消出来ず、新規依頼に対して受諾出来ない時期が続きました。ホームヘルプの施設外提供サービスを拡充するための人員を確保する課題は、次年度へ持ち越しとなりました。一方、施設内でのサービス提供の拡充を課題としケアの精度を上げる意識を持つことで、ホームヘルプによる施設内サービス活動は大きく伸ばすことができました。

大規模改修工事について、施設改修補助金を利用し実施することができ、経年劣化している物品の入れ替えも予算どおりに実行できたことで、ご入居者、職員にとって快適な環境を作ることができました。

令和6年度までの経過措置期間をもって取り組み指示が出されている虐待防止や感染防止等の委員会設置、研修・訓練の実施について、可能な部分は隣接施設と合同で実施しました。独自性を求められる内容に関しては、相談員を中心に積極的に対応して整備を図りました。

### 【新型コロナウイルス感染症対策】

ウィズコロナにおける感染防止対策のため、「感染を持ち込まない、広げない」予防的対応の徹底と、万一感染が発生した場合の事業継続計画（以下 BCP）を見直し、有事に対応すべき体制を整備しました。施設内感染症対策委員会も、幹部・看護チーフ・相談員・介護リーダーを構成メン

バーとして、毎月と必要時の開催を継続し、感染拡大期においては随時開催とし、委員会の決議を全職員に伝達して周知徹底を継続しました。

令和5年1月までは、施設内で発症者を出すことなく経過しましたが、1月にご入居者2名と職員2名、3月にデイサービス利用中のご入居者1名が罹患し、その後職員を含めたクラスターを発生させてしまいました。小規模の施設でのクラスターであった為、隣接デイサービスの職員の応援を受けて最小限の広がりであり、食い止めることができました。

### 新型コロナウイルス感染症による影響について(令和4年度)

#### 拠点名：養護老人ホーム神港園

陽性判明利用者数	営業中止・新規受け入れ中止日数		陽性判明職員数	自宅待機日数※1
	デイサービス	ショートステイ		
17人	-	-	4人	5日

※1：職員が感染、もしくは感染者との濃厚接触疑い等を原因として職務を休んだ延べ日数

## 2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	217,453	221,398	△3,945
前年度決算	214,518	219,817	△5,299
対前年(差)	2,935	1,581	1,354

#### ◆情勢と取り組み

令和4年度当初予算について(下記)

【養護】 サービス活動収益：139,050（千円） サービス活動費用：156,373（千円） サービス活動増減差額：△17,323（千円）

【ホームヘルプ】 サービス活動収益：79,298（千円） サービス活動費用：72,024（千円） サービス活動増減差額：7,274（千円）

【全体】 サービス活動収益：218,348（千円） サービス活動費用：228,397（千円） サービス活動増減差額：△10,049（千円） のスタートで、結果として上記一覧結果となりました。

## 【収益】

令和4年度、措置費における加算の確実な取得に向けて取り組んだ結果として、職員の平均勤続年数により変動する民間施設給与等改善費加算率は、職員の再配置により前年度のC階級からB階級へアップしました。

ご入居者の重介護化が進み、介護・医療のニーズは増加の中、ご入居者の体調管理・維持に向けた取り組みは重要な課題となっており、養護老人ホームと訪問介護事業所による切れ目のないサービス提供と、施設看護師と介護職員の連携による早期発見・早期治療に取り組みましたが、ご利用者施設在園日数の大きな上昇に繋げることはできませんでした。

ホームヘルプによる居宅への訪問回数の拡充は、居宅に派遣できる職員確保が充足せず、新規の要望に応えられない期間が続き収益を落とす結果となりました。その一方で、施設のご入居者への訪問介護の提供の見直しを進めたことで、活動回数が増え収益を伸ばすことができました。

## 【費用】

竣工20年が近づき、建物・設備の不具合・劣化を解消するため、外壁改修を中心とした大規模改修に22,561（千円）の補助金を頂き、総費用48,895（千円）で実施しました。

人員配置においては、施設介護職員と訪問介護職員の配置の見直しを実施し、サービス提供に応じた最適な職員配置を目指しました。支援員に関しては、職責者の異動に伴う人員補充が追いつかない状態が続きました。

## ◆運営報告

### 【事業所への苦情・要望について】

#### 情勢

ホームヘルプ 要望1件（職員のマナーに関する要望）

#### 対策

施設における感染症防止対策が3年を経過し、施設内へ外部からの来訪者がいない状況が長期間続いたこともあり、拠点内会議において、改めて職員一人ひとりの言葉遣いについて各部署単位に振り返りを行いました。社会人として適切なマナーをご利用者への対応だけでなく、職員同士のコミュニケーションの中でも実行できるように会話・挨拶から意識する取り組みを開始しています。

### 【発生した事故および虐待防止の取り組みについて】

#### 情勢

自立者のトイレ内での転倒、自立者の喉詰め、ご利用者宅の物品破損3件（養護2件、ホームヘルプ1件） 虐待事例なし。

感染症防止対策が3年を経過し、施設内外を含む活動量の低下に加え、ご入居者のストレスも増大傾向にあります。職員にとっても活動量の低下に伴って介護量が増し、その介助にあたるスト

レスも増えました。昨年の法人内での高齢者虐待事件の再発防止と適切なケアの見直しに関しては、以下の対策に取り組みました。

## 対策

令和4年度は、事故・虐待防止対策として、従前の虐待防止研修に加え、「適切なケア委員会」を立ち上げました。

「適切なケア委員会」は、介護職員職責者を中心としたメンバーで構成し、適切なケアを行なうことで不適切なケアが生まれない施設作りを目的に、介護サービスの提供に関するマニュアル作成と、マニュアルに沿ったサービスの実施を浸透させることにより、施設内サービスの基準確立を目指す組織です。マニュアル作成に際しては、今までの業務の内容や流れにとらわれず、介護機器の活用や腰痛予防等様々な観点から検討・協議を実施しました。

また、ご利用者個々のケアプランの周知から個別ケアの確実な実施を徹底し、ご利用者特有の行動に備えることでリスクの軽減に努めました。

## 3. 部門報告

### (1) 養護老人ホーム神港園

- ①業務優先になってしまうこともありますが、職員同士が穏やかな心を持ち、チームワークを第一にご入居者優先の介護支援に努めました。
- ②体調変化を見逃さず、他部署と連携して早期発見と早期対応に努めました。
- ③支援現場と連絡を常に取りあい、情報の共有を意識してケアを行いました。些細な状態の変化も報告を受け、適切な治療に繋げることで、施設での生活を継続することができました。
- ④1月には利用者・職員にそれぞれ2名ずつ、新型コロナウイルスの感染が見られましたが、それ以上は拡大することなく収束しました。
- ⑤3月には利用者17名(入院が11名)、職員2名が罹患シクスターとなりました。しかしながら、罹患したご入居者が早期に入院できたことで重篤な状態とならずに回復され、早期退院の迎え入れもスムーズにできました。
- ⑥経過措置期間である運営基準項目(人権擁護・虐待防止委員会等)に対し、令和4年度より西区拠点内で養護老人ホームとシルビアホームの合同開催で協議・調整を重ねることができました。
- ⑦西区相談援助部門間での合同会議を重ね、各事業の稼働状況や個別ケース対応を共有しました。その結果、法人内ショートステイより在宅生活困難者の施設入居に繋げることができました。
- ⑧新入居者に関しては、退居者数に見合った数の行政措置依頼がありませんでした。ご入居者不足の対応に四苦八苦し確保が困難な状況でも、諦めることなく行政機関へのアプローチを続けました。
- ⑨食材の重複がないように、見た目の彩りや季節を感じられるように配慮した献立作成に努めました。
- ⑩嗜好調査で聞き取った意見や日頃のご入居者および職員の声を反映した献立の提供に努めま

した。

①食材費高騰の中、喜んでいただける食事提供のため、厨房栄養士・調理師と献立内容を工夫しながら、イベント食の充実と向上に取り組みました。

②シルビアホームとの合同事務会議で情報を共有し、統一できる書類については書式を統一して業務の効率化を図りました。

③予算進捗を確認しながら、経営上必要な経費に対して適切な執行を行いました。

## (2) 神港園ホームヘルプセンター

①計画書の作成やアセスメントやモニタリングの作成を滞りなく行えるように時間を有効に活用し、サービス提供責任者および登録ヘルパーの質の向上とコンプライアンスの徹底に努めました。ヘルパー研修は書面による研修の機会が多かったが、参集研修では意見をしっかり出し合える場になるよう工夫しました。

②人員確保に努めましたが、定着が難しく安定した活動の維持に苦慮しました。登録ヘルパーの確保が困難で、サービス提供責任者の活動量を減らすことができなかったため、新規依頼への対応が厳しくなりました。

③最後まで家で過ごしたいというご利用者やご家族の思いを汲み取り、在宅サービスの一員として関係機関との連携に努めて在宅支援を支えました。

## 4. 施設委員会・プロジェクト

名称	開催頻度	主な参加者
事業運営会議 (西区合同会議)	1回/月	幹部、生活相談員、介護チーフ、看護チーフ、居宅介護支援事業所管理者、経理担当職員
リーダー会議 (安全衛生推進委員会)	1回/月	幹部、介護リーダー、看護チーフ、生活相談員、管理栄養士、経理担当職員
事故防止対策委員会 (リスクマネジメント)	1回/月	幹部、介護リーダー、看護チーフ、ホームヘルプセンター長、生活相談員、管理栄養士
感染症対策委員会	4回/年	幹部、介護リーダー、看護チーフ、ホームヘルプセンター長、生活相談員、管理栄養士
身体拘束適正化検討委員会 (西区合同委員会)	4回/年	幹部、介護職員、看護職員、生活相談員
適切なケア委員会 (西区合同委員会)	1回/月	介護チーフ、介護リーダー、施設ケアマネジャー

在宅支援向上委員会 (西区合同委員会)	1回/月	デイサービス管理者、ホームヘルプ管理者、地域包括支援センター管理者、居宅介護支援事業所管理者、ホームヘルプセンター長、生活相談員
介護部門会議	1回/月	介護リーダー、介護職員、生活相談員
入所検討委員会	1回/月	幹部、介護リーダー、看護チーフ、生活相談員
介護リーダー会議 (西区合同会議)	1回/月	介護チーフ、介護リーダー、施設ケアマネジャー
生活相談員会議 (西区合同会議)	1回/月	生活相談員リーダー、生活相談員
事務職員会議 (西区合同会議)	6回/年	幹部、事務職員
合同慰霊祭開催実行委員会 (西区合同開催)	開催月まで毎月	実行委員会担当者
接遇委員会 (西区合同開催)	1回/月	幹部、委員会担当者(介護・看護・生活相談員)

## 5. 施設行事

月	行事
4月	誕生会、花見
5月	誕生会
6月	誕生会、ジャガイモ掘り
7月	誕生会、おやつデー、不在者投票
8月	誕生会、あさひ児童館交流会
9月	誕生会、敬老祝賀会
10月	西区合同慰霊祭
11月	神出町文化祭
12月	クリスマス会
1月	初詣、新年祝賀会
2月	節分
3月	テイクアウト弁当

### 【3】 神港園シルビアホーム

施設長 船江 孝志

#### 1. 事業報告

西区拠点として、養護老人ホーム神港園との総合的な運営を図るため、相互の連携と協力体制、組織的運営基盤強化を課題とし具体的な実践を進めました。

神港園の理念「黄金律」の浸透、運営理念である『くつろぎと安心のある施設』『くつろぎと安心のある援助』の実現に向け、法人倫理綱領と職員行動規範の実効性に注視し、質の高いサービス提供と職員の資質向上を目指し取り組みました。特に介護部門においては、新たな取り組みとして適切なケア委員会を設置し、課題抽出を行ない改善策の検討を行いました。

感染症、自然災害等のリスクが顕在するなか、事業を継続するための対策を検討しましたが方針の作成までとなり、BCP の作成、衛生資材の確保など具体的な計画とその訓練に関しては令和 5 年度に持ち越しとなりました。

最大限の加算取得でのサービス活動収益の拡大、サービス活動費用の計画的な執行による月次予算管理を行ない、安定的経営の継続を実践しました。

人事考課の制度運用を考課者研修・被考課者研修ともに充実させることで、人材育成強化を目指し、限られた人材での能力発揮を実現するとともに部門間連携を強化しました。

お互いが気持ちよく働ける職場を推進し、ハラスメントの無い職場づくりを目指しましたが、改善意識はあるものの満足のいく成果には至らず、より高い意識で積極的に取り組むことを継続します。

新型コロナウイルス感染症に関しては、全館多床室である施設環境から、「持ち込まない予防対策」の徹底により、3 年間クラスターを発生させることなく経過していたものの、1 月に経路不明の罹患患者が発生し、大型クラスターを経験しました。ご入居者・職員含めて多くの罹患患者を出してしまいましたが、あらためてご入居者の看取りケアを含む介護のあり方を考える機会となり、職員の連携の大切さを学ぶ機会にもなりました。

ノーリフティングケア促進に関して、理学療法士のリハビリテーション等の知見を活用し、腰痛予防等による職員の健康増進と拘縮予防等によるご入居者の機能向上・保全維持に取り組む職員意識を高めました。実践に向けて物品購入等の環境を整えることができ「抱えない介護」に取り組んでいます。

職員体制の確保に関しては充足に至りませんでした。業務の工夫や介護マニュアル・業務マニュアルの見直しを行って乗り越えることができました。職責者の他施設異動があり、新職責者体制（チーフ 2 名昇格・リーダー 2 名登用・併設施設から 1 名異動）を作ることができました。

本館施設の老朽化への対応として、施設改修補助金を利用した大規模修繕工事を計画し、年度末に着手しました。外壁・配管等中心とした工事だけでなく、準ユニット型多床室の間仕切りの入れ替え、共有部分水周り（浴室を含む）環境整備、事務所の改修、全館の IT 設備の整備を行

い、介護ロボットの導入や見守りやインカム等の ICT 連携の導入にも積極的に挑戦する計画をあげ、今後永きに渡って使い続けられる施設環境の整備と業務の効率化を、令和 5 年度も目指します。

外国人人材に対しては、計画的に介護実践を進めて介護福祉士取得に向けて取り組みました。技能実習生 1 名が介護福祉士を取得し、特定技能訓練実習生として継続して勤務できるようになりました。国際貢献と現場の戦力の両面から指導とサポートを続け、より多くの技能訓練実習生、特定技能訓練実習生を受け入れられる施設環境を整備します。

### 【新型コロナウイルス感染症対策】

ウズコロナにおける感染防止対策のため、「感染を持ち込まない、広げない」予防的対応の徹底と、万一感染が発生した場合の BCP を見直し、有事に対応すべき体制を整備しました。施設内感染症対策委員会も、幹部・看護チーフ・相談員・介護リーダーを構成メンバーとして、毎月開催と必要時の開催を継続し、感染拡大期においては随時開催とし、委員会の決議を全職員に伝達して周知徹底を継続しました。

令和 5 年 1 月までは、施設内でのクラスターを発生させることなく経過しましたが、1 月にご入居者・職員を含めて大規模なクラスターを発生させてしまいました。BCP 想定を大きく上回る拡大に職員は必死になって対応しました。今回の経験をしっかりと振り返り、今後の BCP の中に盛り込み実践することを次年度の課題として取り組みます。

### 新型コロナウイルス感染症による影響について(令和 4 年度)

#### 拠点名：神港園シルビアホーム

陽性判明利用者数	営業中止・新規受け入れ中止日数		陽性判明職員数	自宅待機日数※ 1
	デイサービス	ショートステイ		
78 人	0 日	0 日	45 人	270 日

※ 1：職員が感染、もしくは感染者との濃厚接触疑い等を原因として職務を休んだ延べ日数

## 2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	752,632	693,765	58,867
前年度決算	720,155	671,792	48,363
対前年(差)	32,477	21,973	10,504

## ◆情勢と取り組み

令和4年度当初予算について(下記)

サービス活動収益：744,934（千円）サービス活動費用：706,326（千円）サービス活動増減差額：38,608（千円）のスタートで、結果として上記一覧結果となりました。

新型コロナウイルス感染症（2類相当）の影響を受けやすい在宅サービスへの対応強化を念頭に取り組み、月次毎での変動の波はありましたが大きく収益を下げることなく影響を最小限に留めることができました。特養に関しては、取得可能な加算をしっかりと取得することで収益を確保できました。

費用に関しては、電気・ガス代の高騰、物価高騰など多くの要因を抱えながらも適切な予算執行を行いました。経年劣化の介護用品に関しては、年度計画に沿って入替を実施しました。またノーリフティングケアへの取り組みに関しても、計上した予算を積極的に投入して準備を整えました。

人員配置に関しては、充足には至りませんでした。業務の工夫や介護マニュアル・業務マニュアルの見直しを行い乗り越えることができた反面、介護職員には感染症予防対策に加え、整わない人員の中で大きく負担を掛ける結果となりました。職責者の他施設異動があり、新職責者体制（チーフ2名昇格・リーダー2名登用・併設施設から1名異動）を作ることができました。

また、大規模改修工事の本格実施に向けて業者選定を含む準備に取り組みました。

## ◆運営報告

### 【事業所への苦情・要望について】

#### 情勢

苦情・要望は0件でした。

#### 対策

施設における感染症防止対策が3年を経過し、施設内へ外部からの来訪者がいない状況が長期間続いたこともあり、拠点内会議において、改めて職員一人ひとりの言葉遣いについて各部署単位に振り返りを行いました。社会人として適切なマナーをご利用者への対応だけでなく、職員同士のコミュニケーションの中でも実行できるように会話・挨拶から意識する取り組みを開始しています。

### 【発生した事故および虐待防止の取り組みについて】

#### 情勢

骨折を伴う入院事故は3件（特養1件、ショートステイ1件、デイサービス1件）、虐待事例は0件でした。感染症防止対策が3年を経過し、施設内外を含む活動量の低下に加え、ご入居者のストレスも増大傾向にあります。職員にとっても活動量の低下に伴って介護量が増し、その介助にあたるストレスも増えました。昨年の法人内での高齢者虐待事件の再発防止と適切なケアの見直しに関しては、以下の対策に取り組みました。

## 対策

令和4年度は、事故・虐待防止対策として、従前の虐待防止研修に加え、「適切なケア委員会」を立ち上げました。「適切なケア委員会」は、介護職員職責者を中心としたメンバーで構成し、適切なケアを行なうことで不適切なケアが生まれない施設作りを目的に、介護サービスの提供に関するマニュアル作成と、マニュアルに沿ったサービスの実施を浸透させることにより、施設内サービスの基準確立を目指す組織です。マニュアル作成に際しては、今までの業務の内容や流れにとらわれず、介護機器の活用や腰痛予防等様々な観点から検討・協議を実施しました。

また、ご利用者個々のケアプランの周知から個別ケアの確実な実施を徹底し、ご利用者特有の行動に備えることでリスクの軽減に努めました。

## 3. 部門報告

### (1) 神港園シルビアホーム

- ①福祉用具の選別・購入を進めることにより、介助される側・する側双方において安全で安心な介助方法とご入居者の状態に合わせた移乗介助を学び実践できるようになりました。
- ②サービス計画書に基づきご入居者のニーズに寄り添い、個別ケアの充実に取り組みました。新型コロナウイルス感染症のクラスターを発生させたことで十分な取り組みには至りませんでした。クラスター中の看取り等を経験し、職員は心のケアを含め大切なことを多く学ぶ機会となりました。
- ③3年間の感染症予防対応によって、ご利用者の行動にも制限がかかり廃用性症候群の進行が進んでしまいました。職員も外部との接触が少なくなることで、自分たちの仕事を見られる機会が減り、ご入居者・職員間のマナーに関しての課題が残りました。
- ④個別ケアの実践のためニーズの把握と課題分析を行い、施設サービス計画書に反映させました。新入居者が多く、ご家族・職員間の情報共有に苦慮しましたが、円滑なサービスが提供できるように努めました。
- ⑤1月に新型コロナウイルス感染症のクラスターを経験しましたが、全職員が連携することで乗り切ることができました。終息後も入居者の体調が安定せず入退院も多くみられました。年間を通して感染症対策の実施下であり、ご家族との連携を図ることが難しい中で、30名の看取りケアに携わることとなりました。
- ⑥毎月イベント食を計画し、普段とは違う食事を提供して喜んでいただきました。一方、食材費高騰の影響から普段のメニューで提供できないものが増え、献立が制限される課題が残りました。
- ⑦従来の関係機関との連携だけでは待機者確保が難しく、エリアを広げた居宅介護支援事業所へのアプローチ、グループホームや小規模多機能施設・看護小規模多機能型施設などへの訪問など苦心する中で、新しい連携先を模索し待機者確保を進めました。
- ⑧新規依頼ケースに関して、入居受付だけではなく併設のショートステイや居宅介護支援事業所と協力し、特養満床時には神港園のサービスを利用しながら待っていただけるように情報提供を行いました。

⑨養護老人ホームの事務職員と合同で事務部門会議を開催し、情報の共有および作業手順や書式の統一を図り業務を効率化することができました。

⑩新型コロナウイルス感染症対応・予防対応の中、感染対策費用の増大、世界情勢不安等による物価の上昇により必要経費が増大しましたが、適切に補助金や助成金を申請することで影響を最小限に止めることができました。

## **(2) 神港園シルビアショートステイ**

①心を込めたケアと笑顔を忘れず、ご利用者とご家族の立場に立って実現できる支援を目指し、継続的に利用していただけるように介護現場として「挨拶週間」や「おもてなし週間」を設けました。また、何が足りなく何が求められているかを常に考えて1年間取り組みました。【介護】

②家族の想いに触れるために、居宅介護支援計画書や短期入所生活介護サービス計画書に触れる機会を増やし、利用中の個別ケアにより一層取り組みました。【介護】

③長期間の利用が年間を通して多く、利用期間中の体調不良や入院などの変化に迅速な対応を、介護現場や生活相談員と連携を図り健康管理に留意しました。また、皮膚疾患など利用期間中に変化が起こった事案に対し、早期医療介入に繋げることで利用に支障が無い環境を整えました。

【看護】

④的確な情報収集に努めて、部署間連携により安定した稼働率を確保するという目標に取り組みました。新型コロナウイルス感染症対応で受け入れに制限が発生し、その影響で稼働率確保が難しい状況があったものの、的確な情報収集や部署間連携等を継続することで、新規依頼も実人数も増加し目標を達成する事ができました。【生活相談員】

## **(3) 神港園シルビアデイサービスセンター**

①利用される際に「何を目的として利用されているのか」を明確化する事で、意欲的に取り組めるサービス提供が実施できました。また、月1回職場会議と並行して研修や勉強会を実施し、職員個々のスキルアップに努めました。【介護】

②認知症の方が利用する機会が多くなり、一人ひとりの個性を理解・把握する事で、安心していただけるような関わりを検討し実践しました。【介護】

③ご利用者の在宅生活継続の為に健康管理に留意し、介護職員や生活相談員と連携を図り、体調不良時の受診や帰宅などの判断を的確に行い、情報共有・早期医療介入に繋がりました。【看護】

④居宅介護支援事業所と連携し、受け入れの方針を提案し実施に繋がりました。【生活相談員】

⑤認知症専門医との連携を図り、家族に対し介護の方向性を説明しました。【生活相談員】

⑥新型コロナウイルス感染症の影響で地域活動の再開に時間がかかる状況ではありましたが、対前

年に比べ大きく実績を伸ばしました。【生活相談員】

#### **(4) 神港園シルビアケアプランセンター**

- ①事業所内で今何が必要な情報かを考えて基本を学び直すことで、自身が何を苦手とするのかを認識することで個々のケアマネジメントのスキル向上に努力し、利用者満足度を向上に繋げました。
- ②「特定事業所加算Ⅰ」取得継続を念頭に、在宅生活の維持に寄り添った支援を行い、困難ケース等への対応も積極的に行いました。
- ③法人内の在宅サービス事業所との連携を強化し、サービスの質の向上を目指してご利用者の生活の向上を目指し、多職種との連携をより深めケアマネジメントのスキル向上に努めました。

#### **(5) 神出あんしんすこやかセンター**

①地域課題の検証実施、事例検討および検証を部署内で実施し課題抽出に努めましたが、まだまだ個別地域ケア会議の実施には時間がかかることを実感しました。虐待ケースが増えてきた1年間で、センターとしての対応スキルがアップしていることを実感しています。

②地域包括ケアシステムの核となり地域ネットワークの充実を目指した地域ケア会議は、ヤングケアラーについての取り組みを前年度から計画していました。新型コロナウイルス感染症の影響で協議体としての活動はできませんでしたが、センター独自の取り組みとして実施する事ができました。

地域連携については、自治会長会や新たな地域団体が集まる会議などにも継続的に参加しました。結果として、各地域からの相談件数も増えました。

③支援が必要な方々へ総合相談窓口としての機能強化に努め、介護保険申請者数も増え、介護予防やフレイル(虚弱)予防の考えが少しずつ浸透してきていることを実感しました。

### **4. 施設委員会・プロジェクト**

名称	開催頻度	主な参加者
入所検討委員会	毎月及び随時	幹部・生活相談員・介護チーフ・看護チーフ
事業運営会議	毎月	幹部・生活相談員・介護チーフ・看護チーフ
リーダー会議	毎月	幹部・生活相談員・介護チーフ・看護チーフ・介護リーダー
介護リーダー会議	毎月	介護チーフ・介護リーダー・施設ケアマネジャ
シルビア通信会議	毎月	通信担当者
安全衛生推進委員会	毎月	幹部・産業医・衛生管理者・看護チーフ
事故防止対策委員会	毎月	幹部・委員会担当者（介護・看護等）
感染症防止対策	毎月	幹部・委員会担当者（介護・看護等）
身体的拘束適正化	3か月/1回	幹部・委員会担当者（介護・看護等）

排泄委員会	3か月/1回	幹部・委員会担当者（介護・看護等）
褥瘡予防委員会	毎月	幹部・委員会担当者（介護・看護等）
接遇委員会	毎月	幹部・委員会担当者（介護・看護・生活相談員・
在宅支援向上委員会	毎月	幹部・在宅事業担当者（生活相談員・職責者）
適切なケア委員会	毎月	幹部・介護チーフ・介護リーダー
喀痰吸引等関係者会議	2か月/1回	幹部・生活相談員・介護チーフ・看護チーフ
IT委員会	毎月	幹部・委員会担当者（介護・看護）
部門別職場会議	毎月	職責者・フロア介護職員
ノーリフティングケアプロジェクト	毎月	幹部・各部門担当者
新型コロナウイルス感染症	毎月	幹部・チーフリーダー・生活相談員
合同慰霊祭開催実行委	開催月まで毎月	実行委員会担当者

## 5. 施設行事

月	行事
4月	お花見
5月	母の日
6月	父の日
7月	七夕会
8月	
9月	敬老祝賀会
10月	西区合同慰霊祭
11月	
12月	餅つき大会
1月	新年祝賀会
2月	
3月	



## 【4】 神港園しあわせの家

施設長 高谷 明

施設長代行 明田 圭介

### 1. 事業報告

令和4年度の最重点課題は昨年度から引き続き「安全・安心の確保」ですが、上期に於いてはご入居者・職員あわせて60名を超える規模のクラスターが発生しました。罹患された入居者・職員のみならず、ご入居者のご家族、この状態を支えた職員（他拠点からの応援含めて）、応援職員を派遣する関係で一部在宅サービスを縮小した事の影響を受けたご利用者に対して、大きな負担を掛ける事となりました。

下期については改めて感染予防対策を強化し、事業閉鎖やサービス提供の規模縮小を要する事態は避けることができましたが、「地域貢献」をテーマに取り組んでいる施設にとっては、社会資源として機能できない状態となった事は痛恨の極みです。

一方で3年ぶりに家族会行事（5月にお散歩会、7月に勉強会）が開催できました。情勢変化にあわせた適切且つ柔軟な面会の実施に取り組んできましたが、やはり家族会行事の際のご入居者・ご家族の笑顔は職員にとっても大きな喜びとなりました。

在宅サービス利用者の在宅家族会（介護教室）については、今年度も休止状態となっていますが、可能な限り安心が提供できるよう情報の発信に努めました。

職員に対する安心の提供として、職員支援内容（休業補償、安全確保等）の明確化、感染防護用品の充実、業務効率化（会議方式の多様化、IT化、テレワーク等）に努めたことが感染症対応に活きた年度であったと実感していますが、感染症法上の分類が5類へと変更されるタイミングでの対応や支援の内容変更については今後の課題と考えます。

職員の『働き方』と言う部分では、精神的・身体的負担の軽減（ワーク・ライフ・バランスの確保、ノーリフト推進による腰痛予防）にも取り組みましたが、ご入居者の重度化対応に必要なマンパワーの不足や人員配置のバランスの問題から具体的施策の実行には至りませんでした。

外国人介護人材の語学力ならびに介護人材としてのスキルアップの実現のため、法人本部の協力を得ながら各々研修を企画する等取り組み、徐々に成果が見えています。

前述の「地域貢献」については、一時的にサービスを休止せざるを得ない状況が発生したことは残念でしたが、一方でこの発信機会が制限されるコロナ禍の中、パンフレットの中に家庭での腰痛予防や感染症対策などを組み込んだ、見やすく分かりやすいパンフレットを作成して発信し、法人のホームページを利用して各在宅サービスをPV（プロモーションビデオ）にて紹介しました。現在は認知症対応におけるQ&Aを掲示する準備を行っています。

### 【新型コロナウイルス感染症対策】

新型コロナウイルス感染症第7波の時期に、残念ながら特養部門でもクラスターが発生し、多くの

ご入居者・職員が罹患しました。下期においてはそこで得た教訓を基に、再発防止力の強化に取り組みました。具体的には、感染症の持ち込み予防と施設内まん延防止対策を感染症対策委員会において、BCP の整備、マニュアル類の見直し、防護服脱着訓練およびゾーニングシミュレーションなどの感染防護訓練と感染症全般の理解力・対応力を高める研修を実施し、予防から発生時までを想定した対策として再発防止に努めました。また、感染症対策実施下におけるご家族との面会については、流行状況をみながら窓越し面会、WEB 面会、施設内ロビーでの直接面会などを使い分けることで、途絶えることなく実施することができました。

その他、感染症対策下でもご入居者の生活に楽しみや喜びをもって頂けるよう、施設内通年行事の実施、ご入居者家族会の協力のもと行事活動の一部再開により、ご家族との交流機会づくりに努めました。

次年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により変化する社会情勢や、関連する制度等の変更に応じた求められる対応力が保持できるように努め、高齢者施設が提供する生活サービスの質の向上と安全確保の両立に繋がるよう、拠点一丸となり取り組んで参ります。

### 新型コロナウイルス感染症による影響について(令和4年度)

#### 拠点名：神港園しあわせの家

陽性判明利用者数	営業中止・新規受け入れ中止日数		陽性判明職員数	自宅待機日数※1
	デイサービス	ショートステイ		
56人	2日	33日	31人	47.5日

※1：職員が感染、もしくは感染者との濃厚接触疑い等を原因として職務を休んだ延べ日数

## 2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	912,229	863,615	48,614
前年度決算	892,084	822,195	69,889
対前年(差)	20,145	41,420	△21,275

## ◆情勢と取り組み

### 【収入に関して】

特別養護老人ホーム、ショートステイに関しては、上半期に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける事となりました。事業間連携を密に特別養護老人ホームの空床期間の軽減に努めましたが、罹患者の入院ならびに体調回復に思いのほか時間を要することとなり、当初の稼働目標ならびに収入予算は達成できませんでした。

在宅部門については、外部関係機関（ケアマネジャー・医療機関・老健等々）との連携を強化し、安心安全を前提に稼働安定に努めましたが、特に第8波中は感染による休止ならびに待機、又利用控えが見られ、当初の収入予算は達成できませんでした。

一方、各種補助金（新型コロナウイルス感染症サービス継続支援事業補助金、新型コロナウイルス感染症対応医療機関支援事業補助金および物価高騰対策福祉施設等緊急支援事業補助金等）にて交付が決定しました。

無収入状態に陥っているご入居者の利用料が未納となり、回収対応に苦慮している事案について、専門家や行政等と相談・連携して対応しました。しかしながら、未だ回収等の目途がついていません。引き続き、次年度においても、ご入居者に必要な安全な生活の場の確保も考慮し、解決に至るよう継続して対応して参ります。

### 【費用に関して】

人員配置に関しては適正な配置バランスが実現できませんでした。クラスター発生の経験から非常時を見据えた人員確保の必要性を痛感しましたが、その中でも適正な人件費の水準が確保できるように、人事部との協力にて効率的な配置を目指します。

予期せぬ設備修繕のコストが発生していますが、計画修繕も含めて優先順位を判断しながら実行しました。但し、新型コロナウイルス感染症の影響で実施を延期せざるを得ない内容もありました。

水道光熱費の削減に向けた設備関連の情報を収集し試行したのものもありますが、電気・ガスの単価上昇の影響は大きく、物価高騰への助成等を得ながら節電に取り組みました。

### 【その他】

ノーリフティングケア推進による腰痛予防を実現するべく、入浴設備の改修も含めて環境整備を行いました。介護職員の腰痛有訴者に関しては昨年と比較して減少しており導入の成果がみられますが、更なる職場環境改善を目指して「健康調査・リスク調査」（職員の健康状態ならびに作業リスクの把握）を実施しました。非介護職種への腰痛予防推進についてはリスク調査を実施しましたが、具体策の検討までは至っておらず、次年度以降の継続課題です。

## ◆運営報告

### 【事業所への苦情・要望について】

#### 情勢

苦情や要望へ発展する要因を追求する中で、「職員の個別対応力が伴わないこと」が発生のメカニズムであると導き出しました。

#### 対策

顧客が求めるマナーや接遇、要援助者等への寄り添いの姿勢やコミュニケーション力向上を図る為、各テーマに沿った必要な内部研修を実施しました。職員個々の受講を促すことで、要援助者が求めるコミュニケーション能力の必要性の理解と、スキルアップに努めました。

併せて、職場会議内における事例検討・実際の対応の振り返りを各部門で実施することで、何が苦情や要望の要因となるのかを自己覚知できる仕組みを構築し、対応能力の向上につながるよう努めています。

### 【発生した事故について】

#### 情勢・対策

事故予防対策としては、安心・安全・安楽な介護が提供できるよう、腰痛予防対策推進委員会において、前年度に続き抱えない・抱え上げない介助 100%を目指し、移乗介助支援機器や福祉用具の活用と導入を進め、介助中の事故発生率の低下に繋げることができました。

しかしながら、ご入居者の歩行中の転倒による骨折事故など重大事故が令和 4 年度も発生しています。対策としては、次年度は転倒予防の見守り強化として期待される ICT 関連機器の見守りシステムについて、その有効性など確認しながら導入を検討していきます。

### 【虐待防止の取り組みについて】

#### 情勢・対策

令和 4 年度の虐待防止の取り組みとして、全体研修を実施しました。その中で、虐待発生メカニズムの理解をより深める講義を組み込みました。また、虐待や不適切ケアの芽を摘み取ることが日常的に意識して行える体制づくりを目標に、虐待防止・身体的拘束適正化検討委員会において職員の自己点検チェックシートの作成に着手しました。

また、各事業部門や職種によって虐待や不適切ケアの要因となるチェック項目が異なることから、共通して必要な項目を選定し、拠点内のすべての介護職員、相談援助職員が定期的に振り返りを行い、業務中における持続性のある意識付けの機会づくりを目指しました。

上記の取り組みにより、自己点検チェックから抽出される部署や個人レベルの課題および改善のための目標が鮮明に導きだされる効果が確認できました。次年度も表出された課題解決への取り組みを含め自己点検を継続し、虐待や不適切ケアの芽をつみとる精度を高めていけるよう取り組んで

参ります。

### **3. 部門報告**

#### **(1) 神港園しあわせの家（特別養護老人ホーム）**

新型コロナウイルス感染症のクラスター発生と、感染防護対策のため新規入居の受け入れに通常よりも時間を要したため、昨年度比 130%の退所者があり稼働目標が未達成となりました。

ノーリフティングケアの推進に関しては、物品（リフト・グローブ・シート等）の充実を含めて方針ならびに方法理解を深めることができ、ご入居者の拘縮予防ならびに職員の腰痛予防を推進しました。

外国人介護人材（技能実習生・特定技能実習生）に関しては、法人本部主催の勉強会をはじめとしたスキルアップの機会を提供できました。

ICT を活用した事故防止については、複数社の見守りシステムを試行し、情報を収集している段階です。

#### **(2) 神港園しあわせの家ショートステイ**

年度当初に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したことを主因に稼働目標は未達成となりましたが、併設の特別養護老人ホームとの連携については、職員の応援体制含めて強化が図れました。一方、職員の腰痛予防対策については腰痛予防対策委員会からの情報共有に留まっており、次年度に持ち越すこととなりました。

#### **(3) 神港園しあわせの家デイサービスセンター**

認知症ケアのスキルアップに関しては、前年度に引き続き外部研修の受講は難しい状況でしたが、法人内他拠点開催の研修に参加する事で意識付けができました。

運営推進会議を参集にて開催できたことで改めて地域の関係団体、介護事業所との関係作りができました。ただし、職員の腰痛予防対策についてはショートステイと同様、情報共有に留まっており、次年度に持ち越すこととなりました。

#### **(4) 神港園西鈴蘭台デイサービスほっと**

当事業所に責任の無い建物設備の不備にて 1 週間休業する事となり、ご利用者ならびに関係者の皆様にご迷惑をお掛けする事となりました。又、職員体制が整わず本体事業からの応援にて体制を確保する状況も有り、今後の安定した体制確保が課題です。

#### **(5) 神港園しあわせの家ホームヘルプセンター**

今年度も感染防護に努めながらの事業継続となり、また、登録ヘルパーの減少が止まらず新規の受け入れが困難な状況でした。一方、ケアカルテや LINE の活用による登録ヘルパーのスケジュール管理および情報共有を行い、効率化を図ることができました。

#### (6) 神港園西鈴蘭台ケアプランセンター

BCPにある訓練を実施し、実行力の向上に努めました。給付管理上の法令遵守ならびに品質向上を目指し、部署内チェックをシステム化しました。(居宅部会での内部点検システムと併せた実行)

#### (7) 五葉あんしんすこやかセンター

地域ケア会議や地域行事等が再開していく中、改めて地域との関係強化を目指すとともに、オンラインを活用しながら研修機会を確保し、情報共有ならびにスキルアップを図りました。虐待案件の増加に対しては、行政ならびに関係機関とも連携しながら適切な対応に努めました。

#### (8) その他

新型コロナウイルス感染症の予防対策として生活環境・職場環境の徹底整備に努めましたが、複数の部署でクラスターが発生する事となりました。地域事業とのコラボレーションについてはストップしている状況で、まずは当拠点のPR活動に専念する事とし、広報部会の協力を得ながらPV(プロモーションビデオ)の作成に取り組みました。

拠点全体の腰痛予防対策を推進するべく、『過ごしやすく、働きやすい施設に、自分たちで変えていく』という目標を継続中ですが、状況調査に留まり具体的対策までは立案できていないのが現状です。

### 4. 施設委員会・プロジェクト

名称	開催頻	主な参加者
事業運営会議	月1回	幹部・生活相談員・介護チーフ・リーダー・看護師チーフ・居宅センター長・包括センター長・訪問介護センター長・事務員
施設リーダー会議	月1回	幹部・生活相談員・管理栄養士・職責者
在宅支援向上委員会	月1回	管理者・在宅事業職責者・在宅事業職員
生活安全委員会	月1回	管理者・職責者・生活相談員
安全衛生委員会	月1回	産業医・衛生管理者・担当者
腰痛予防委員会	月1回	介護職員・生活相談員・理学療法士
感染症対策委員会	年4回	管理者・看護師・生活相談員・職責者
入所検討委員会	月1回	幹部・生活相談員・介護チーフ・看護チーフ
リスク会議	月1回	生活相談員・介護リーダー・介護職員
給食会議	月1回	幹部・管理栄養士・調理業者・介護チーフ
接遇会議	月1回	介護リーダー・担当職員

ICT プロジェクト委員会	月 1 回	幹部・生活相談員・介護職員・介護リーダー
在宅リーダー会議	月 1 回	幹部・生活相談員・職責者

## 5. 施設行事

月	行 事
4月	花見（在宅）・花見弁当（特養）
5月	お散歩会（特養）
6月	介護リフレッシュ教室（包括）
7月	夏祭り（特養・在宅）・入所家族勉強会・個別事例地域ケア会議（包括） 介護リフレッシュ教室（包括）
8月	夏祭り（特養）・地域ケア会議（包括）
9月	敬老祝賀会（在宅）認知症サポーター連絡会（包括）
10月	敬老祝賀会（特養）・運動会（在宅）
11月	お散歩会（特養）・高齢者サポーター連絡会（包括） 介護リフレッシュ教室（包括）
12月	クリスマス会（特養・在宅）
1月	新年祝賀会（施設・在宅） 民生委員とケアマネジャー交流会（包括）
2月	
3月	ひな祭り会（在宅）・介護リフレッシュ教室（包括）



《運営理念》 みんなに感謝してみんなが笑顔でいきましょう

## 【5】神港園サニーライフ白川

施設長 黒田 敦士

### 1. 事業報告<事業計画に対する進捗>

・**人材育成について** スマイルング委員会を中心に接遇の向上を図りました。理学療法士による介護ロボット利用に関する指導を継続してすすめてきました。各部署のリーダーに次期リーダー候補の育成を意識して行ってもらいました。職員間の問題に関する情報を随時収集し、人事部と相談しながら対処してきました。

・**施設整備について** 8月に特別養護老人ホーム（3階～4階）の換気扇の入替えを行いました。11月には高齢者介護支援センターとして高圧受電設備の入替工事を、3月には給水給湯設備及び自動火災報知設備受信機の入替工事を行いました。令和5年度にはエレベーター3基の入替工事を予定しています。

・**収支改善について** 8月から9月にかけて、及び12月から1月にかけて新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生したため、収支に大きく影響がでました。

特別養護老人ホームの増減差額は黒字ですが、残業のコントロールが必要な状況です。

ショートステイは感染症拡大防止のため、6月に4日間、8月から9月にかけて24日間、12月から1月にかけて丸1ヶ月間の新規利用者受入を中止しました。ご本人ご家族と相談の上ほとんどのご利用者には帰宅していただきましたが、様々な事情で帰宅できないご利用者については、感染のリスクを承諾の上ショートステイに残っていただき、営業は中止せず続けていました。

デイサービスも同様の理由で6月に3日間、8月から9月にかけて11日間営業を中止したため、稼働に影響がでました。

ホームヘルプは12月及び1月以外は安定していました。常勤ヘルパーを増員することはできませんでしたが、サービス提供責任者は欠員が1年間続いていることで新規受入れが頭打ちになっているため補充が必要な状況です。

ケアプランセンターは、課題となっていた欠員補充が行われ件数を伸ばすことができました。

あんしんすこやかセンターは、昨年に続いて複数名の異動があり新体制の構築を続けているところです。予防プラン件数は伸びています。

一方、費用については定員のある部署の職員配置の見直しを行い、デイサービス、ショートステイ、特別養護老人ホームの順に適正な職員配置を行いました。

・**新規事業について** 5月より福祉用具事業所を開設しました。法人内で初の事業で2名の福祉用具専門相談員で運営していましたが、業務ルーティンを作り上げるのにかなりの時間を要し目標には遠く及びませんでした。10月末で職員1名が退職、11月に他の職員1名が傷病休暇に入り、12月に新入職1名、2月より当該職員が新規受入れを開始しました。現在も体制を再構築中です。

### 【新型コロナウイルス感染症対策】

基本的な感染症対策を昨年度同様に継続して実施しました。

第7波が猛威を振るった8月から9月にかけて、デイサービス利用者から感染が拡大して、ショートステイ及び特別養護老人ホームにクラスターが発生することとなりました。デイサービスの営業中止の間は、デイサービス職員はショートステイ及び特別養護老人ホームでの勤務につきました。

12月から1月にかけて第8波の影響によりショートステイご利用者から感染が拡大して、ショートステイ及び特別養護老人ホームにクラスターが発生しました。デイサービスには影響はありませんでした。

### 新型コロナウイルス感染症による影響について(令和4年度)

#### 拠点名：神港園サニーライフ白川

陽性判明利用者数	営業中止・新規受け入れ中止日数		陽性判明職員数	自宅待機日数※1
	デイサービス	ショートステイ		
56人	14日	0日	45人	539日

※1：職員が感染、もしくは感染者との濃厚接触疑い等を原因として職務を休んだ延べ日数

## 2.経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	594,186	588,253	5,933
前年度決算	586,884	621,119	△34,235
対前年(差)	7,302	△32,866	40,168

#### ◆情勢と取り組み

・**収支について** 新型コロナウイルス感染症による2回のクラスター発生(8月～9月、12月～1月)が収支に大きく影響しました。事業別のサービス活動増減差額は、特別養護老人ホーム8,288千円、ショートステイ△16,531千円、デイサービス767千円、ホームヘルプ8,321千円、ケアプランセンター7,823千円、あんしんすこやかセンター1,906千円、福祉用具△7,261千円の結果です。ショートステイ及びデイサービスについては、クラスター発生時に新規受入れを中止したり営業を中止することにより稼働が低迷しました。福祉用具は立ち上げ後のルーティン確立に時間を要し、また職員配置が安定しなかったこともあり、第4四半期に仕切り直すこととなりました。

・**人員配置について** 前年度比が正職員6.5人減、嘱託職員は1.2人減、契約職員が5.0人

増、パート職員が 1.9 人減。正職員比率は 65.6%から 59.3%に減っており、計画していた介護 3 部門の適正配置は実施できました。ただし、人件費率が 72.4%から 72.2%とほぼ変化がなかったため、収入増が必須の課題です。

・**設備投資及び修繕について** 介護ベッド 5 台を新型に入れ替えました。設備の改修工事として 8 月に特別養護老人ホーム（3 階～4 階）の換気扇の入れ替えを実施しました。11 月には高齢者介護支援センターとして高圧受電設備の入替工事を、3 月には給水給湯設備及び自動火災報知設備受信機の入替工事を行いました。令和 5 年度にはエレベーター 3 基の入替工事を予定しています。

## ◆運営報告

### 【事業所への苦情・要望について】

#### 情勢

苦情・要望は計 14 件です。サービス関連が 2 件で、2 件ともホームヘルパーが掃除後に物を元の場所に戻さなかった件についてです。マナー関連 2 件のうち、居宅ケアマネジャーの話し方がきついと指摘された件が 1 件、包括ケアマネジャーとの連携が取りにくいと指摘された件が 1 件です。説明不足 4 件のうち、特養ご入居者ご家族からご入居者が新型コロナウイルス感染症の陽性となったのは施設の責任ではないかと指摘された件が 1 件、ショートステイのご利用者同士のトラブルに関するものが 1 件、ホームヘルパーによる保険証類の受け渡しに不備があった件が 1 件、居宅ケアマネジャーによる説明不足が 1 件。その他 6 件が、近隣住民からのエアコン室外機の騒音の件、事務所スタッフがご入居者ご家族との予定をうっかり忘れていた件、近隣で借りている職員用駐車場の駐車スペースを近隣住民用と間違えて駐車していた件が 2 件などです。

#### 対策

令和 5 年度も各部門ごとにサービス提供の基本、接遇、説明に関する対応をより真摯に実践していくための意識付けを行っていきます。

### 【発生した事故について】

#### 情勢

特別養護老人ホームとショートステイで 4 月から 5 月にかけて骨折事故が 6 件、頭部打撲による腫脹が 1 件ありました。その内、事業者の責に帰する事由による事故が 3 件です。1 件は立位や短距離の移動のサポートをするスタンディングリフト使用時に体を支えるベルトがずれて、ご入居者が足元からスタンディングリフトより床に滑り落ちて頭部を打撲したケースです。検証時にメーカーに来てもらい、当該事象がリコール対象とはなっていないことの確認と、再発防止のためのベルトの締め方を再度教えてもらい周知しました。1 件は排泄介助時にご利用者に手すりをもって立位を保持してもらっていたものの、その最中に体力が持たずに足元からくずれ落ちて骨折したケースです。

新型コロナウイルス感染症は、特別養護老人ホームご入居者が 28 名、ショートステイご利用者

が 16 名、デイサービスご利用者が 10 名、その他の在宅部門のご利用者が 31 名の陽性となりました。

## 対策

事故防止の対策については、各部門の研修で危険予知訓練を実施して、その後のグループワークで他者の視点を共有しています。各部門で起こった事故の報告の後には分析を行い対処し、月々の事故防止対策委員会で当該ケースについて他部門の意見を持ち寄り、各部門と共有することでより良い対策を講じています。事故現場がカメラで捉えることのできる位置の場合は、映像をもとに検証することで事故の再発防止に役立てています。今後も事故防止委員会等を活用しながら対策に努めて参ります。

## 【虐待防止の取り組みについて】

### 情勢

虐待はありませんでした。

### 対策

介護部門では、月々のスマイリング委員会で虐待の芽となる不適切なケアを防止するための接遇面の再確認やスピーチロック防止についてなど、繰り返し意識付けと周知を行いました。また、職員に対してアンケートを毎月実施して、日頃の介護現場で確認した良いケアと不適切なケアについてまとめて共有しています。

あんしんすこやかセンター及びケアプランセンターにおいては、代表の職員が外部研修を受けて内部で復講研修を実施しました。

## 3. 部門報告

### (1) 神港園サニーライフ白川

虐待防止検討委員会（旧スマイリング委員会）で接遇に関する目標を設定してフロア内に目標を掲示し、毎月全職員にアンケートを実施して振り返りを行う事で意識の向上を図り、丁寧な接遇が行えるように心掛けました。

腰痛予防対策委員会を毎月開催し、委員会メンバーを中心にノーリフティングケアを進めています。床走行リフトやスタンディングリフトの使用が定着し、直接ご入居者を抱える、持ち上げる介助の割合は全体で 50%を切ることができました。目標の 30%に向けて取り組みを継続していきます。

理学療法士によるポジショニング研修を始め、「認知症」「被介護者体験」など様々なテーマに基づいた研修を毎月のフロア会議時に開催し、適切なケアが行えるよう努めました。施設内での新型コロナウイルス感染症により理学療法士の勤務が限定された事で、床走行式リフトの使用などを活用したり、新たな取り組みが滞った時期もありましたが、第 8 波収束以降は理学療法士の勤務限定が解除されたことで、直接ご入居者を抱える、持ち上げる介助を目標の 30%に向けて継続し

て進めています。

ご入居者の状態に則した福祉用具利用の適正管理を図るために、計画に基づいて低床ベッドやセンサーマット、各種車椅子等を導入しました。「介護しよぶ神港園」と協力して、より迅速に対応することができています。

年間、延べ利用者数 18,143 人（前年度 17,986 人）、稼働率 99.41%（前年度 98.55%）。令和 4 年 8 月、令和 5 年 1 月に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、重症化して入院となるご入居者もいましたが、次期入所者を常に確保することで空床期間を最小限に抑えるよう努めました。入居申し込み者数は 58 名で前年度 64 名よりも減少していますが、積極的に入居相談の機会を持ったこと、近隣医療機関とも連携を図りながら退院後の新入居受入れを行ったりしながら、高い稼働率を達成することができました。

感染状況に応じた方法でご入居者とご家族との面会の機会を設けました。面会時には職員が付き添うことで日々の様子を報告していただきましたので安心感を得ていただけたようです。

時代に合わせたご家族との連絡用ツールの多様化にも対応して、双方にストレスなく連絡が取りやすい環境を整えました。電話以外の連絡手段が可能なご家族も約 5～6 割（昨年度は約 3 割）に増え、気軽に連絡を取りやすいタイミングで対応いただけるようになりました。

新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生した際には、看護職員を中心に介護職員、生活相談員、管理栄養士、事務所職員と、各職員が責任をもって情報を共有し、柔軟な対応を行いました。

## **(2) 神港園ショートステイ白川**

個々のニーズを把握し個別ケアの充実を図るとともに、楽しみのある日常生活を送れるように個別のモニタリング表を作成し支援しました。丁寧な挨拶や言葉遣いに努め、おもてなしの心を持って利用者に接しました。

ご利用者の体調変化に気づけるように、介護職・相談員・ケアマネジャーと連携を図り、ご利用者の普段の健康状態を把握するよう努めました。

ショートステイご利用者、及び併設の特別養護老人ホームご入居者に新型コロナウイルス感染症の陽性者が出たため、8 月から 9 月にかけて 25 日間、12 月から 1 月にかけて約 1 か月間、新規利用者の受入れを中止し、稼働は大きく低下してしまいました。法人内外の居宅介護支援事業所と密に連絡を取り、連携の強化を図りました。施設が求められる役割を発揮できるように依頼があった生活支援ショートステイは、積極的に受入れを行いました。

## **(3) 神港園デイサービス白川**

日々ご利用者に楽しんでいただけるようなレクリエーションの工夫をしました。また、一人一人の意向を尊重し、柔軟なサービス提供を行いました。接遇面の強化として研修を実施し、職員が互いに振り返りを行い、職員同士で声を掛けあう事で一人ひとりが言葉遣いやご利用者に寄り添ったケアに

取り組みました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、アクリル板の設置やうがい、消毒の徹底をし、陽性者発生時は職員一丸となり、早期収束に努めました。また、多職種間の情報共有と、体調不良者発生時などに迅速かつ適正な対応ができるように、医療情報について看護師を中心に共有し連携に努めました。

個別機能訓練の充実による筋力維持とご利用者の満足度の向上を図るため、理学療法士が考案した集団体操を実施しご利用者から好評をいただいています。ウォーターベッドを導入したことで運動が苦手なご利用者にも満足いただけました。短時間利用などご利用者一人一人のニーズに合った対応を柔軟に実施できるように努めました。

#### **(4) 神港園ホームヘルプ白川**

コロナ禍でもご利用者が住み慣れた自宅での生活を維持できるように他職種との連携を図り、その方に応じた支援を行いました。

常勤ヘルパーが増員となった事で、急な支援に対しても柔軟に対応できる体制を確立することができました。

定期的に研修を行い、感染症対策や接遇マナーを徹底したことで、ご利用者からの信頼を獲得することができました。

#### **(5) 神港園白川ケアプランセンター**

平均給付管理数ケアマネジャー 1 人 37 件を目標にしていたましたが、人事異動などもあり目標に達することができませんでした。ただし新入職員への指導が順調に進んでいるため、次年度に繋げることはできています。

研修については、ケアプランチェック研修、ヤングケアラー研修などの外部研修に参加して、当事業所内で復講研修を行ったことでサービスの質の向上と均等化に努めました。その他、ご利用者、ご家族との関係作りも強化できるようにケアマネジャーとしての接遇研修を行いました。

在宅向上支援委員会を通して法人内事業所への紹介利用率の増加を図りましたが、人事異動での給付管理数の低下もあり増加には繋がりませんでした。訪問介護 43.3%、通所介護 42.6%、短期入所 63.2%という結果でした。

#### **(6) 白川あんしんすこやかセンター**

介護相談、申請代行、認知症相談が大幅に増加しており、それぞれの担当する給付管理数も伸びている中、丁寧な対応を心掛けて業務に取り組みました。接遇についての復講研修もを行い、サービスの質の向上にも努めました。

「地域とかわりのない高齢者と繋がる方法を考える」をテーマに、地域ケア会議を開催し話し合いました。「できることから実施していきましょう」という、前向きな話し合いができました。声掛け訓練な

ど認知症の取り組みや働きかけも圏域3地区全てで行い、小規模単位でも実施しました。

また、認知症サポーター研修に加えて、コロナ禍でできていなかったキッズサポーターも再開し、認知症の理解を深める為の取り組みを行いました。

フレイル予防の啓発を目的として新たに広報誌「センター通信」を発行しました。すでに発行していた「お散歩マップ」と併せて、地域にフレイル予防の周知や意識付けができました。今後も集いの場が住民主体となるように、後方支援や新たな立ち上げ支援を継続していきます。

来年度の取り組みとしては、相談を待つのではなく直接地域に出向き、フレイル予防の取り組みや地域課題の吸い上げを図っていきたくと考えています。

#### 4. 施設委員会・プロジェクト

名称	開催頻度	主な参加者
事故防止検討委員会	月1回	幹部・生活相談員・施設ケアマネジャー・職責者 介護職員・看護職員
身体拘束 適正化検討委員会	月1回	幹部・生活相談員・施設ケアマネジャー・職責者 介護職員・看護職員・居宅ケアマネジャー・ホームヘルプサービス 提供責任者
褥瘡予防対策委員会	月1回	幹部・生活相談員・施設ケアマネジャー・職責者 介護職員・看護職員・管理栄養士
安全衛生委員会	月1回	幹部・生活相談員・施設ケアマネジャー・職責者 介護職員・看護職員・衛生管理者
感染症予防対策委員会	年4回	幹部・生活相談員・施設ケアマネジャー・職責者 介護職員・看護職員
喀痰吸引などに関する 安全委員会	年4回	幹部・生活相談員・施設ケアマネジャー・職責者 介護職員・看護職員
腰痛予防対策委員会	月1回	幹部・生活相談員・施設ケアマネジャー・職責者 介護職員・看護職員・理学療法士・居宅ケアマネジャー・地域包 括支援センター職員
在宅支援向上委員会	月1回	幹部・地域包括支援センター職員・居宅ケアマネジャー・ホームヘルプサービス提供責任者・在宅生活相談員・福祉用具専門相談員・在宅介護職員
事業運営会議	月1回	幹部・地域包括支援センター職員・居宅ケアマネジャー・ホームヘルプサービス提供責任者・生活相談員・看護職員・福祉用具専門相談員・介護職責者・管理栄養士・事務員

虐待防止検討委員会	年 6 回	幹部・生活相談員・施設ケアマネジャー・職責者 介護職員・看護職員・居宅ケアマネジャー・ホームヘルプサービス 提供責任者
入所検討委員会	月 1 回	幹部・施設ケアマネジャー・看護職員・生活相談員
リーダー会議	月 1 回	幹部・施設ケアマネジャー・介護職責者・看護職責者・生活相談 員・理学療法士
経口維持及び 口腔衛生担当者会議	月 1 回	幹部・生活相談員・施設ケアマネジャー・職責者・介護職員・看 護職員・管理栄養士

## 5. 施設行事

月	行 事
4 月	テイクアウトランチ・テイクアウトスイーツ
5 月	テイクアウトランチ・テイクアウトスイーツ
6 月	テイクアウトランチ・テイクアウトスイーツ
7 月	テイクアウトランチ・テイクアウトスイーツ
8 月	夏のレクリエーション・テイクアウトランチ・テイクアウトスイーツ
9 月	敬老のお祝い
10 月	運動に関するレクリエーション・テイクアウトランチ・テイクアウトスイーツ
11 月	テイクアウトランチ・テイクアウトスイーツ
12 月	年忘れのレクリエーション・テイクアウトランチ・テイクアウトスイーツ
1 月	新年のレクリエーション・テイクアウトランチ・テイクアウトスイーツ
2 月	テイクアウトランチ・テイクアウトスイーツ
3 月	テイクアウトランチ・テイクアウトスイーツ

## 【6】さん舞子神港園

施設長 吉川 和弘

### 1. 事業報告

新型コロナウイルス感染症が過去最大の猛威を振るう中、「安心安全な施設運営」を基本に、感染対策を講じながら、高齢者総合福祉拠点としての最大の役割「事業継続」を果たすべく事業運営を行いました。

しかし、第6波終盤時期に入居・ショートステイ部門においてクラスターが発生し、ショートステイにおける感染区域対応による3週間の事業縮小、拠点内応援体制構築のためデイサービスは7日間休業を決断しました。7月にはデイサービスにおいて複数名の発症が確認され、再度4日間の休業となりました。第8波では12月～1月中盤に入居部門で、2月にはショートステイ部門でクラスターが発生し事業縮小、新規受入れ中止により早期収束に向けて尽力しました。

営業休止によりご利用者・ご家族にはご不便をかせてまいりましたが、この度の経験を感染症下における事業継続計画に盛り込み、更なる福祉的役割を担っていきたくと考えます。

「地域における信頼回復」を最重要テーマに多職種協働・連携と相互尊重の下、自らの課題と誠実に向き合い、原点回帰による『本来あるべきケアの本質』とは何か、その実践に必要なノウハウは何か、ご利用者・ご入居者の個性が生きる生活の実現に向け、ONE チームで情報共有と協議を重ねました。具体的には、令和3年度当ショートステイで発生した「傷害事件」の再発防止のための職員アンケート実施と分析、認知症ケア研修を年8回開催し、「パーソンセンタードケア」について学びました。施設職員69名が受講、実践者レベルの事例検討会、多職種によるミニカンファレンスの実施、在宅から入居～看取りまでの一気通貫サービスによるサービスの幅の拡充と質の向上を目指しました。

クラスター収束後における入居生活のあり方を見直し「with コロナ」「ケアハウスらしさを取り戻すために」を合言葉に、地域の発生状況に応じた緩和策を月次単位で見直し、ご入居者・ご利用者が社会とのつながりや役割を持ち、生活の質の回復実現に向けケアを実践しました。「ご利用者のやりたいこと」に耳を傾け、その実現の過程に生活リハビリが自然に実施できるような個別ケアに向け舵をきりました。

組織力向上のため、外国人介護人材、新卒未経験者の育成など、個々の特性に応じた育成計画を立案し、多様性に対応した人事マネジメントを推進、通期で離職率は13.46%（登録ヘルパー含）と1.49%上回る結果となりました。離職理由の分析においては、退職者の約50%が年限、体調、家庭事情等の致し方ない理由によるもの、転職が40%、10%が人間関係に起因する理由でした。増加の背景を分析し、働きやすい職場環境改善に努めていきます。

働き方改革の一環として腰痛予防対策への取組みを始め、全部署の腰痛に関するアンケート調査を一新した「健康調査票」を実施、各フロア毎の個別の要因分析によるケア方法の見直し、ノーリフト機器体験見学を実施しました。見学会をきっかけに、作業療法士のアドバイスを受けながら、介護する側、される側両者にとってより安全な機器の導入に向けた準備にも着手できました。

神戸市のモデル事業「市営住宅コミュニティ活性化事業（市営住宅集会所の活用）」において、市営北舞子第二集会所の活用の認可を受け、「短時間のリハビリテーション特化型デイサービス『リハデイ Gs さん舞子神港園』」を6月に新規開設しました。諸事情で地域広報が遅れましたが、毎月恒例の地域行事開催により、高齢者だけでなく世代間交流の機会にもなり、新規事業を通じた新たな社会貢献が実現できました。運営推進会議を年2回開催し、地域住民との意見交換が図れました。

また、ご利用者も実人数39名、延べ利用者数170回と稼働が順調に伸び、地域における知名度も向上しました。今後は、自然環境の立地を活かした独自性や人気のマッサージにも注力し、地域に根付いた事業所を目指します。

### 【新型コロナウイルス感染症対策】

事業毎のハード・ソフト面の違いはあれど、できる範囲での統一均一化を図り、月次に加え臨時の感染症対策委員会を開催し、「お互いに理解・協力」しながら物事を進める事が出来ました。

第6波終盤期の5月15日、ケアハウスとショートステイでご入居者・ご利用者（ショートステイ退所後含む）20名、職員8名が感染するクラスターが発生し、5名の高齢者が入院されましたが、5名全員が施設に戻られました。

7月には、1日型デイサービスで複数感染者が発生しましたが、5月クラスターを教訓に迅速な対応を図りました。しかし、感染力の強い第8波の中、12月5日から2月12日の約2か月余りにケアハウスとショートステイでご入居者・ご利用者（ショートステイ退所後含む）26名、職員16名が感染するクラスターが発生し、誠に残念ながら1名のご入居者が入院先でご逝去されました。高齢者における感染と隔離対応は心身機能に及ぼす影響が非常に大きく、日常生活自立度の低下、認知症進行に拍車をかけた結果となり、職員にとっても心身共に厳しい勤務状況でありましたが、「ONE チーム」で部署及び職種間を越えた協力体制により収束を迎えることができました。

基本『持ち込まない』『広げない』を共通言語に、特に水際対策強化に尽力しました。ワクチン接種の推進、新規受入れに伴う健康観察と自主隔離対応、1日2回の検温による早期発見、職員及び同居者における体調変化の報告の徹底、喫煙場所を増設し「単独喫煙」の徹底を図り、感染経路の遮断に重点を置いた対策を実施しました。

発生疑い時の対応として、医事承認された抗原検査キットの確保と行政施策を活用し、週2回の職員抗原検査を継続しました。全部門が、感染疑いや学校等休業の影響により、職員の自宅待機期間が増加し、現場の人員不足による職員の疲弊感がマックスになりました。行政通知に即し

た感染関連で休業した職員の職場復帰ルール化を図り調整をしました。

## 新型コロナウイルス感染症による影響について(令和4年度)

### 拠点名：さん舞子神港園

陽性判明利用者数	営業中止・新規受け入れ中止日数		陽性判明職員数	自宅待機日数※1
	デイサービス	ショートステイ		
54人	11日	0日	52人	604日

※1：職員が感染、もしくは感染者との濃厚接触疑い等を原因として職務を休んだ延べ日数

## 2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	724,696	756,238	△31,542
前年度決算	744,003	728,471	15,532
対前年(差)	△19,307	27,767	△47,074

### ◆情勢と取り組み

◇ケアハウス・・・年間稼働率は91.3%で対予算△3.2%、ご入居者の平均介護度は最終2.62、対予算で0.22ポイントUP、2度のクラスター発生、長期入院者増影響による事務費補助金の払戻し、稼働減がマイナス影響となりましたが、平均介護度UPと感染症関連補助金により、収益は予算を上回りました。

◇ショートステイ・・・2度のクラスター発生、ロングショートステイご利用者の減少、年明けより感染症及び職員の傷病による欠員状態が発生、マイナス要因重複のため新規確保が順調に進まず、年間稼働率は76.7%と低迷しました。

◇一般型デイサービス・・・年間稼働率73.2%で対予算△8.3%、5月併設入居部門のクラスター発生の職員応援での休業7日、7月感染症影響による休業4日、計11日の休業が大きく影響しました。但し、例年稼働が低迷する2～3月に新規依頼が増加し、一定稼働が確保できました。

◇リハビリ特化型デイサービス・・・6月開設時は実利用者4名、稼働率1.2%で開始しましたが、年度末の実利用者38名で稼働率26.7%となりました。併設事業のクラスター発生など初動期の営業が遅滞し、当初予算を大幅に下回ってしまいました。確実な利用者確保と月例の地域行事に

より圏域内での知名度は向上しました。

◇**ホームヘルプ**・・・サービス提供責任者3名体制で、最大限度の利用者枠を維持し、最大枠内での新規受入れ、サービス回数の調整を図り、看取りケースなど身体中心型の積極的な受入れにより収益確保に努めました。サービス提供責任者本来業務の推進により、時間外労働のムダの削減が実現しました。

◇**ケアプランセンター**・・・中間で常勤ケアマネジャー2名の退職があり、後任は2名のパート職員を採用し、適切な給付管理数の調整を行いました。併設の地域包括支援センターと連携し積極的な新規受入れは行いましたが、終了件数も多く給付管理数は減少し、年間平均218.5件となりました。

◇**地域包括支援センター**・・・相談件数増により年間平均573件、対予算102.8%という実績ではありましたが、事業の特性上の要素も含み、予防専任ケアマネジャーの一人当りの管理件数の調整も課題となりました。

#### ◇**各種補助金について**

新型コロナウイルス関連補助金（未収計上含む）概算12,490（千円）

物価高騰関連補助金概算4,600（千円）

#### ◇**人件費、活動費用および施設設備について**

**人件費**：対予算で人員配置は年間月平均△3.7人、非常勤（嘱託・契約職員）が増え、正職員比率が減少した形で、当初予算に対し△15,800（千円）となりました。中でも外国人介護人材育成、新卒者や多様な人材の育成に注力し、職員特性に応じたOJTを実施しました。拠点課題でもある職員の高年齢化への対応も念頭に入れ、必要な時間帯へのパート職員の雇用など人件費率にも注力した配置を行いました。

**活動費用**：事業費と事務費は対予算3,000（千円）増加となりました。最大の要因は物価高騰によるガス・電気料金・食材費の高騰等が大きく影響しました。より効果的な暖房器具の使用方法を周知徹底し、光熱費の削減にも取り組みました。新型コロナウイルス関連費用として、職員の職場復帰や感染有無に用いる抗原検査キット確保費用が年間1,700（千円）その他感染防護に関する消耗品等の費用が増大しました。

**施設整備**：施設のセキュリティ対策としてケアハウス・ショートステイ・デイサービスに各1台ずつ計3台の防犯カメラを追加設置、北館高圧電気設備内のBVC真空遮断器の交換工事、北館外壁タイル補修工事、17年が経過する北館屋上の給湯器関連機器の修繕、新規事業：リハビリ特化型デイサービス「リハデイGs」開設に伴う内装費5,750（千円）同じく空調設備の交換工事950（千円）を整備しました。

## ◆運営報告

### 【事業所への苦情・要望について】

#### 情勢

苦情件数 6件 要望件数 5件

#### 対策

態度や接遇マナーに関する内容が6割を占め、言葉だけでなく態度や語調など、相手がどのような受止め方をされるか、対人援助の場面では非言語コミュニケーションを含めた基本的な接遇マナーの周知徹底と十分な説明を行うよう改善を行いました。また、決められたルールを守ること、勝手な判断でなく相手に確認した上で行動すること、コロナ禍で直接接することが激減し普段の様子が分かりにくい中でご家族と情報共有することの重要性を周知しました。

### 【発生した事故について】

#### 情勢

事故（行政報告）件数は16件、感染症発生件数は106件（内利用者54件、職員52件）でした。

事故については年間の行政報告16件の内、15件が骨折を伴う転倒等の事故でした。特に入居部門は平均介護度の重度化、新型コロナウイルス感染症蔓延防止に関連する外出や活動自粛による心身機能の低下など様々な要因が重なりました。

#### 対策

24時間モニターシステムを活用した的確な要因分析、専門職による介助方法の助言、心身状況に応じた福祉用具の活用や抱えない介護の検討、居室内での行動パターン把握、生活リハビリの工夫、個々のご利用者に応じた環境整備や個別ケアの実施などを行いました。転倒に繋がりにくいご利用者状態像につき分析し、事前評価に役立てていきたいと考えます。

### 【虐待防止の取り組みについて】

#### 情勢・対策

去る令和4年3月15日（火）、当ショートステイ夜勤帯に発生した傷害事件に関し、発生要因分析のための職員アンケートを実施し、分析結果の周知と職員面談を行いました。その上で下記の対応を年間通して実践し、認知症がクローズアップされるのではなく「人」として向き合うことが認知症ケアの本質であること、認知症への余分な知識が偏見を生んでしまうことにも気づくことができました。

- ① 日頃からの相互牽制作用が機能するような組織作りのための取り組みとして、「気づき」を促すシートによる現場職員中心の事例検討会の実施
- ② 外部講師による「認知症研修 パーソンセンタードケア」講習の受講
- ③ マネジメントラインによる予兆への早期発見と相談対応

- ④ 事故発生時の迅速な対応と発生現場における徹底した検証の実施

### 3. 部門報告

#### (1) ケアハウス さん舞子神港園

##### 【生活相談員】

##### ① 平均介護度の上昇に伴った安定した収益と稼働率の維持（目標稼働率 94.5%）

一定の高い平均介護度は保てましたが、稼働率に関しては長期入退院者が重なる等で目標達成ができませんでした。

##### ② 徹底した感染対策を実施した中でのイベントの実施及び、心身機能と満足度の向上を意識した活動の提供

気候の良い時期には外出行事、ご家族面会においても青空面会等を実施し、満足度の向上に繋げる事ができました。

##### ② 多職種間での情報共有による状態把握とリスク管理及び、細やかで迅速なご家族への相談・連絡

状態の変化に応じ多職種間での情報共有をし、ご家族への連絡を行い必要時に受診へ繋げるよう対応しました。

##### 【介護部門】

##### ① 持続的な人材育成と基礎的な知識・技術の習得による接遇マナーの向上

コミュニケーションをしっかり取る事で、些細な事でも聞きやすい職場環境を作り上げました。他職員の意見を参考にお互いの介助方法が適切か模索し合いながらご入居者にとって良い介助を行えるように試み実践しました。接遇マナーの向上においては、言葉遣いには細心の注意を払い、常に笑顔で温かい丁寧な対応を心掛けたものの、十分とは言えませんでした。

##### ② 認知症の方への確に対応するためのコミュニケーション能力の向上

認知症研修を受講する事で、“笑顔” “傾聴” “寄り添う” という介護の大切さを改めて学び、日々の介護に活かせるようにしました。

##### ③ ご入居者の個性を尊重したうえで、他職種連携を密に図り、個々のニーズに応えていく。

常日頃よりコミュニケーションを取り、ご入居者一人ひとりの意思や本心を伝えてもらい、個別での生活を維持できるように、職員全体で情報を共有して援助を行いました。

##### 【看護部門】

##### ① その人らしさを大切に「安心と納得」の医療・看護の提供

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症のクラスターが3回発生し、緊張が続いた1年でした。感染対策は、保健所の指導を基に全職員の知識・技術の向上に繋がりました。医師の変更や電子カルテを導入し、適切で丁寧な診療を行いご入居者の健康ライフをサポートしました。

##### ② 多職種連携によるチームケアの向上

チーム力向上を目標に、チーム全体で情報を共有し全員で業務にあたりました。

## **(2) さん舞子神港園ショートステイ**

### **【生活相談員】**

#### **① 職員間の連携強化を図り、情報共有を徹底し稼働確保安定 目標稼働率 105.0%**

多職種間の情報共有を徹底した結果、新規利用者のリピート利用率は増えましたが、ケアハウス・ショートステイともにクラスター発生により、ショートステイフロアを隔離対応区域として早期収束に向けて事業縮小するなど、感染症対応が影響し稼働の確保を安定できず、年間平均稼働率は76.9%でした。

#### **② 常にご利用者の心身状態、環境の正確な把握に努め、相談に適切に応じる。**

信頼回復に向けて、常にご利用者の心身状態、環境の正確な把握に努め、個別の相談に対しひとつひとつ適切に応じる事ができました。

#### **③ コロナ禍でも高齢者福祉に携わる価値や誇りを持てるやりがいのある職場づくり。**

介護とコロナ禍でもできる行事やレクリエーションを共に考えた結果、高齢者福祉に携わる価値や誇りを持てるやりがいのある職場づくりができました。

### **【介護部門】**

#### **① 楽しみの見つかる入居生活の提供と、ご利用者満足度の向上**

コロナ禍でも安全にできるおやつ作りとして「懐かしいお菓子」がご利用者に好評でした。おやつを作ると共に、季節を感じてもらえるおやつを取り入れるように心掛けました。レクリエーションは、下肢筋力低下を防ぐ体操を取り入れ実践しました。懐かしい曲を聴けるよう、YouTube を積極的に活用した歌番組の視聴やカラオケを行い、ご利用者に喜んでもらえるレクリエーションを提供するよう努めました。

#### **② 事故の未然防止と再発防止対策の強化、水平感染予防による安心安全なサービスの提供**

新型コロナウイルス感染症第8波の中、水平感染が発生したものの換気・消毒・マスクの着用の徹底により、拡大を最小限に抑えることができました。在宅で過ごされているご利用者の新型コロナウイルス感染症の影響による下肢筋力低下、転倒リスクのある利用者が増え、業務改善をすると共に見守りを強化し、食卓席の誘導・排泄介助の順番も工夫し事故防止に努めました。

#### **③ 安定稼働率の確保 目標 105%**

第6波終盤時期に入居・ショートステイ部門においてクラスターが発生し、ショートステイを隔離対応区域とし、事業を縮小、第7・8波においても水平感染による縮小を行い、感染症終息を最優先に対応を行いました。また、リピートご利用者の入院も多く、稼働が中々回復できませんでした。

新規利用者確保のために、他部署と連携をとって情報を共有し、統一した対応を行うと共に、ご利用者の「困り事」や「したい事」を聞き取り、ニーズに沿ったサービスの提供を行いました。

## **(3) さん舞子神港園デイサービスセンター**

### **【生活相談員】**

#### **① コロナ禍でも安定した稼働率の確保を目指す 目標稼働率 81.5%**

新型コロナウイルス感染症関連での休業がトータル 11 日間（5 月休業 7 日間：ケアハウス・シヨートステイのクラスター発生への職員応援派遣、7 月休業 4 日間：デイサービスクラスター発生）、1 月の大雪では利用者 2 名のみの受入れとなり、大幅に利用者数が減少した月があったものの、通常利用者数が少ない第 4 四半期に新規依頼が増えて少し回復し、年間平均稼働率は 73.4% でした。

## ② 徹底した感染症対策、安全に過ごせる環境整備、無理なく働ける業務改善を継続

7 月に初めてクラスターが発生したものの、現場における基本の感染症対策はしっかりできていたと思います。感染者発生時のご利用者家族への連絡については、利用者家族の反応も様々で、連絡対応にかかる時間が増えました。通常業務を圧迫していたことを踏まえアンケートを実施した結果、必要最低限の連絡のみを今後はすることとなりました。

また他拠点を参考に、感染リスクが高まる入浴時における接触者の把握を工夫したことで、感染者発生時の動きがスムーズにできるようになりました。事故に関して車両事故は数件ありましたが、大きな事故は発生しませんでした。

## ③ 新規事業を含む、地域への包括的継続的支援ができる総合拠点としての広報活動

在宅支援向上委員会を通して、新規事業としてのリハビリ特化型デイサービスの立ち上げに関わり、特に相談員としての業務内容の伝達や営業活動などを行いました。令和 4 年度はクラスター発生によりデイサービスを 2 回休業しましたが、ご利用者にとって大きな影響があることを痛感し、今後はクラスター発生時においても、受け入れ可能な範囲を調整しながらサービスを必要とすご利用者およびご家族への支援をしていくという役割を果たしていきたいと思います。

### 【介護部門】

#### ① 職員の役割分担の明確化、業務分担の改善による働きやすい職場作り

上期は新型コロナウイルス感染症の影響で自宅待機や休みになる職員が多く、業務に追われる日々が続きましたが、後半は少しずつ業務の改善が進みました。

#### ② ご利用者の立場に立ったサービスの提供、個別対応によるご利用者満足度の向上

新型コロナウイルス感染症の影響で制限もありましたが、その中でもなるべく元の状態に戻せるように職員が一丸となって取り組めたと思います。制限がある中でも利用者数を減らさずに確保できたことは一定の成果だったと思います。

#### ③ リスクマネジメントの強化、感染予防対策の徹底

修理が必要な車両事故が 2 件発生しました。同じヒヤリが繰り返されることも多く、再度意識して取り組むことが必要だと考えます。感染予防対策については各自が意識し、しっかり取り組めたと思います。

## (4) リハデイ Gs さん舞子神港園

### ① 事業所の強みである「介護予防」の視点に基づいたご利用者確保

法人初のリハビリ特化型の短時間デイサービスとして、在宅サービス向上委員会で地域ニーズの束

握、近隣競合他社の情報収集を行い、「小規模」「市営住宅集会所」「自然あふれる立地条件」「リラクゼーションマッサージ」を取入れ、ご利用者確保に尽力し、年間 47 名（終了者含む）の方が利用に繋がりました。

### ② 神戸市初の「地域活性化事業」としての役割発揮と地域に根付いた事業所運営

毎月第 3 土曜日の午前中に地域行事を定期開催し、多世代参加を意識した催しを企画し、お子さんから高齢者まで幅広く参加いただいたことで「馴染みの場所」として定着しつつあり、地域活性の役割を担えるようになってきました。

### ③ 積極的な広報活動と事業所間連携強化による信頼確保

設立準備期間より、法人内事業所から多くの支援や助言を受け、パンフレットや地域行事のチラシ配布などの広報活動に力を入れました。「その人に応じた GOAL」を意識し、地域で長く暮らし続けるための支援を積み重ね、少しずつ地域内での知名度も上がってきていると実感するところです。

## (5) さん舞子神港園ホームヘルプセンター

### ① 他職種、ご家族との連携を密に取り、円滑なサービスを提供する。

LINE WORKS を活用することで、ご家族、他職種との連携が更に円滑にできました。

### ② サービス提供責任者、訪問介護員のスキル向上を図る。

1 年を通し、ほぼヘルパー研修会が対面で実施できず、ヘルパーのモチベーションも下がっていたように思います。ご利用者からの苦情、ヘルパー交代の依頼が続いてしまいました。

### ③ コスト意識を持ち仕事の効率化を図る。

業務の役割分担を実施しました。一日の予定を毎日立ててから業務に入ることでスムーズな仕事ができ、部署内での残業を前年度より大幅に減らすことができました。

## (6) 神港園舞子ケアプランセンター

### ① BCP を策定し、シミュレーションによる検証を行う。

自然災害時に対しハザードマップを確認し事業所内で周知しました。自然災害時の対応（平常時、訪問時、出勤前の災害時）について、事業所内で検討した内容をマニュアル化しましたが、検証にまでは至っていません。

### ② ケアプラン新様式に対し事業所内での統一を図る。

ケアプラン 1 表への課題分析結果の記載に関して、ケアプラン作成の研修に参加し、課題分析はアセスメントシートに記載するものであり、ケアプランには課題分析結果により導き出された意向、ニーズ、目標、手立てを記載するものと確認できました。各々がこのことを認識し、尊厳を保持し自立支援に資するケアプラン作成に努めています。

### ③ 新たな社会資源の活用により、要介護者の重度化を予防する。

新規事業のリハビリ特化型短時間デイサービス「リハデイ Gs さん舞子神港園」が要介護者の重度化予防を担う新たな社会資源と認識し、半日利用でリハビリを希望するご利用者の紹介、アセス

メントした内容を伝え ADL 維持や向上への取り組みを行っていただきました。当該事業所でのリハビリを行うことで、ご利用者はモチベーションを保ち要介護状態は重度化することなく維持できています。

## **(7) 舞子あんしんすこやかセンター**

### **① 包括的継続的支援の核となりネットワークの充実を目指す**

包括的継続的支援の核となり地域ネットワークの充実を目指すために、個別地域ケア会議、協議体機能を持つ地域ケア会議を実施しました。地域の課題抽出を行い、仕組みづくりに向けて話し合うことができました。

### **② 地域包括ケアシステムでの専門職の役割の継続と職員の育成体制を強化**

地域包括ケアシステムでの専門職の職務を継続的に発揮するために、センター業務の経験が少ない職員には OJT やミーティングでの検討、情報共有によりスキルアップに努めました。また、外部研修にも積極的に参加しました。

### **③ 自立支援・重度化防止のためのフレイル予防の普及啓発**

フレイル予防の普及啓発を地域の行事の場で行いました。地域住民主体のつどいの場の後方支援も継続して行うことができました。

## **(8) 栄養部門**

### **① 他職種連携強化**

他職種との連携ができるよう取り組みましたが、課題はまだ残っている状況です。

### **② 食事・食イベントを通じての満足度向上**

食材費の高騰や環境の変化により入手困難な食材もあり、使用できる食材が狭まり満足度は落ちてしまいました。感染症対応以外は計画的に食イベントを行い満足度の向上に努めました。

### **③ BCP（食事提供編）の見直し**

食事提供に対する簡単な BCP を作成しました。

## **(9) 事務部門**

### **① 窓口での感染予防の徹底を心掛け、対応をする**

窓口での感染予防を徹底し、情報共有を図りながら対応することができました。

### **② 施設全体の円滑な運営ができるように縁の下の力となるようにする**

施設全体の円滑な運営ができるように、縁の下の力を意識し業務にあたりました。

#### 4. 施設委員会・プロジェクト

名称	開催頻度	主な参加者
在宅支援向上委員会	1回/月	幹部、生活相談員、在宅サービス職責者
虐待防止・ 身体拘束廃止委員会	1回/3月	幹部、生活相談員、職責者、管理栄養士、各担当者
事故防止対策委員会 (各部署)	1回/月	幹部、生活相談員、職責者、職員
災害対策委員会	2回/年	幹部、生活相談員、職責者、担当職員
感染症対策委員会	1回/月・臨時	幹部、生活相談員、職責者、看護師、管理栄養士
安全衛生委員会	1回/月	幹部、生活相談員、職責者、担当者
入居検討委員会	月1回	幹部、生活相談員、職責者、

#### 5. ケアハウスさん舞子神港園 施設行事

月	行事
4月	花見(ケアハウス・ショート・デイ) ふれあいランチ：串カツ実演デー(ケアハウス北1F・デイ) ふれあいランチ：お好み焼き(ショート)
5月	歌敷山保育園交流(ZOOM) ふれあいランチ：お好み焼き(ケアハウス北1F・南館・ショート串カツ実演デー(ケアハウス北2F) どん焼き作り(ケアハウス北2F・3F)
6月	ふれあいランチお好み焼き(ケアハウス北2F・北3F) お茶会(デイサービス) どん焼き作り(ケアハウス北1F・南館)
7月	夏祭り(ケアハウス、ショート) セタ会(デイサービス) ソフトクリーム作り(ケアハウス・ショート)
8月	夏祭り(デイ) ふれあいランチ：鉄板焼き(ケアハウス北1F・南館) お好み焼き(ショート) 串カツ実演(ケアハウス北3F)
9月	敬老祝賀会(ケアハウス・ショート・デイ)
10月	外出(舞子浜) プレミアムランチ(ケアハウス南館・北3F) 家族連絡会 運動会(デイ) クレープづくり(ショート・ケアハウス南館) ふれあいランチ：鉄板焼き(ケアハウス北2F・ショート)
11月	歌敷山保育園交流会(ZOOM) プレミアムランチ(ケアハウス北1F・北2F) お茶会(デイ) ふれあいランチ：鉄板焼き(ケアハウス南館) すき焼き(ショート) クレープ作り(デイ)

1 2月	年忘れ昼食会（ケアハウス・ショート） クリスマス会（デイ） ぜんざいデー（全館）
1月	新年祝賀会（デイサービス）
2月	握りずしデー（ケアハウス北 1F・南館） 串カツ実演（ケアハウス北 3F） 節分（ショート・デイ） 和菓子作り（ケアハウス南館）
3月	衣類販売(ウエストイエロー) 握り寿司デー（ケアハウス北 2F、北 3F） お茶会（デイ） 和菓子作り（ケアハウス北館） ひなまつり（リハデイGs）
	お誕生日会 ケーキ（毎月1回）

## 5. リハデイGsさん舞子神港園 地域行事

月	行事（地域行事）
4月	
5月	
6月	地域住民向け見学会 第1段 ～地域交流会～（リハビリマシン等の体験と交流）
7月	地域住民向け見学会 第2段 ～地域交流会～（リハビリマシン等の体験と交流）
8月	夏まつり ～地域交流会～(ヨーヨー釣り/射的/千本引き)
9月	映写会 ～地域交流会～(明治から昭和にかけての垂水区の写真館映像の視聴)
10月	音楽療法 ～地域交流会～ / 外部講師：認定音楽療法士
11月	【講義】フレイル予防 ～地域交流会～/外部講師（舞子台あんしんすこやかセンター）
12月	・クリスマス会 ～地域交流会～(マジックショー/参加型ハンドベル/ビンゴ大会)
1月	・【講義】食事でフレイル対策 ～地域交流会～ / 講師:さん舞子神港園管理栄養士
2月	・認知症サポーター養成講座 ～地域交流会～ / 外部講師
3月	・福祉用具の勉強会 ～地域交流会～ / 外部講師：介護ショップ神港園

## 【7】さん舞子神港園 いこいの家

施設長 吉川 和弘

### 1. 事業報告

#### 【 チームケア力の向上 】

いこいの家では、「いこいの家職員宣言」に基づき職員のベクトル統一に努めており、チームケアを実施する上での指針となりつつあります。令和4年度においてもこの流れを継続し、介護・医療の連携等他職種協働によるチームケアの充実に努めました。これに対して数字に表現できるデータとして、通期で常勤介護・看護職員退職数が「1名」となっており、チームとしての結束力向上が図れていると考えられます。

また、60歳以上の介護職員割合が3分の1を超える職員環境に対応すべく、ノーリフティングケア機器導入による「力に頼らないケア」の推進や、現状に則した支援方法の統一・均一化や職員配置を実施する事で「無理の生じない」形で業務を進める事ができる環境が整備できました。

#### 【 舞子拠点連携強化 】

舞子拠点全体の人的・物的連携促進や収入構造の見直しを実施し、拠点としての基盤強化と費用圧縮が実施できるように努めました。主たるものとしては、「下半期からの舞子拠点管理当直1本化」を実現する事ができました。

#### 【新型コロナウイルス感染症対策】

感染症対策においては、ケアハウスを含めた「舞子拠点」として情報共有ならびに知識・技術向上に繋がる取り組みを実施しました。

また、職員に対して「体調不良時は休む事がプロの仕事の1つ」である事を会議やミーティング等で意識付けしていきました。結果的に、職員や職員家族の新型コロナウイルス感染者は相当数派生しましたが、ご入居者の新型コロナウイルス感染者「ゼロ」を継続できており、過不足ない対応が実施できていると考えられます。

### 新型コロナウイルス感染症による影響について(令和4年度)

#### 拠点名：さん舞子神港園いこいの家

陽性判明利用者数	営業中止・新規受け入れ中止日数		陽性判明職員数	自宅待機日数※1
	デイサービス	ショートステイ		
0人	-	-	8人	173日

※1：職員が感染、もしくは感染者との濃厚接触疑い等を原因として職務を休んだ延べ日数

## 2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	287,017	272,572	14,445
前年度決算	281,291	267,960	13,331
対前年(差)	5,726	4,612	1,114

### ◆情勢と取り組み

上半期においては、退居者が3名しか発生しなかった事もあり、安心安全を前提とした空床発生時等の早期入居や早期退院が行える体制を整え稼働率安定を図りましたが、下半期においては新型コロナウイルス感染症第8波の影響による入居控えや、近隣の新設特別養護老人ホーム開設に加え、全体の2割にあたる10名の退居者が発生したこと等が重なり、結果的に年間稼働率が目標の98.5%を大きく下回る95.9%との結果になりました。

一方で、助成金や補助金の活用により、新型コロナウイルス感染症対策に要する費用の補填を受ける事ができた為に、収入の下振れ防止が図れた事により、サービス活動増減差額は11,209千円と、増収・増益を達成する事ができました。

### ◆運営報告

#### 【事業所への苦情・要望について】

##### 情勢

ご入居者、ご家族共に権利者意識が増してきている中で、今までは苦情として挙がってこなかった内容まで、苦情として挙がるケースが出てきています。

また、コロナ禍において「面会」「外出」等の制限が必要な中、個々の要望を叶える事が困難な状態が続いており、要望も様々な意見の方がおられる為に様々な角度からの意見を基に要望を叶える事が必要となっています。

##### 対策

アンケート等の活用により「様々な意見」の収集と、収集した情報を基に検討を重ね、ご家族・ご入居者に対してフィードバックを続けてきたことで、要望から苦情に発展する事はありませんでした。

#### 【発生した事故について】

##### 情勢

事故については、「精神論」「根性論」では無くメカニズムやエビデンスに基づいた対応が求められるように変化してきており、漠然とした対策は事故検証に当たらないという認識に変わってきています。

##### 対策

フロア等の共用部にはビデオカメラが設置されている為、カメラ設置部での事故発生時には必ずビデオ検証を実施する事で「想像」では無く「実際に起きた事」にポイントを当て、事故再発防止策の策定を実施しました。その他、各種根拠を職員・外部にも示す事で理解の促進が図れました。

### 【虐待防止の取り組みについて】

#### 情勢

今までは虐待として捉えられていなかった「不適切ケア」も虐待の一種として捉えられるケースが増えてきており、高齢者虐待に対する社会的認識が変わりつつあります。

#### 対策

「被介護者体験」と「アンガーマネジメント」を中心に、職員が要介護者サイドを体験することでの理解促進や、強弱はあれど全ての人間の持つ喜怒哀楽の感情を抑えるのがプロなのでは無く、自身の感情に付き合いながらコントロールする事がプロである事の意識改革を実施しました。

また、昨年度に引き続き「事故ゼロ」「虐待ゼロ」の数値目標ではなく、「より良いサービス提供を目指す事が結果的に『ゼロに繋がる』」との意識を常に持ち、チームとして足並みを揃えての取り組みを実施しました。

## 3. 部門報告

### (1) さん舞子神港園いこいの家

- ① さん舞子神港園のケアハウス・ショートステイを中心とした、人的・物的連携強化による舞子拠点全体の効率化とモチベーション向上に努めました。
- ② ノーリフトを中心とした介護技術の向上に努め、支援実施対象者の倍増に繋がりました。
- ③ ICT 化促進による業務効率化と情報共有化促進を実施しました。
- ④ 感染症・災害に対する備えの強化を実施し、新型コロナウイルス感染症ご入居者罹患「ゼロ」を継続する事ができました。

## 4. 施設委員会・プロジェクト

リーダー会議	12回	幹部・生活相談員・各職責者・ 看護師
安全衛生推進委員会	12回	
入居検討委員会	12回	
事業運営会議	10回	幹部・生活相談員・各職責者・ユニット
ユニット会議	各ユニット	幹部・生活相談員・各職責者・ユニット 職員
事故防止検討委員会（ユニット）	12回	

事故防止検討委員会（施設全体）	2回	幹部・生活相談員・各職責者 看護師・管理栄養士・作業療法士
身体拘束適正化検討委員会	4回	
虐待防止検討委員会	4回	
感染症対策委員会	12回	
災害対策委員会	1回	
食事検討委員会	10回	幹部・管理栄養士
在宅支援向上委員会(ケアハウス合同)	12回	幹部・生活相談員

## 5. 施設行事

月	行事
4月	花見
5月	茶会
6月	
7月	夏祭り
8月	
9月	敬老祝賀会
10月	運動会
11月	
12月	クリスマス会
1月	新年会
2月	節分
3月	茶会

## サン舞子マンション

管理者 亀岡 義之

### 1. 事業報告

建築より40年が経過し、建物全体の老朽化による安心安全な事業継続が困難となった為に事業の終息を行いました。また、自立した生活が困難になりつつあるご入居者に対して、環境面・支援面においても適切な生活基盤が提供できる様にサポートを実施し、ご入居者3名共に上半期中にケアハウスへの転居を実現する事ができました。

#### 【新型コロナウイルス感染症対策】

ケアハウスさん舞子神港園を含めた「舞子拠点」としての対策・協議を実施する事により、スタンダード化・効率化を行いながらの対策強化・実施に努める事ができました。

#### 拠点名：サン舞子マンション

陽性判明利用者数	営業中止・新規受け入れ中止日数		陽性判明職員数	自宅待機日数※1
	デイサービス	ショートステイ		
0人	-	-	0人	0日

※1：職員が感染、もしくは感染者との濃厚接触疑い等を原因として職務を休んだ延べ日数

### 2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	1,205	11,652	△10,447
前年度決算	2,066	18,275	△16,209
対前年(差)	△861	△6,623	5,762



《運営理念》利用者が明るく、心豊かに暮らせる場を提供し、社会貢献に取り組み地域からの信頼を得る

## 【8】 神港園レインボー西宮

施設長 金谷泰明

### 1. 事業報告

令和4年度は西宮拠点の経営的安定を目指し、レインボー西宮とレインボー酒蔵通の事業間連携を円滑にして受容力の向上を図り、相互の連携と協力体制を強化することで収益の最大化を図るよう努めました。また、コロナ禍で制限のある生活を強いられたご入居者・ご利用者に対し、運営理念である「明るく心豊かに暮らせる場を提供する」ために、職員が質の高い福祉サービスの提供を目指し、一丸となって取り組みました。

上半期はコロナ禍の影響が想定以上で在宅サービスの稼働率が悪化しましたが、下半期には回復し、収益目標を達成することができました。重点計画の進捗状況は以下の通りです。

#### 支援の品質向上と福祉サービス提供の維持・拡充

介護ソフトの導入による業務の効率化を進めました。事業ごとに最適と思われる介護ソフトの導入を図り、記録管理や帳票作業の簡素化と円滑な情報共有ができるようになりました。作業時間が短縮され、残業の削減にもつながっています。また、グループホーム居室に「見守りセンサー」を設置しました。夜間帯のご入居者の動きをタイムリーに把握できるようになり、夜勤者の負担軽減とともに事故防止につながっています。

西宮拠点は自前の地域包括支援センターがなく、居宅介護支援事業所の規模が小さい為、部門間連携の重要性がより高くなっています。居宅介護支援事業所、デイサービス、グループホーム、ホームヘルプおよびサービス付き高齢者向け住宅の相互連携と協力体制を強化し、組織的運営基盤を強固にするよう努めました。その結果、下半期にデイサービスの稼働率の向上、グループホームおよびサービス付き高齢者向け住宅の入居率の向上につながっています。

#### 人材活用

新たなリーダーを育成すべく中期的に人材の育成に取り組みました。その過程で先行して組織改革を行った結果、組織が活性化し下半期の業績が好転しました。引き続きリーダーの育成に注力して参ります。外国人については3名を登用し、1名が既に独り立ちしており、2名も初任者研修を受講するまでレベルアップしています。今後も人材を育成するという意識を高め、リーダーだけではなく職員全員が後輩を育てていくという風土の醸成に努めてまいります。

#### リスク管理

感染症、自然災害等のリスクが顕在化する中、事業を継続していくために対策を推進しました。新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画、自然災害発生時における業務継続計画を作成し、衛生用品や食料、飲料水の確保に努め、防災訓練等を実施しました。残念ながら 1

月にグループホームにおいて新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生し、罹患されたご入居者、職員、ご家族に大きな負担をお掛けしました。しかしながら職員が徹底して感染防止対策を行った結果、感染を1フロアで食い止めることができました。

令和4年度は、上半期に想定以上の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、デイサービスの稼働の低迷が続き、収益に影響を受けました。また、入居部門においてもグループホーム、サービス付き高齢者向け住宅の入居率の低下が長期化しました。

下半期に入り、デイサービスの構造改革を実行し、職員の意識改革・質的向上を図りました。入居部門においても職員の異動を含めた組織改革を実行し、職員の意識改革・福祉サービスの質的向上を図りました。改革の成果として下半期は稼働が上昇し、収益を大きく伸長させることができました。継続して改革を進め、安定経営の基盤を築いてまいります。併せて職員の働き易さを含めた環境整備に注力し、職員のスキルとモチベーションの向上を図ってまいります

### 【新型コロナウイルス感染症対策】

基本的な感染対策を徹底して実行しました。(手洗い、うがい、消毒、換気) 職員への感染予防策の周知の為、感染症対策委員会を定期的で開催しました。新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画を作成し、発生時の初期対応、職員の役割分担を明確にしました。

1月にグループホームにてクラスターが発生しましたが、感染は1フロアに留まりました。感染防止対策の徹底により感染拡大を阻止できました。クラスターを経験したことで、職員の感染症対策に対する意識が高まりました。より徹底した感染予防対策を実行するとともに、発生時に必要な衛生用品の備蓄を怠らぬよう管理してまいります。

### 新型コロナウイルス感染症による影響について(令和4年度)

#### 拠点名：神港園レインボー西宮

陽性判明利用者数	営業中止・新規受け入れ中止日数		陽性判明職員数	自宅待機日数※1
	デイサービス	ショートステイ		
9人	0日	0日	19人	285日

※1：職員が感染、もしくは感染者との濃厚接触疑い等を原因として職務を休んだ延べ日数

## 2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	252,403	262,458	△10,055
前年度決算	231,297	252,629	△21,332
対前年(差)	21,106	9,829	11,277

### ◆情勢と取り組み

#### 【収入】

- ・上半期は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたため、デイサービスの稼働が低迷しました。
- ・グループホームの退所者が多く出たことにより、収益の低下を招きました。
- ・下半期に入り、組織改革により職員の意識改革・質的向上が図れたことでデイサービスの稼働が上昇し、グループホームの入居率も安定しました。
- ・コロナ禍が落ち着いたこともあり、各部門共に稼働が安定し、収益目標を達成できました。

#### 【費用】

- ・人件費は、新処遇と社会保険適用拡大のため4,500(千円)の増加がありました。
- ・人員数は配置基準を上回っていますので、収益と業務のバランスを見ながら調整してまいります。
- ・事業費は水道光熱費高騰の影響で増加しています。節電に努めましたが、高騰分を吸収できませんでした。継続して組織的に節電対策を実行していきます。
- ・事務費は業務委託費を大きく削減し、減少させることができました。常勤職員の離職が減少し、人材紹介料を大きく削減しています。
- ・修繕については老朽化によるグループホームの居室設備の改修が多く発生しましたが、予算内で推移しました。

### ◆運営報告

#### 【事業所への苦情・要望について】

##### 情勢

苦情 8 件 要望 3 件

- ・特定のヘルパーの入浴介助時にお湯の量が少なくと苦情がありました。
- ・デイサービスの大雨警報発令時の営業の有無についての苦情がありました。
- ・在宅サービスのご利用者から職員の接客マナー改善についての申し出がありました。

##### 対策

- ・担当ヘルパーから聞き取りを行い、状況を確認しました。お湯の量を本人は十分と認めていたが、ご利用者本位ではありませんでした。ご利用者本位で活動すること、ご指摘を受けたことを真摯に受

け止め丁寧な対応を心がけるよう重ねて指導しています。

- ・警報発令時の営業対応を再整備し、案内文を配布しました。
- ・介護職として求められる接客力と対応力の向上を図るため研修の実施、OJT の強化等、職員のレベルアップに努めています。

### 【発生した事故について】

#### 情勢

- ・デイサービスの見守り中にソファから立ち上がり時にバランスを崩し、壁に設置している配電ボックスに左顔面をぶつけ裂傷を負いました。
- ・グループホームで夜間帯に居室から出ようとして転倒、大腿骨を骨折されました。
- ・その他、打撲 2 件、異食 2 件の事故が発生しています。

#### 対策

- ・ソファの位置を変更し、配電ボックスと距離をおきました。見守り時にご利用者の個別対応の方法について再確認を行いました。
- ・見守りセンサー鳴動時の優先順位の再確認を行いました。車椅子対応のご入居者の離床時に可能な限り優先して対応するようにしました。
- ・異食対策については、異食の可能性のあるご利用者の近辺に口に入れそうなものを置かないよう徹底しました。職員一人一人の意識を高めることで防げる事故もあり、事故情報の原因分析、経過の共有を図り、意識向上に努めました。

### 【虐待防止の取り組みについて】

#### 情勢

報告事例はありません。

#### 対策

職員全員に対し、半期 2 回の研修を実施し、職員一人一人がより良いケアを実現できるよう取り組みました。介護保険法の目的である高齢者の「尊厳維持」「自立支援」を職員一人一人に落とし込み、神港園の理念である「黄金律」と合わせて共通の理念として理解し、ご利用者・ご入居者がその人らしく生き生きとした生活を送ることを主眼とした介護を実現できるよう取り組みました。

## 3. 部門報告

### (1) 神港園レインボー西宮グループホーム

- ・上半期は新型コロナウイルス感染症の影響で外出イベントの自粛が続き、ADL の低下が心配されましたのでフロアごとのレクリエーションを増やし、ADL の低下防止に努めました。
- ・下期に入りコロナ禍が落ち着いた段階で外出イベントを再開し、ご入居者の笑顔が戻りました。

(神戸動物王国・コスモス園等)

- ・ご家族との面会は、上半期は制限しましたが、下半期には感染予防を徹底したうえで直接面会を再開し、ご家族・ご入居者に喜んでいただきました。
- ・上半期に 6 名の退所者があり収益の低下を招きました。7 月に 3 名の退所が重なるなど入退所の激しい半期となりました。下半期に入り、待機者の確保に努め、医療機関や居宅介護支援事業所との連携により満床にすることができました。
- ・外国人 3 名を登用し、人材の定着化・育成に努めました。
- ・ご入居者の体調管理に万全を尽くすべく看護師の配置を増やし、医療体制を強化しました。
- ・医療連携加算Ⅲを取得しました。

## **(2) 神港園レインボー西宮デイサービスセンター (地域密着型・認知症対応型)**

- ・上半期は新型コロナウイルス感染症の影響で利用自粛が相次ぎ、稼働率が低迷しました。
- ・デイサービスの稼働向上を最重点課題とし、組織改革を行い、職員の意識改革等、対策を実行しました。
- ・下半期に入り、稼働が向上し、収益が大きく改善しました。
- ・認知症の基礎知識、感染予防、虐待防止等の研修を随時実施し、職員のレベルアップに努めました。また、ご利用者満足を高めるため、食事イベント、レクリエーションの充実を図りました。

## **(3) 放課後等デイサービス 神港園レインボー西宮**

- ・定員 10 名に対し、1 日平均 9.3 名の児童を確保し、稼働率 80%以上で推移しました。
- ・収益増加、費用削減の結果、事業黒字化に至りました。
- ・常勤職員の採用が進まず、慢性的な職員不測の状況が続きました。
- ・1 月に職員 2 名がコロナ感染し 1 週間定員を絞っての営業となりましたが、休業は避けられました。

## **(4) 居宅介護支援事業所 神港園レインボー西宮**

- ・補充が進まず常勤 1 名体制が続き、利用者の新規獲得、収益の拡大には至りませんでした。
- ・レインボー酒蔵通に事務所を移転して円滑な業務ができています。

## **(5) ホームヘルプ 神港園レインボー西宮**

- ・安定的に活動数を確保し、収益目標を達成しました。
- ・収益増加、費用削減の結果、事業黒字化に至りました。
- ・職員の質的向上を図るため、定期的な研修実施と OJT の強化を行いました。

#### 4. 施設委員会・プロジェクト

名 称	開催頻度	主な参加者
安全衛生委員会	1 回/月	幹部、職責者、衛生管理者、産業医、看護師、介護職員
虐待防止・ 身体拘束廃止委員会	1 回/3 ヶ月	幹部、職責者、生活相談員、介護職員
感染症対策委員会	1 回/3 ヶ月	幹部、職責者、看護師、介護職員
災害対策委員会	1 回/年	幹部、職責者、介護職員
事故防止検討委員会	1 回/3 ヶ月	幹部、職責者、生活相談員
リーダー会議	1 回/月	幹部、職責者、生活相談員
部門別会議	1 回/月	職責者、介護職、生活相談員
行事委員会	1 回/月	委員会担当者

#### 5. 施設行事

月	行 事
4 月	お花見
5 月	こども祭り（中止）
6 月	
7 月	夏祭り（デイサービス）、防災訓練（AED）
8 月	夏祭り（グループホーム・放課後等デイサービス）
9 月	敬老会（グループホーム・デイサービス）
10 月	ハロウィン
11 月	
12 月	クリスマス会、餅つき大会
1 月	防災訓練（災害避難）
2 月	節分
3 月	ひな祭り
随時	園芸（毎週金曜日）、食事レクリエーション（デイサービス・グループホーム）

《運営理念》利用者が明るく、心豊かに暮らせる場を提供し、社会貢献に取り組み地域からの信頼を得る

## 【9】 神港園レインボー酒蔵通

施設長 金谷泰明

### 1. 事業報告

運営理念である「ご入居者が明るく、心豊かに暮らせる」サービス付き高齢者向け住宅を実現するために、環境整備、職員の質的向上に取り組みました。

環境整備については、共用部分のエアコンの整備や食事の改善を図り、ご入居者満足度の向上に取り組みました。職員の質的向上については、本館に介護資格を持った職員の配置を増やし、ご入居者の ADL 低下や認知症の進行による事故の防止に努めました。

ご入居者の健康を維持するため、提携医療機関と連携し、ご入居者の主治医としてのアドバイスを常に頂いています。特に西館介護棟のご入居者に対しては、ホームヘルパーが通院介助や服薬対応等、きめ細かい対応を行い安全安心な暮らしができるようサポートしています。

上半期は、ご逝去や入院による退居が重なり入居率が低下しました。また、コロナ禍により止む無く行動制限を実施し、面会の制限や催しを中止する等の状況に至りました。

下半期に入り、コロナ禍が落ち着いたことから行動制限を解除し、直接面会、茶話会やカラオケ大会、お花見等、ご入居者の笑顔につながる活動を再開致しました。入居率も下半期に入って上昇し、安定した状態を維持しています。

また、テナントについては 3 社ともに順調な営業を続けており、安定した収益が得られています。

### 【新型コロナウイルス感染症対策】

今期においても基本的な感染予防を徹底してまいりました。

しかしながら 8 月に西館ご入居者 1 名が感染し、職員 2 名が罹患しました。感染者の居室隔離、担当ヘルパーを特定して感染拡大防止に努めました。幸いにも最短の隔離期間で終息することができました。職員各自が感染症について一層踏み込んだ予防策を取るようになり、感染対策がレベルアップする機会となりました。

### 新型コロナウイルス感染症による影響について(令和 4 年度)

#### 拠点名：神港園レインボー酒蔵通

陽性判明利用者数	営業中止・新規受け入れ中止日数		陽性判明職員数	自宅待機日数※ 1
	デイサービス	ショートステイ		
1 人	-	-	2 人	25 日

※ 1：職員が感染、もしくは感染者との濃厚接触疑い等を原因として職務を休んだ延べ日数

## 2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	83,371	88,296	△4,925
前年度決算	86,146	78,855	7,291
対前年(差)	△2,775	9,441	△12,216

### ◆情勢と取り組み

#### 【収入】

上半期に見学から契約・入居に至るまでに長期間を要し、空室期間が長期化したことで収益の悪化を招きました。

下半期に入り、入居案内の販促を強化し、契約期間の短縮化を図ったことで入居が進み、入居率の安定とともに収益が回復しました。

テナント収益については、3社ともに順調な営業を続けており、安定した収益が得られています。

#### 【費用】

人件費については本館に介護資格を持つ職員を配置し、介護体制を整えたことにより増加しています。

事業費においては水道光熱費、介護用品等の価格高騰により増加しました。

経年劣化による設備の入替で修繕費が増加しました。(非常灯交換、共用部エアコン修理、厨房ウォーターハンマ交換等)

物価高騰による支出は増加しましたが、削減できる部分は切り詰め、費用全体では予算内に収めることができました。

### ◆運営報告

#### 【事業所への苦情・要望について】

##### 情勢

西館のご入居者よりヘルパーのサービス・マナー等についての苦情が7件発生しています。入室時の挨拶や受け答え、コール対応の遅れといった内容です。

##### 対策

職員の接遇に対する研修を行い、ご入居者に不愉快な思いをさせることのないよう取り組んでいきます。

コール対応については、ヘルパーが一人対応でのケースで、可能な限り迅速に対応しますが、お待

ち頂く場合があることを説明し、納得頂きました。

#### 【発生した事故について】

##### 情勢

行政に報告した事例はありませんでした。

##### 対策

事故分析会議を定期的に行い、原因究明、対策の実施を図っています。

#### 【虐待防止の取り組みについて】

##### 情勢

虐待事象はありませんでした。

##### 対策

定期的に研修を実施するとともに虐待防止委員会を開催しています。スピーチロックや他法人で起こった具体的な事例の検証を行い、虐待防止に対する職員の意識を高めています。

#### **(1) サービス付き高齢者向け住宅 神港園レインボー酒蔵通**

入居率は3月末では本館90%、西館100%まで回復しましたが、年間平均では本館86.7%、西館89.3%と90%を下回っています。上半期はご逝去、入院からの退居が相次ぎ、空室期間が長期化し収益が悪化しました。加えてコロナ禍により、直接面会の禁止、西館の外出制限等、ご入居者・ご家族に負担をお掛けしました。

下半期に入り、感染状況に応じて制限の緩和を行い、感染予防対策を持続させながら面会の再開、外出イベントの実施等、ご入居者の生活を通常に戻すことができました。

販促を強化し、見学から契約までの期間短縮を図ったことにより入居率も向上し、収益が安定しました。

#### 4. 施設委員会・プロジェクト

名称	開催頻度	主な参加者
安全衛生委員会	1回/月	幹部・職責者・介護職員
虐待防止・身体拘束廃止委員会	1回/3ヵ月	職責者・生活相談員・介護職員
感染対策委員会	1回/3ヵ月	職責者・生活相談員・介護職員
災害対策委員会	1回/年	幹部・職責者・生活相談員・介護職員
事業会議	1回/月	幹部・職責者・生活相談員・サービス提供責任者責

## 5. 施設行事

月	行事
4月	茶話会・映画鑑賞会・カラオケ大会
5月	茶話会・映画鑑賞会・カラオケ大会
6月	食事レクリエーション
7月	川柳大会
8月	防災訓練
9月	敬老会・映画鑑賞会
10月	映画鑑賞会、カラオケ大会
11月	食事レクリエーション
12月	クリスマス会
1月	食事レクリエーション
2月	カラオケ大会
3月	防災訓練

## 【10】 医療事業部

【診療部門】 医療部長 岡本 龍

【事業部門】 事務部長 船江 孝志

### 1. 事業報告

医療事業部としては大きな転換年度であったと同時に、数多くの課題に直面しながら今できることを一つでも解決できるように取り組んだ一年でした。各拠点に専属の医師を配置しつつ相互にバックアップを取る体制に変更、また、精神科担当と内科担当を分けて、おのおの専門領域を集中的に診る体制へ移行しました。期中に医師の退職等により診療の継続が懸念される場面もありましたが、新しい医師を迎え何とか乗り切ることができました。

知見のある「公益財団法人 神戸国際医療交流財団」（以下 財団）の協力支援を受けながら、医療事業部の経営改善と安定運営、妙法寺での新規事業立ち上げ準備を始めました。年度末をもって退職される診療所所長の後任等の新体制の準備に関しても、財団と新しい事業部運営相談を繰り返し行いながら、新所長を迎える準備を整えました。

新たなチャレンジとして、妙法寺新規事業内で一般外来診療を始める計画を進めました。その他、期中に実施した主な施策は以下の通りです。

#### 電子カルテの導入

長年検討されながら着手が進まなかった医療の DX(デジタル・トランスフォーメーション)を導入し、全拠点における運用開始を実現できました。電子化での医療スタッフの労力削減と遠隔診療による随時診療体制の構築を実現します。

#### 診療所医師体制の強化

常勤医師 3 名による全拠点（神戸拠点）巡回診療から、常勤医師 1 名非常勤医師 8 名の拠点配置医師体制への変更となる初年度、通常の診療に関しては大きな問題なく経過したものの、緊急時の対応は勤務時間外における死亡診断を含む対応に関して課題が残り、常勤医師 2 名の配置に向けての調整を継続し、常勤医の配置を行い相応の加算を得ながら安定的な診療所経営を目指します。手厚過ぎたとの見方もできる処方回数や検査回数を、周辺医療機関との比較の上で望ましい回数に適正化する一方で、精神科医を迎えて体制上の「手厚い医療体制」構築を図り、強みの発揮を進めています。

#### 薬局との連携

西区・北区・須磨区の処方箋対応薬局が、10 月から「すまいる倶楽部薬局」に変更となりました。（垂水区の 2 拠点は、居宅療養管理指導の準備等に時間を要し令和 5 年 7 月～変更予定）

課題の抽出等を重ねながら神戸市内全拠点の処方ならびに連携をすすめます。令和 5 年度中に開始となった電子処方箋の導入時期を検討し、導入後も双方の事務にかかる労力の削減を含めた作業の効率化をすすめます。

## 安定した看護職員確保

不安定な看護体制が一部拠点で継続的に続き、感染症対応や日常業務にも苦慮しました。施設看護における健康管理と診療補助の業務負担を考え、適応できる人員の確保ならびに適正な配置の実現が、改善課題として残っています。

## レントゲンの巡回撮影の継続と改善

レントゲンの巡回撮影を「手厚い医療体制」の一環として継続してきましたが、感染症予防対応と感染期の施設出入りの制限で活用することがうまくできない状況が続きました。5 類移行を経て再度巡回型撮影をしっかりと定着させ、早期発見と適切な診療に繋げる手段としての活用を行ない、不要な入院や入院期間を長期化させるリスクの軽減に努めます。

## 【新型コロナウイルス感染症対策】

昨年度同様、各施設が感染症へのさまざまな対策を継続したにも関わらず、上期中には第6波、第7波、第8波の到来があり、現状においても予防を含めた対応が継続されています。

各拠点においても大小さまざまな集団感染が生じ、医師をはじめとした医療従事者の移動制限やBCP の問題に対応しました。抗原検査の扱いを巡っては、曖昧な部分が多い世情の取り扱いを受け、法人内でのスムーズな運用とルールの構築、時に臨んだ対応方法を確立しました。

## 2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	112,702	119,465	△6,763
前年度決算	141,150	122,982	18,168
対前年(差)	△28,448	△3,517	△24,931

### ◆情勢と取り組み

診療体制の再構築として、各拠点への専属医師の配置を行いつつ、西区拠点常勤医師を中心とした医師間の支援体制構築に取り組みました。但し、非常勤医師を中心とした診療体制において、継続的な常時支援体制構築には限界があり、医師体制に関する課題を残しています。

体制面においては、医師のみならず事務部門においても専属する職員の不足による処理の遅れが発生しています。医療事業部内において人間的な課題が多くありました。

医師体制の変更に伴い、現体制に応じた診療行為に関する検討を開始しました。それにより、適正診療に向けた、診療・処方、検査項目等の見直しを実施しました。

設備面においては、電子カルテ・新請求システムの導入による運用を開始しました。感染症を発端に急速に制度化が進むオンライン診療等、ICTを活用した診療手法の効果的な運用が、今後

期待できます。

巡回型レントゲン撮影機器に関しては、機器導入より5年が経過し、度重なる故障と不具合が発生するようになってきています。現在の診療体制とご利用者の医療ニーズを照らし、今後の運用についての検討を継続します。

感染症の影響が年々大きくなるにつれ、その波は診療・事務部門へ大きな負担を与えました。そんな中、感染予防対策としてはワクチン接種事業を継続し、必要な医療用物品の確保に努め、できる限りの対応を行いました。関連費用の増加、ワクチン接種の業務負担も課題として検討する必要があります。



## 【11】 しあわせの村保育園

本部長 高谷 明

### 1. 事業報告

令和4年度は、園児14名（0歳0名、1歳7名、2歳2名、3歳2名、4歳1名、5歳2名）にてスタートしました。4月1日の新入园児が1名、0歳児が0名と厳しい情勢となり、また、1名あたりの助成金額が大きく減少する、3～5歳児が5名在籍する収益構造上では大変厳しい利用者構成となりました。

上期中は新規利用がなく下期より毎月1名の新規利用が入り、第4四半期での増収を見込みましたが、新規利用の延期、既存園児の転居による退園などが重なり、園児数の増加は叶ったものの、想定する増収までは届きませんでした。

当園に限らない状況として、コロナ禍における婚姻率の低下及び、出生者数の減少により、認可園への入園が容易になったことが園児確保が伸び悩む一つの要因となっています。爆発的な人口増加が見込めない日本社会の現状においては、定員を目指す運用を考える事よりも、損益分岐となる15名～17名+利用年齢のバランスの確保及び、人員の細かい調整を委託会社協力のもと取り組むことが経営を成立させる上での必須条件であると考えます。

そのため、令和4年度においては加算を得ることができない、ごく短期間の利用希望者、他に所属の有る希望者については、収支及び人員配置のバランスを大きく崩すことになるため、お断りすることとしました。現状の判断として間違いではないと考えますが、そういった方との接点を持つことで第2子第3子の利用促進や口コミを広げるきっかけになることを考えると、悩ましい判断であったことは事実としてありました。

園運営においては、7月に保育園長の退職があったものの、計画的な退職であったことから大きな混乱もなく、従前どおりの運営ができています。また、大きな事故、虐待事案、保護者からの苦情もなく、例年通り、保護者アンケートの結果も良好な結果を得ることができました。

また、定期的なイベント及び保護者が参加するイベントを滞りなく行うことが出来ました。新型コロナ感染の状況を確認しながらではあるものの、事前に広い会場（たんぼぼの家大ホール）を押さえ、感染予防対策を講じることで不安なく参加いただくことができました。

とりわけ、「成長を祝う会（卒園式にかわるもの）」では、園開設5年で初めての「保育過程の修了者（卒園者）」を2名、小学校に送ることができ、5年を超える利用を続けて頂いた感謝と小学生となることに向けたエールを送ることができました。

令和5年度に向けては引き続き利用者確保に努め、厳しい状況ながらしあわせの村保育園の価値を発信し、村内及び周辺地域に愛される園を目指し取り組みを進めて参ります。

### 【新型コロナウイルス感染症対策】

基本的には神戸市の発信する指針に従い、感染対策及び、感染時や濃厚接触者の範囲の確認を進めました。長期化する対応に慣れが出ないよう留意しつつ、丁寧な保護者対応に努めました。

保護者一部からは、クラス単位での休園対応の発信方法に対し、ご意見をいただくケースがありましたが、説明及び対応の検討によりご納得いただくことができました。

休園対応については、クラス単位で実施し完全な休園に至ることは有りませんでした。しかしながら、濃厚接触や、感染予防による欠席などが頻回に生じる結果となり、対策・対応強化の声かけが不安をあまり、利用日数を抑えてしまう結果となったことは反省です。

### 新型コロナウイルス感染症による影響について(令和4年度)

#### 拠点名：しあわせの村保育園

陽性判明利用者数	営業中止・新規受け入れ中止日数	陽性判明職員数	自宅待機日数 ※1
	保育園の休園日数		
3人	0日	2人	10日

※1：職員が感染、もしくは感染者との濃厚接触疑い等を原因として職務を休んだ延べ日数

## 2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	35,137	46,752	△11,615
前年度決算	40,259	57,388	△17,129
対前年(差)	△5,122	△10,636	5,514

#### ◆情勢と取り組み

令和3年度園児数年間平均21.2名(0歳：3.3名/1～2歳：10.8名/3歳：4.6名/4歳以上：2.5名)が、令和4年度には、17.5名(0歳：1.7名/1～2歳：9.8名/3歳：2.1名/4歳以上：4.0名)と減少したため、サービス活動収益は、△5,122千円減少し35,137千円の計上となりました。

一方、費用の大部分を占める業務委託費につきまして、業務委託会社と共に、①保育士体制を見直し、勤務時間数を削減 ②調理員の勤務時間数を削減 ③事務員の時給単価や運営管理費の引き下げ交渉などの話し合い、改善を行い、サービス活動費用は、△10,636千円の減少となり、46,752千円の計上となりました。

結果、サービス活動増減差額は、対前年比5,514千円改善しましたが、未だ△11,615千円の赤字計上となりました。

絶対的な少子化による園児数の減少に対しては、

・タウン誌に園児募集の広告を掲載

・園内をバーチャルに紹介する等のホームページの充実

に取り組み、地域枠園児数を令和4年4月末：2名⇒令和5年3月末：8名と拡げることができましたが、全体では、定員数：30名に対して、20名に留まったという状況です。

業務委託費に関しましては、次年度には更に①保育士体制の見直し ②ラウンダー（固定所属の無い保育士）の配置を行い、稼働を調整しやすい体制を構築して、費用削減を図り、赤字幅の削減に取り組みます。

#### 【修繕に関して】

天井の照明の故障箇所が増え、当初は蛍光灯の不具合と考えていましたが、接続箇所及び電気系統の経年劣化により、大幅な修理が必要とわかり、6月に583千円をかけて大幅な修理を行いました。

#### ◆運営報告

##### 【事業所への苦情・要望について】

苦情・要望はありませんでした。

##### 【発生した事故について】

###### 情勢

1件発生。転倒による頭部のケガにより、病院へ同行対応。大きな事故にはつながりませんでした。引き続きコロナ禍における対応にて気の置けない状況が続きました。クラス単位での休園対応や職員の発熱など複数回ありましたが、全体への蔓延は防ぐことができました。園外での活動が多く、ケガのリスクが付きまとう分、同行する保育士を中心として見守り、危険察知など引き続き行っています。

###### 対策

現在の対応を大きく変更することはないものの、コロナ感染症の分類変更に伴う変動により混乱が生じないよう、保護者等への説明を心がけていきます。

##### 【虐待防止の取り組みについて】

###### 情勢

虐待はありませんでした。保護者来園時に細かな説明や質問への回答を行い、委託事業者の実施するアンケートにおいても高い信頼を頂いています。この結果に甘えることなく、一人一人の様子を全員で把握し、連携を怠ることなく進めていきます。

###### 対策

虐待が生じる起因の一つに、職員のストレスがあります。神港園の担当者が定期的に園に入り、積極的に関わることで客観的視点でキャッチアップすることが出来るため、引き続き関わりを強化していきます。

### 3. 施設行事

月	行事
4月	お花見会
5月	こどもの日イベント
6月	個別懇談（保護者来訪）
7月	七夕イベント 水遊びスタート
8月	涼み会
9月	十五夜イベント 敬老の日訪問（神港園） 秋の遠足
10月	運動会 ※保護者参加型で実施 ・ハロウィン（村内事業所訪問）
11月	個別懇談
12月	クリスマス会
1月	お正月イベント
2月	節分イベント
3月	成長を祝う会（卒園イベント） ※保護者参加型で実施

## 【12】けあスクール神港園

事業部長 山谷美知子

### 1. 事業報告

新規事業の介護福祉士実務者研修は、兵庫県の指定を受けて令和5年1月1日から開講し、受講者のレポート提出を経て3月29日からスクーリングが始まりました。外部受講者2名を含む9名が第一回の受講者です。医療的ケアの実技もあるため、講師も受講生も初めての取り組みで準備を進めました。

2年目を迎えた介護職員初任者研修は、4月26日、10月4日を初日に一部講師を変更しましたが、ほぼ1年を通して開講し、11名が修了しました。

また、新たに外国人材に対する介護知識研修を企画し、参加者を募って、特定技能評価試験のテキストと自作の資料を使用し、コロナによる休講を除き7月から3月まで月2回、参加者の利便性を考えて神戸市垂水区内の拠点と北区内の拠点で交互に実施しました。受講生は順次初任者研修や実務者研修を受講して、最終的には介護福祉士資格取得を目指した取り組みを進めています。

介護支援専門員と介護福祉士の法人内受験対策講座については、西区内の拠点において月1回テキストと過去問題を中心に実施しました。今後も資格取得者を増やすために継続実施していきます。

### 【新型コロナウイルス感染症対策】

受講生に対して、受講前の体温検査と消毒の徹底、昼食時の黙食などを徹底して守っていただき、机には消毒薬を準備していつでも使えるようにしました。受講時の感染はありませんでした。

### 2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	0	1,416	△1,416
前年度決算	0	999	△999
対前年(差)	0	417	△417



## 【13】 介護しよっぷ神港園

管理者 太田 功一

### 1. 事業報告

**人員について** 5月に福祉用具専門相談員未経験者2名を配置するも10月末日で1名が退職、11月より他の1名が傷病休暇となりました。同月に管理者が相談員を兼務するとともに、法人本部職員2名に相談員兼務として対応いただきました。その後は12月に未経験者1名の配置に至りましたが、5月及び相談員が入れ替わった12月ともに、業務ルーティンを作り上げるのに時間を要しました。

**福祉用具の貸与について** 主に法人内居宅包括への営業を実施しましたが、思うように件数が伸びませんでした。次年度の予算としては、相談員1人当たりの月間新規受入れ4～5件を目指します。

**貸与以外の物品販売等について** 第2四半期、及び第4四半期は、各拠点は法人内の各拠点より多くの依頼を受けました。次年度は単発の依頼を待つだけでなく、サブスクリプションにできるような拠点の物品の精査について随時協力をお願いして参ります。

#### 【新型コロナウイルス感染症対策】

基本的な感染症対策を他の訪問系の事業所同様実施しました。

### 2. 経営報告

(千円)

	サービス活動収益	サービス活動費用	サービス活動増減差額
当年度決算	8,844	15,643	△6,799
前年度決算	0	0	0
対前年差	8,844	15,643	△6,799



令和4年度  
(2022)

事業報告書

(資料集)



資料① 施設入所関係

1. 令和4年度通期での1日あたり平均ご入居人数(特別養護老人ホーム)

	神港園シルビアホーム				神港園しあわせの家				神港園サニーライフ白川				さん舞子神港園いこいの家			
	令和4年度		前年度		令和4年度		前年度		令和4年度		前年度		令和4年度		前年度	
	定員	100人	人数	構成率	定員	100人	人数	構成率	定員	50人	人数	構成率	定員	50人	人数	構成率
要介護1	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
要介護2	1.0	1.0%	0.1	0.1%	1.3	1.3%	0.1	0.2%	0.6	1.2%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
要介護3	13.4	13.8%	12.0	12.2%	23.1	24.0%	7.2	14.5%	9.9	20.1%	8.7	18.1%	11.1	22.6%	11.1	22.6%
要介護4	43.9	45.3%	44.9	45.7%	24.4	25.4%	23.5	25.6%	18.7	37.9%	14.4	30.1%	18.9	38.5%	18.9	38.5%
要介護5	38.6	39.9%	40.4	41.1%	48.6	50.5%	18.8	37.9%	20.1	40.8%	24.8	51.7%	19.1	38.9%	19.1	38.9%
合計(前年比)	96.9	(98.6%)	98.3	-	96.1	(98.3%)	97.8	-	49.6	(100.5%)	49.3	-	47.9	(97.6%)	49.1	-
平均介護度	4.2		4.3		4.2		4.2		4.2		4.3		4.2		4.2	
稼働率	96.9%		98.3%		96.1%		97.8%		99.1%		98.6%		95.9%		98.2%	
新規利用者※1	45人		32人		14人		9人		14人		9人		9人		9人	

	4 施設合計			
	令和4年度		前年度	
	定員	300人	人数	構成率
要介護1	0.0	0.0%	0.0	0.0%
要介護2	1.2	0.4%	2.9	1.0%
要介護3	52.4	18.0%	56.1	19.0%
要介護4	106.2	36.6%	107.5	36.5%
要介護5	130.8	45.0%	128.0	43.5%
合計(前年比)	290.5	(98.7%)	294.5	-
平均介護度	4.3		4.2	
稼働率	96.8%		98.2%	
新規利用者	100人		98人	

2. 令和4年度通期での1日あたり平均ご入居人数(養護老人ホーム・ケアハウス・グループホーム・サービス付き高齢者向け住宅)

	養護老人ホーム神港園				さん舞子神港園				神港園レインボー西宮				神港園レインボー酒蔵通			
	令和4年度		前年度		令和4年度		前年度		令和4年度		前年度		令和4年度		前年度	
	定員	50人	人数	構成率	定員	80人	人数	構成率	定員	18人	人数	構成率	定員	50人	人数	構成率
自立	16.8	35.3%	16.4	34.5%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	27.7	63.3%	27.8	61.4%
要支援1	1.4	3.0%	1.0	2.1%	6.2	8.6%	6.6	8.8%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
要支援2	1.8	3.8%	2.5	5.3%	5.5	7.6%	6.5	8.7%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%
要介護1	6.5	13.7%	4.7	9.9%	12.7	17.5%	18.2	24.4%	5.0	29.2%	4.0	24.0%	5.0	11.4%	4.8	10.6%
要介護2	5.4	11.4%	6.3	13.2%	10.8	14.9%	12.5	16.8%	6.2	36.3%	5.5	32.9%	3.2	7.2%	7.0	15.5%
要介護3	11.8	24.7%	12.3	25.8%	11.9	16.4%	9.1	12.2%	1.7	9.7%	3.0	18.0%	2.2	5.1%	2.4	5.3%
要介護4	3.7	7.7%	4.1	8.6%	12.7	17.5%	12.9	17.3%	3.4	20.0%	3.0	18.0%	2.3	5.3%	0.7	1.5%
要介護5	0.2	0.4%	0.3	0.6%	12.8	17.6%	8.8	11.8%	0.8	4.8%	1.2	7.2%	3.3	7.6%	2.6	5.7%
合計(前年比)	47.7	(100.2%)	47.6	-	72.7	(97.5%)	74.6	-	17.1	(102.6%)	16.7	-	43.8	(96.7%)	45.3	-
平均介護度	1.5		1.5		2.6		2.3		2.4		2.5		1.0		0.9	
稼働率	95.4%		95.2%		90.9%		93.3%		95.2%		92.9%		87.6%		90.6%	
新規利用者※1	9人		7人		7人		7人		7人		13人		13人		13人	

	4 施設合計			
	令和4年度		前年度	
	定員	198人	人数	構成率
自立	44.6	24.6%	44.2	24.0%
要支援1	7.7	4.2%	7.6	4.1%
要支援2	7.3	4.0%	9.0	4.9%
要介護1	29.3	16.1%	31.7	17.2%
要介護2	25.7	14.1%	31.3	17.0%
要介護3	27.6	15.2%	26.8	14.5%
要介護4	22.1	12.2%	20.7	11.2%
要介護5	17.2	9.5%	12.9	7.0%
合計(前年比)	181.4	(98.5%)	184.2	-
平均介護度	1.9		1.8	
稼働率	91.6%		93.0%	
新規利用者	36人		36人	

※1：通期での新規ご入居人数(前年度)については集計対象でなかったため斜線で表示

①-2 ご入居者の日常生活自立度(障がい高齢者の日常生活自立度判定基準※2より)

1. 特別養護老人ホーム4施設の状況(3月末時点の在籍者について)※3

	神港園シルビアホーム		
	定員	100人	
	令和4年度		構成率
	人数		構成率
自立	0	0.0%	
J 1	1	1.0%	
J 2	0	0.0%	
A 1	4	3.8%	
A 2	36	34.6%	
B 1	34	32.7%	
B 2	23	22.1%	
C 1	3	2.9%	
C 2	3	2.9%	
合計	104	-	

	神港園しあわせの家		
	定員	100人	
	令和4年度		構成率
	人数		構成率
自立	1	1.0%	
J 1	0	0.0%	
J 2	2	2.0%	
A 1	7	7.0%	
A 2	15	15.0%	
B 1	14	14.0%	
B 2	28	28.0%	
C 1	14	14.0%	
C 2	19	19.0%	
合計	100	-	

	神港園サニーライフ白川		
	定員	50人	
	令和4年度		構成率
	人数		構成率
自立	0	0.0%	
J 1	0	0.0%	
J 2	0	0.0%	
A 1	0	0.0%	
A 2	6	12.0%	
B 1	6	12.0%	
B 2	29	58.0%	
C 1	2	4.0%	
C 2	7	14.0%	
合計	50	-	

	さん舞子神港園いこいの家		
	定員	50人	
	令和4年度		構成率
	人数		構成率
自立	0	0.0%	
J 1	0	0.0%	
J 2	0	0.0%	
A 1	0	0.0%	
A 2	2	4.3%	
B 1	11	23.9%	
B 2	19	41.3%	
C 1	3	6.5%	
C 2	11	23.9%	
合計	46	-	

	4施設合計		
	定員	300人	
	令和4年度		構成率
	人数		構成率
自立	1	0.3%	
J 1	1	0.3%	
J 2	2	0.7%	
A 1	11	3.7%	
A 2	59	19.7%	
B 1	65	21.7%	
B 2	99	33.0%	
C 1	22	7.3%	
C 2	40	13.3%	
合計	300	-	

2. 養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅4施設の状況(3月末時点の在籍者について)※3※4※5

	養護老人ホーム神港園		
	定員	50人	
	令和4年度		構成率
	人数		構成率
自立	1	3.4%	
J 1	3	10.3%	
J 2	4	13.8%	
A 1	5	17.2%	
A 2	7	24.1%	
B 1	2	6.9%	
B 2	7	24.1%	
C 1	0	0.0%	
C 2	0	0.0%	
合計	29	-	

	さん舞子神港園		
	定員	80人	
	令和4年度		構成率
	人数		構成率
自立	1	1.4%	
J 1	5	6.8%	
J 2	3	4.1%	
A 1	11	14.9%	
A 2	21	28.4%	
B 1	12	16.2%	
B 2	20	27.0%	
C 1	0	0.0%	
C 2	1	1.4%	
合計	74	-	

	神港園レインポー西宮		
	定員	18人	
	令和4年度		構成率
	人数		構成率
自立	0	0.0%	
J 1	3	16.7%	
J 2	4	22.2%	
A 1	6	33.3%	
A 2	3	16.7%	
B 1	1	5.6%	
B 2	1	5.6%	
C 1	0	0.0%	
C 2	0	0.0%	
合計	18	-	

	神港園レインポー酒殿通		
	定員	50人	
	令和4年度		構成率
	人数		構成率
自立	0	0.0%	
J 1	1	3.0%	
J 2	9	27.3%	
A 1	5	15.2%	
A 2	10	30.3%	
B 1	3	9.1%	
B 2	4	12.1%	
C 1	1	3.0%	
C 2	0	0.0%	
合計	33	-	

	4施設合計		
	定員	198人	
	令和4年度		構成率
	人数		構成率
自立	2	1.3%	
J 1	12	7.8%	
J 2	20	13.0%	
A 1	27	17.5%	
A 2	41	26.6%	
B 1	18	11.7%	
B 2	32	20.8%	
C 1	1	0.6%	
C 2	1	0.6%	
合計	154	-	

※2: 高齢者のADLの状況を客観的に評価するため、厚生労働省が作成した指標

J: 何らかの障がい等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する

J1: 交通機関等を利用して外出する

J2: 身近所へなら外出する

A: 屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない

A1: 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する

A2: 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている

※3: 3月31日付で退居された利用者および入院中の利用者の数値も含む

※4: 養護老人ホーム神港園の在籍者については、介護保険未申請の方を除く

※5: 神港園レインポー酒殿通の在籍者については、介護保険未申請の方および他法人管理のため数値不明の方を除く

B: 屋内での生活はなんらかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ

B1: 車いすに移乗し、食事、排せつはベッドから離れて行う

B2: 介助により車いすに移乗する

C: 1日中ベッド上で過ごし、排せつ、食事、着替えにおいて介助を要する

C1: 自力で寝返りをうつ

C2: 自力で寝返りもつけない

①-3 ご入居者の日常生活自立度(認知症高齢者の日常生活自立度判定基準※6より)

1. 特別養護老人ホーム4施設の状況(3月末時点の在籍者について)※7

	神楽園シルビアホーム			神楽園あわせの家			神楽園サニライフ白川			さん獅子神楽園いこいの家			4施設合計		
	定員		人数	定員		人数	定員		人数	定員		人数	定員		人数
	100人	令和4年度		100人	令和4年度		50人	令和4年度		50人	令和4年度		300人	令和4年度	
自立	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
I	9	8.7%	0	0.0%	4	8.0%	1	2.0%	0	0.0%	13	4.3%	13	4.3%	
II a	5	4.8%	2	2.0%	1	2.0%	3	6.5%	3	6.5%	11	3.7%	11	3.7%	
II b	19	18.3%	12	12.0%	9	18.0%	7	15.2%	7	15.2%	47	15.7%	47	15.7%	
III a	51	49.0%	40	40.0%	19	38.0%	19	41.3%	19	41.3%	129	43.0%	129	43.0%	
III b	16	15.4%	11	11.0%	5	10.0%	3	6.5%	3	6.5%	35	11.7%	35	11.7%	
IV	3	2.9%	24	24.0%	11	22.0%	14	30.4%	14	30.4%	52	17.3%	52	17.3%	
M	1	1.0%	11	11.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	13	4.3%	13	4.3%	
合計	104	-	100	-	50	-	46	-	46	-	300	-	300	-	

2. 養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅4施設の状況(3月末時点の在籍者について)※7※8※9

	養護老人ホーム神楽園			さん獅子神楽園			神楽園レインポ-西宮			神楽園レインポ-酒殿通			4施設合計		
	定員		人数	定員		人数	定員		人数	定員		人数	定員		人数
	50人	令和4年度		80人	令和4年度		18人	令和4年度		50人	令和4年度		198人	令和4年度	
自立	2	6.9%	5	6.8%	0	0.0%	6	18.2%	6	18.2%	6	18.2%	13	8.4%	
I	2	6.9%	9	12.2%	1	5.6%	5	15.2%	5	15.2%	5	15.2%	17	11.0%	
II a	4	13.8%	10	13.5%	2	11.1%	8	24.2%	8	24.2%	8	24.2%	24	15.6%	
II b	6	20.7%	13	17.6%	4	22.2%	7	21.2%	7	21.2%	7	21.2%	30	19.5%	
III a	12	41.4%	17	23.0%	5	27.8%	6	18.2%	6	18.2%	6	18.2%	40	26.0%	
III b	2	6.9%	12	16.2%	1	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	15	9.7%	
IV	1	3.4%	8	10.8%	5	27.8%	1	3.0%	1	3.0%	1	3.0%	15	9.7%	
M	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合計	29	-	74	-	18	-	33	-	33	-	33	-	154	-	

※6: 高齢者の認知症の程度とそれによる日常生活の自立度を客観的に把握するため、厚生労働省が作成した指標

I: 何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している

II: 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる

IIa: 家庭外で上記IIの状態がみられる

IIb: 家庭内でも上記IIの状態がみられる

III: 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする

IIIa: 日中を通して上記IIIの状態がみられる

IIIb: 夜間を中心として上記IIIの状態がみられる

IV: 日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ常に介護を必要としている

M: 著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患がみられ、専門医療を必要とする

※7: 3月31日付で退居された利用者および入院中の利用者の数値も含む

※8: 養護老人ホーム神楽園の在籍者については、介護保険未申請の方を除く

※9: 神楽園レインポ-酒殿通の在籍者については、介護保険未申請の方および他法人管理のため数値不明の方を除く



# ①-5 在園期間および年齢状況(3月末時点の在園者について)

## 1. 特別養護老人ホーム4施設の状況

神港園シルビアホーム					
3月末時点在園者	99人	定員	100人	構成率	100人
	女性	男性			
1年未満	30	8	38.4%		
1-4年	41	7	48.5%		
5-9年	9	1	10.1%		
10年以上	3	0	3.0%		
合計	83人	16人	-		
年齢	~59歳	0	0.0%		
	60~69歳	0	0.0%		
	70~79歳	11	11.1%		
	80~89歳	48	48.5%		
	90~99歳	38	38.4%		
	100歳~	2	2.0%		

神港園しあわせの家					
3月末時点在園者	98人	定員	100人	構成率	100人
	女性	男性			
1年未満	26	7	33.7%		
1-4年	39	7	46.9%		
5-9年	19	0	19.4%		
10年以上	0	0	0.0%		
合計	84人	14人	-		
年齢	~59歳	0	0.0%		
	60~69歳	1	1.0%		
	70~79歳	15	15.3%		
	80~89歳	42	42.9%		
	90~99歳	32	32.7%		
	100歳~	8	8.2%		

神港園サニーライフ白川					
3月末時点在園者	50人	定員	50人	構成率	50人
	女性	男性			
1年未満	10	2	24.0%		
1-4年	28	2	60.0%		
5-9年	6	0	12.0%		
10年以上	2	0	4.0%		
合計	46人	4人	-		
年齢	~59歳	0	0.0%		
	60~69歳	1	2.0%		
	70~79歳	6	12.0%		
	80~89歳	24	48.0%		
	90~99歳	18	36.0%		
	100歳~	1	2.0%		

さん舞子神港園いこいの家					
3月末時点在園者	46人	定員	50人	構成率	50人
	女性	男性			
1年未満	7	0	15.2%		
1-4年	16	4	43.5%		
5-9年	18	1	41.3%		
10年以上	0	0	0.0%		
合計	41人	5人	-		
年齢	~59歳	0	0.0%		
	60~69歳	0	0.0%		
	70~79歳	4	8.7%		
	80~89歳	18	39.1%		
	90~99歳	24	52.2%		
	100歳~	0	0.0%		

## 2. 養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅4施設の状況

養護老人ホーム神港園					
3月末時点在園者	47人	定員	50人	構成率	50人
	女性	男性			
1年未満	5	3	17.0%		
1-4年	12	9	44.7%		
5-9年	9	3	25.5%		
10年以上	5	1	12.8%		
合計	31人	16人	-		
年齢	~59歳	0	0.0%		
	60~69歳	1	2.1%		
	70~79歳	12	25.5%		
	80~89歳	23	48.9%		
	90~99歳	11	23.4%		
	100歳~	0	0.0%		

さん舞子神港園					
3月末時点在園者	73人	定員	80人	構成率	80人
	女性	男性			
1年未満	5	3	8.2%		
1-4年	33	2	35.7%		
5-9年	25	2	27.6%		
10年以上	3	0	3.1%		
合計	66人	7人	-		
年齢	~59歳	0	0.0%		
	60~69歳	0	0.0%		
	70~79歳	0	0.0%		
	80~89歳	21	21.4%		
	90~99歳	47	48.0%		
	100歳~	5	5.1%		

神港園レインボー西宮					
3月末時点在園者	17人	定員	18人	構成率	18人
	女性	男性			
1年未満	6	1	14.0%		
1-4年	6	1	14.0%		
5-9年	3	0	6.0%		
10年以上	0	0	0.0%		
合計	15人	2人	-		
年齢	~59歳	0	0.0%		
	60~69歳	0	0.0%		
	70~79歳	3	6.0%		
	80~89歳	8	16.0%		
	90~99歳	6	12.0%		
	100歳~	0	0.0%		

神港園レインボー酒蔵通					
3月末時点在園者	49人	定員	50人	構成率	50人
	女性	男性			
1年未満	12	4	34.8%		
1-4年	14	11	54.3%		
5-9年	3	0	6.5%		
10年以上	5	0	10.9%		
合計	34人	15人	-		
年齢	~59歳	0	0.0%		
	60~69歳	1	2.2%		
	70~79歳	4	8.7%		
	80~89歳	25	54.3%		
	90~99歳	18	39.1%		
	100歳~	1	2.2%		

# ①-6 生活動作状況(3月末時点の在園者について)

## 1. 特別養護老人ホーム4施設の状況

神港園シルビアホーム					
3月末時点在園者	99人	定員	100人		
(分類)	合計	構成率	(分類)	合計	
移動	自立	13	13.1%	59	59.5%
	一部介助	32	32.3%	26	26.2%
	全介助	54	54.5%	14	14.1%
着脱衣	自立	5	5.0%	1	1.0%
	一部介助	48	48.4%	47	47.4%
	全介助	46	46.4%	51	51.5%
日中排せつ	自立	7	7.0%	5	5.0%
	一部介助	37	37.3%	16	16.1%
	全介助	55	55.5%	78	78.7%

神港園しあわせの家					
3月末時点在園者	98人	定員	100人		
(分類)	合計	構成率	(分類)	合計	
移動	自立	16	16.3%	31	31.6%
	一部介助	27	27.5%	23	23.4%
	全介助	55	56.1%	44	44.8%
着脱衣	自立	8	8.1%	0	0.0%
	一部介助	31	31.6%	27	27.5%
	全介助	59	60.2%	71	72.4%
日中排せつ	自立	11	11.2%	14	14.2%
	一部介助	6	6.1%	3	3.0%
	全介助	81	82.6%	81	82.6%

神港園サニーライフ白川					
3月末時点在園者	50人	定員	50人		
(分類)	合計	構成率	(分類)	合計	
移動	自立	6	12.0%	23	46.0%
	一部介助	8	16.0%	14	28.0%
	全介助	36	72.0%	13	26.0%
着脱衣	自立	2	4.0%	1	2.0%
	一部介助	7	14.0%	7	14.0%
	全介助	41	82.0%	42	84.0%
日中排せつ	自立	3	6.0%	3	6.0%
	一部介助	7	14.0%	7	14.0%
	全介助	40	80.0%	40	80.0%

さん舞子神港園いこいの家					
3月末時点在園者	46人	定員	50人		
(分類)	合計	構成率	(分類)	合計	
移動	自立	3	6.5%	11	23.9%
	一部介助	19	41.3%	18	39.1%
	全介助	24	52.1%	17	36.9%
着脱衣	自立	1	2.1%	0	0.0%
	一部介助	20	43.4%	7	15.2%
	全介助	25	54.3%	39	84.7%
日中排せつ	自立	1	2.1%	0	0.0%
	一部介助	20	43.4%	13	28.2%
	全介助	25	54.3%	33	71.7%

## 2. 養護老人ホーム、ケアハウス、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅4施設の状況

養護老人ホーム神港園					
3月末時点在園者	47人	定員	50人		
(分類)	合計	構成率	(分類)	合計	
移動	自立	24	51.0%	10	21.2%
	一部介助	20	42.5%	36	76.5%
	全介助	3	6.3%	1	2.1%
着脱衣	自立	23	48.9%	9	19.1%
	一部介助	21	44.6%	31	65.9%
	全介助	3	6.3%	7	14.8%
日中排せつ	自立	28	59.5%	14	29.7%
	一部介助	14	29.7%	25	53.1%
	全介助	5	10.6%	8	17.0%

さん舞子神港園					
3月末時点在園者	73人	定員	80人		
(分類)	合計	構成率	(分類)	合計	
移動	自立	21	28.7%	56	76.7%
	一部介助	27	36.9%	10	13.6%
	全介助	25	34.2%	7	9.5%
着脱衣	自立	13	17.8%	4	5.4%
	一部介助	35	47.9%	31	42.4%
	全介助	25	34.2%	38	52.0%
日中排せつ	自立	10	13.6%	8	10.9%
	一部介助	38	52.0%	36	49.3%
	全介助	25	34.2%	29	39.7%

神港園レインボー西宮					
3月末時点在園者	17人	定員	18人		
(分類)	合計	構成率	(分類)	合計	
移動	自立	5	29.4%	13	76.4%
	一部介助	9	52.9%	2	11.7%
	全介助	3	17.6%	2	11.7%
着脱衣	自立	4	23.5%	1	5.8%
	一部介助	9	52.9%	13	76.4%
	全介助	4	23.5%	3	17.6%
日中排せつ	自立	3	17.6%	2	11.7%
	一部介助	11	64.7%	12	70.5%
	全介助	3	17.6%	3	17.6%

神港園レインボー酒蔵通					
3月末時点在園者	49人	定員	50人		
(分類)	合計	構成率	(分類)	合計	
移動	自立	31	63.2%	42	85.7%
	一部介助	12	24.4%	7	14.2%
	全介助	6	12.2%	0	0.0%
着脱衣	自立	38	77.5%	31	63.2%
	一部介助	4	8.1%	11	22.4%
	全介助	7	14.2%	7	14.2%
日中排せつ	自立	35	71.4%	33	67.3%
	一部介助	10	20.4%	10	20.4%
	全介助	4	8.1%	6	12.2%

## 資料② ショートステイ関係

### 令和4年度通期でのショートステイの1日あたり平均ご利用人数※10

	神港園シルビアショートステイ			神港園しあわせの家ショートステイ			神港園ショートステイ白川			さん舞子神港園ショートステイ		
	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度
	定員	22人		定員	21人		定員	20人		定員	22人	
	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率
要支援1	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.1	0.4%	0.3	1.7%
要支援2	0.1	0.5%	0.2	0.9%	0.0	0.0%	1.2	6.6%	1.3	6.1%	0.9	5.4%
要介護1	1.5	7.7%	2.4	11.0%	1.8	8.5%	2.7	15.5%	2.7	12.7%	3.1	19.1%
要介護2	2.8	14.6%	2.8	12.9%	3.3	15.3%	3.6	20.3%	5.7	27.0%	2.7	16.2%
要介護3	6.3	32.7%	7.2	33.1%	11.0	51.1%	6.4	36.6%	7.2	34.1%	4.6	28.2%
要介護4	7.1	36.4%	5.9	27.1%	3.4	15.6%	2.2	12.3%	2.2	10.4%	3.7	22.7%
要介護5	1.5	7.8%	3.2	14.7%	2.0	9.4%	1.5	8.5%	1.9	9.0%	1.0	6.3%
合計(前年比)	19.4	(89.4%)	21.7	21.7	21.5	(93.6%)	17.5	(82.8%)	21.1	21.1	16.4	(72.1%)
平均介護度	3.2		3.2	3.2	3.0		2.6	2.6	2.6	2.6	2.8	2.8
稼働率	88.1%		108.5%	108.5%	102.5%		87.3%	87.3%	105.5%	105.5%	74.5%	74.5%
延べ利用者数	7,082	(89.3%)	7,930	7,930	7,860	(91.7%)	6,380	(82.2%)	7,754	7,754	5,984	(71.8%)
新規利用者※11	93人				55人		57人	57人			58人	

	4 事業所 合計		
	85人		前年度
	令和4年度	構成率	
	人数	構成率	人数
要支援1	0.3	0.3%	0.4
要支援2	2.2	2.8%	2.4
要介護1	9.2	12.2%	11.0
要介護2	12.4	16.5%	15.3
要介護3	28.4	37.9%	34.6
要介護4	16.3	21.8%	17.3
要介護5	6.1	8.1%	7.5
合計(前年比)	74.8	(84.4%)	88.5
平均介護度	2.9		2.9
稼働率	87.9%		104.1%
延べ利用者数	27,306	(83.8%)	32,580
新規利用者※11	263人		

※10：神港園シルビアホームの定員については、前年度の20人から令和4年度は22人に変更(前年度の稼働率は20人定員で算出)

※11：通期での新規ご利用者数(前年度については集計対象でなかったため斜線で表示)

### 資料③ デイサービス関係

#### 令和4年度通期での各種デイサービスの1日あたり平均ご利用人数

	神港園シルビアデイサービスセンター				神港園しあわせの家デイサービスセンター				神港園西館園台デイサービスほっと				神港園デイサービス白川				さん舞子神港園デイサービスセンター			
	一般型		地域密着型		認知症対応型		地域密着型		一般型		一般型		一般型		一般型		一般型			
	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度		
稼働日数	309日	309日	311日	309日	305日	302日	310日	307日	310日	307日	310日	310日	310日	310日	310日	310日	311日	311日		
定員	45人	36人	45人	12人	36人	12人	45人	45人	35人	45人	35人	45人	35人	45人	35人	45人	35人	45人		
稼働日数	309日	309日	311日	309日	305日	302日	310日	307日	310日	307日	310日	310日	310日	310日	310日	310日	311日	311日		
人数	0.4	1.3%	0.5	1.6%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%		
構成率	1.3%	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%		
人数	4.1	12.3%	3.0	9.7%	0.0	0.1%	0.0	0.1%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%		
構成率	40.5%	30.1%	11.2	36.1%	8.3	33.6%	4.2	53.8%	12.3	45.4%	12.1	45.0%	11.3	44.8%	14.5	52.0%	14.5	52.0%		
人数	5.9	17.6%	7.6	24.5%	6.3	25.5%	0.7	9.0%	7.0	25.8%	8.1	30.1%	2.5	9.9%	3.4	12.2%	3.4	12.2%		
構成率	21.2%	19.7%	6.1	19.7%	7.3	29.6%	0.5	6.4%	2.9	10.9%	3.7	13.8%	2.4	9.7%	1.7	6.1%	1.7	6.1%		
人数	2.1	6.3%	1.6	5.2%	1.9	7.7%	0.0	0.0%	1.6	5.9%	0.7	2.6%	1.9	7.6%	1.5	5.4%	1.5	5.4%		
構成率	0.8%	5.3%	1.0	3.2%	0.9	3.6%	0.2	2.6%	0.3	1.0%	0.4	1.5%	0.7	2.8%	0.7	2.5%	0.7	2.5%		
合計(前年比)	33.4	(107.7%)	31.0	-	24.7	-	7.8	-	27.1	(100.6%)	26.9	-	25.3	(90.7%)	27.9	-	-	-		
平均介護度	1.7	1.9	2.2	2.2	2.2	1.1	1.1	1.6	1.6	1.6	1.7	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4		
稼働率	74.2%	68.9%	70.7%	68.6%	68.6%	65.0%	65.0%	60.1%	60.1%	60.1%	59.8%	72.3%	79.7%	79.7%	79.7%	79.7%	79.7%	79.7%		
延べ利用者数(前年比)	10,339	(107.3%)	9,632	7,867	(101.6%)	7,741	2,375	(94.9%)	2,502	8,310	(101.9%)	8,156	7,895	(90.6%)	8,710	8,710	8,710	8,710	8,710	
新着利用者※12	24人	31人	43人	17人	41人	17人	9人	49人	34人	35人	34人	35人	35人	35人	35人	35人	35人	35人	35人	

	リハビリGsさん舞子神港園				デイサービスセンターレーンボ-西宮				認知症対応型デイサービスセンターレーンボ-西宮				放課後等デイサービスレーンボ-西宮					
	リハビリ特化型		地域密着型		認知症対応型		地域密着型		認知症対応型		一般型		一般型		一般型			
	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度	前年度	令和4年度		
稼働日数	215日	0日	310日	309日	309日	310日	309日	310日	309日	309日	309日	309日	309日	309日	309日	309日		
定員	30人	18人	30人	12人	30人	12人	30人	12人	30人	12人	30人	12人	30人	12人	30人	12人		
稼働日数	215日	0日	310日	309日	309日	310日	309日	310日	309日	309日	310日	309日	310日	309日	309日	309日		
人数	2.5	51.2%	0.0	-	0.2	2.0%	0.2	1.8%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	4.4	54.7%	2.1	30.4%		
構成率	16.4%	0.0	0.0	-	0.4	2.9%	1.1	9.9%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	3.0	37.2%	4.4	63.8%		
人数	0.2	4.3%	0.0	-	4.2	34.2%	3.1	27.9%	0.1	1.3%	0.1	1.3%	0.2	2.8%	0.3	4.3%		
構成率	17.8%	0.0	0.0	-	3.1	25.7%	2.2	19.8%	1.2	15.2%	2.6	32.9%	0.4	5.4%	0.1	1.4%		
人数	0.1	1.8%	0.0	-	2.1	17.1%	2.0	18.0%	2.6	34.1%	2.5	31.6%	8.1	(116.7%)	6.9	-		
構成率	8.5%	0.0	0.0	-	2.1	16.9%	2.0	18.0%	1.7	22.5%	1.2	15.2%	80.6%	69.0%	69.0%	-		
人数	0.0	0.0%	0.0	-	0.1	1.1%	0.5	4.5%	2.1	26.6%	1.5	19.0%	10人	10人	10人	-		
合計(前年比)	4.8	-	0.0	-	12.2	(109.7%)	11.1	-	7.7	(97.7%)	7.9	-	2,490	(116.8%)	2,132	-		
平均介護度	1.0	-	2.1	2.2	2.2	3.6	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	
稼働率	16.1%	0.0%	67.7%	61.7%	61.7%	64.4%	65.8%	65.8%	65.8%	65.8%	65.8%	65.8%	65.8%	65.8%	65.8%	65.8%	65.8%	
延べ利用者数(前年比)	1,075	-	0	3,779	(110.4%)	3,422	2,395	(98.8%)	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423
新着利用者※12	39人	0人	33人	10人	10人	9人	14人	14人	14人	14人	14人	14人	14人	14人	14人	14人	14人	14人

※12：通期での新規ご利用者数(放課後等デイサービスレーンボ-西宮は前年度については集計対象でなかったため斜線で表示)

資料④ ホームヘルプ関係

令和4年度通期のホームヘルプご利用回数(月間平均)

	神港園ホームヘルプセンター			神港園しあわせの家ホームヘルプセンター			神港園ホームヘルプ白川			さん孺子神港園ホームヘルプセンター			ホームヘルプ神港園レインボ-西宮							
	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度					
	回数	構成率	回数	構成率	回数	構成率	回数	構成率	回数	構成率	回数	構成率	回数	構成率	回数	構成率				
介護保険	1,459	80.0%	1,352	75.1%	525	58.4%	565	58.3%	851	58.1%	855	58.5%	465	52.2%	687	56.2%	817	99.7%	732	100.0%
身体介護	1,348		1,202		143		159		550		517		139		186		629		496	
身体生活	63		76		111		142		46		75		99		176		67		68	
生活援助	48		74		270		264		255		263		228		325		121		168	
総合事業	113	6.2%	147	8.1%	359	39.9%	394	40.6%	579	39.6%	563	38.5%	381	42.8%	461	37.7%	2	0.2%	0	0.0%
障害支援	239	13.0%	288	16.0%	0	0.0%	0	0.0%	17	1.1%	19	1.3%	13	1.4%	32	2.6%	0	0.0%	0	0.0%
身体介護	127		164		0		0		0		2		9		28		0		0	
生活援助	112		124		0		0		17		17		4		4		0		0	
重度支援費	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
移動支援	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0	
神戸市受託事業	3	0.1%	4	0.2%	3	0.3%	2	0.2%	7	0.4%	13	0.8%	2	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
みまもりヘルパー	0		1		3		2		4		7		0		0		0		0	
産後ヘルパー	0		3		0		0		3		5		0		0		0		0	
養育ヘルパー	3		0		0		0		0		1		2		0		0		0	
介護保険外サービス	9	0.4%	9	0.5%	10	1.1%	8	0.8%	8	0.5%	10	0.6%	30	3.3%	42	3.4%	0	0.0%	0	0.0%
合計(前年比)	1,823	(101.2%)	1,800	-	897	(92.5%)	969	-	1,463	(100.2%)	1,460	-	891	(72.9%)	1,222	-	819	(111.9%)	732	-
新規利用者※13	37人		40人		38人		30人		68人		72人		39人		29人		1人		5人	

	5 事業所 合計			
	令和4年度		前年度	
	回数	構成率	回数	
介護保険	4,118	69.8%	4,191	67.7%
身体介護	2,810		2,560	
身体生活	385		537	
生活援助	923		1,094	
総合事業	1,435	24.3%	1,565	25.3%
障害支援	268	4.5%	339	5.4%
身体介護	136		194	
生活援助	132		145	
重度支援費	0		0	
移動支援	0		0	
神戸市受託事業	16	0.2%	19	0.3%
みまもりヘルパー	7		10	
産後ヘルパー	3		8	
養育ヘルパー	5		1	
介護保険外サービス	57	0.9%	69	1.1%
合計(前年比)	5,893	(95.3%)	6,183	-
新規利用者※13	183人		176人	

※13：通期での新規ご利用者数

資料⑤ 居宅介護支援事業所関係

1. 居宅介護支援計画実績(月間平均件数)

	シルビアケアプランセンター			西鈴蘭台ケアプランセンター			白川ケアプランセンター			舞子ケアプランセンター			居宅介護支援事業所レインボ－西宮		
	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度
	構成率	件数	件数	構成率	件数	件数	構成率	件数	件数	構成率	件数	件数	構成率	件数	件数
要支援合計	5.4	28.2	21.0	7.1%	7.7	14.2	5.0%	5.2	8.8	3.9%	15.1	18.8	34.1%	16.9	
要支援1	1.7	7.2	6.7		0.8	7.9		0.8	4.0		7.8	10.2		6.9	
要支援2	3.8	21.0	14.3		13.8	6.3		4.4	4.8		7.3	8.7		10.0	
要介護合計	171.7	149.2	276.3	92.9%	263.6	267.7	95.0%	230.5	213.4	96.1%	217.9	36.4	65.9%	41.4	
要介護1	43.0	20.0	88.3		85.9	112.4		89.9	105.1		111.0	13.8		13.2	
要介護2	53.4	49.5	96.8		85.8	70.2		61.9	51.4		50.1	6.9		9.3	
要介護3	34.8	37.6	42.8		47.5	37.1		36.9	25.4		27.2	6.9		8.8	
要介護4	29.1	28.8	28.2		26.1	27.8		27.7	22.9		22.6	6.5		7.1	
要介護5	11.4	13.3	20.2		18.3	20.3		14.1	8.6		7.0	2.3		3.0	
合計(前年比)	177.2	177.4	297.3	(104.3%)	285.1	281.9	(119.6%)	235.7	222.2	(95.3%)	233.0	55.2	(94.8%)	58.3	
総合事業	0.0	0.0	0.0	-	2.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	0.0	-	0.0	

2. 要介護認定調査実績(月間平均件数)

	シルビアケアプランセンター			西鈴蘭台ケアプランセンター			白川ケアプランセンター			舞子ケアプランセンター			居宅介護支援事業所レインボ－西宮		
	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度
	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数
①申請代行	5.3	64.6%	8.3	85.8%	16.4	12.3	104.9%	11.8	11.6	95.2%	12.2	2.7	60.0%	4.5	
②認定調査	29.2	115.1%	25.3	97.8%	46.9	50.0	88.2%	56.7	57.3	101.1%	56.7	-	-	0.0	
神戸市内	24.0	108.6%	22.1	98.7%	46.5	48.8	86.9%	56.2	56.3	100.1%	56.2	-	-	0.0	
神戸市以外	5.2	158.9%	3.3	0.0%	0.4	1.2	233.2%	0.5	1.1	216.6%	0.5	-	-	0.0	

3. 職員の配置状況および1人あたり対応実績(月間平均件数) ※14※15

	シルビアケアプランセンター			西鈴蘭台ケアプランセンター			白川ケアプランセンター			舞子ケアプランセンター			居宅介護支援事業所レインボ－西宮		
	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度	令和4年度		前年度
	職員配置数	1人あたり件数	1人あたり件数	職員配置数	1人あたり件数	1人あたり件数	職員配置数	1人あたり件数	1人あたり件数	職員配置数	1人あたり件数	1人あたり件数	職員配置数	1人あたり件数	1人あたり件数
職員配置数	6.1人	29.3件	6.0人	8.6人	35.6件	8.8人	7.9人	8.3人	8.4人	8.4人	8.4人	1.4人	1.4人		
職員1人あたり件数	31.0件	24.9	24.9	32.1	31.4	30.4	29.2	25.7	25.9	25.9	26.0	29.6			
介護	28.2	0.4	2.4	1.2	1.3	0.8	0.3	0.5	0.9	6.7	6.0				
予防	2.4	2.1	2.7	2.8	3.6	3.5	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0				
認定調査	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
総合事業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

※14：職員の配置状況については、1か月の所定労働時間が160.375時間の常勤職員を1.0とし、非常勤職員については1ヶ月の労働時間/160.375で常勤換算し算出

※15：予防、認定調査および総合事業の職員1人あたり件数は、2件で1件分としてカウント

**資料⑥ あんしんすこやかセンター関係**

**1. 令和4年度通期の相談対応実績(月間平均件数)**

	神出あんしんすこやかセンター		五葉あんしんすこやかセンター		白川あんしんすこやかセンター		舞子あんしんすこやかセンター	
	令和4年度		令和4年度		令和4年度		令和4年度	
	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比
総合相談支援	50.3	136.0%	37.0	98.1%	124.4	97.5%	127.6	121.7%
介護予防支援関連※16	16.0	109.7%	14.6	76.8%	46.6	127.3%	36.6	68.6%
権利擁護	10.3	149.4%	6.9	73.2%	2.4	104.3%	2.3	54.5%
包括的・継続的ケアマネジメント	7.6	58.7%	12.9	122.9%	6.2	84.9%	7.3	124.2%
困難事例対応	7.3	118.9%	6.2	84.5%	4.0	62.5%	6.4	796.7%
地域支え合い活動	3.3	90.7%	3.6	200.0%	0.5	66.7%	6.0	8.4%
認定申請	17.4	105.0%	16.6	114.1%	42.5	111.4%	44.0	124.1%
その他	9.8	63.1%	15.6	53.8%	9.3	64.5%	7.6	6.2%
合計	122.1	107.7%	113.3	97.3%	221.5	101.6%	237.8	113.5%

※16：事業対象者、要支援者の介護予防ケアマネジメントに対しての相談対応。モニタリング、サービス担当者会議は除く

**2. 令和4年度通期の介護予防ケアマネジメント実績(月間平均件数)**

	神出あんしんすこやかセンター			五葉あんしんすこやかセンター			白川あんしんすこやかセンター			舞子あんしんすこやかセンター		
	令和4年度			令和4年度			令和4年度			令和4年度		
	管理総数	内、継続数	内、新規数	管理総数	内、委託数	内、新規数	管理総数	内、委託数	内、新規数	管理総数	内、継続数	内、新規数
従来型	142.0	7.0	14.0	62.0	107.0	3.5	26.0	117.3	4.3	113.0	5.0	
簡易型	17.0	10.0	7.0	0.0	70.4	2.5	6.6	104.7	3.7	101.0	3.9	
セルフ型	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
予防給付	128.1	124.5	3.6	28.2	220.6	5.4	53.2	244.6	6.5	238.1	4.9	

※17：介護予防支援の担当件数

**3. 地域支え合い活動推進事業・会議等実施状況(年間累計件数)**

	神出あんしんすこやかセンター		五葉あんしんすこやかセンター		白川あんしんすこやかセンター		舞子あんしんすこやかセンター	
	令和4年度		令和4年度		令和4年度		令和4年度	
	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比
地域ケア会議	1	-	0	200.0%	1	33.3%	2	100.0%
自センター主催会議	4	200.0%	2	250.0%	3	433.3%	9	100.0%
小地域支え合い連絡会	5	83.3%	6	100.0%	1	100.0%	7	63.6%
行政主催会議	36	90.0%	40	131.4%	35	158.1%	19	90.5%
地域主催会議	115	201.8%	57	130.9%	55	295.7%	38	74.5%
ケアマネ等研修会	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	2	200.0%
介護リフレッシュ教室	5	166.7%	3	125.0%	4	125.0%	4	100.0%
運営推進会議	7	233.3%	3	200.0%	1	233.3%	3	160.0%
研修	48	208.7%	23	121.1%	19	54.3%	46	21.1%
住居主催活動の後方支援	6	200.0%	3	66.7%	3	48.1%	27	4850.0%

# 資料⑦ 事故関係

## ⑦-1 令和4年度通期での行政機関への事故報告事例件数

		骨折	打撲・捻挫 脱臼	切傷 擦過傷	やけど	その他外傷	異食 誤えん	結核	感染症	職員の 法令違反	虐待	離園	誤薬	その他	事業所別合計	
神戸市西区内の事業所	養護老人ホーム神港園	2				1	1		17					2	23	
	神港園シルビアホーム	1							72						73	
	神港園シルビアショートステイ	1							6						7	
	神港園シルビアデイサービスセンター	1													1	
	神港園ホームヘルプセンター													1	1	
	シルビアケアプランセンター															
	神出あんしんすこやかセンター															
	事故分類別合計(令和4年度)	5					1	1	95						3	105
	同・前年度	4					1		1							6
神戸市北区内の事業所	神港園しあわせの家	3					1		45						49	
	神港園しあわせの家ショートステイ	2	1						11				2		16	
	神港園しあわせの家デイサービスセンター													1	1	
	神港園西鈴蘭台デイサービスほっと															
	神港園しあわせの家ホームヘルプセンター															
	西鈴蘭台ケアプランセンター															
	五葉あんしんすこやかセンター															
	しあわせの村保育園															
	事故分類別合計(令和4年度)	5	1					1	56				2	1	66	
同・前年度	8	1	2				2	20				6	1	40		
神戸市須磨区内の事業所	神港園サニーライフ白川	3	1						28						32	
	神港園ショートステイ白川	3							17						20	
	神港園デイサービス白川								11						11	
	神港園ホームヘルプ白川															
	白川ケアプランセンター															
	白川あんしんすこやかセンター															
	介護しよっぶ神港園															
	事故分類別合計(令和4年度)	6	1						56						63	
	同・前年度	3			1				3						7	
神戸市垂水区内の事業所	さん舞子神港園	13							31			1			45	
	さん舞子神港園いこいの家	3													3	
	さん舞子神港園ショートステイ	2							17						19	
	さん舞子神港園デイサービスセンター								6						6	
	リハデイGsさん舞子神港園															
	さん舞子神港園ホームヘルプセンター															
	舞子ケアプランセンター															
	舞子あんしんすこやかセンター															
	事故分類別合計(令和4年度)	18							54				1		73	
同・前年度	14	3	3		2	1		1		1	1		3	29		
西宮市内の事業所	神港園レインボー西宮	1	1	1					9						12	
	神港園レインボー酒蔵通								1						1	
	デイサービスセンターレインボー西宮		1					1							2	
	認知症対応型デイサービスセンターレインボー西宮			1				1							2	
	放課後等デイサービスレインボー西宮															
	ホームヘルプ神港園レインボー西宮															
	居宅介護支援事業所レインボー西宮															
	事故分類別合計(令和4年度)	1	2	2			2		10						17	
	同・前年度	2	1												4	

事故分類別の総件数	骨折	打撲・捻挫 脱臼	切傷 擦過傷	やけど	その他外傷	異食 誤えん	結核	感染症	職員の 法令違反	虐待	離園	誤薬	その他	合計
令和4年度	35	4	2		1	4		271			1	2	4	324
前年度	31	5	5	1	3	3		25		1	1	6	5	86

⑦-2 令和4年度通期でのご利用者からの事業所への要望件数

		提案	サービス内容	嗜好	職員のマナー	利用料	その他	事業所別合計
神戸市西区内の事業所	養護老人ホーム神港園							
	神港園シルビアホーム							
	神港園シルビアショートステイ							
	神港園シルビアデイサービスセンター							
	神港園ホームヘルプセンター		1		1			2
	シルビアケアプランセンター							
	神出あんしんすこやかセンター							
	要望分類別合計(令和4年度)		1		1			2
	同・前年度				2			2
神戸市北区内の事業所	神港園しあわせの家							
	神港園しあわせの家ショートステイ		3					3
	神港園しあわせの家デイサービスセンター				1			1
	神港園西鈴蘭台デイサービスほっと							
	神港園しあわせの家ホームヘルプセンター	1						1
	西鈴蘭台ケアプランセンター							
	五葉あんしんすこやかセンター							
	しあわせの村保育園							
	要望分類別合計(令和4年度)	1	3		1			5
同・前年度		6				3	9	
神戸市須磨区内の事業所	神港園サニーライフ白川					1		1
	神港園ショートステイ白川							
	神港園デイサービス白川							
	神港園ホームヘルプ白川							
	白川ケアプランセンター				1			1
	白川あんしんすこやかセンター				1			1
	介護しよっふ神港園							
	要望分類別合計(令和4年度)				2	1		3
	同・前年度							
神戸市垂水区内の事業所	さん舞子神港園						1	1
	さん舞子神港園いこいの家	1						1
	さん舞子神港園ショートステイ							
	さん舞子神港園デイサービスセンター	1	2		1			4
	リハデイGsさん舞子神港園							
	さん舞子神港園ホームヘルプセンター							
	舞子ケアプランセンター							
	舞子あんしんすこやかセンター							
	要望分類別合計(令和4年度)	2	2		1		1	6
同・前年度	1	3		1		2	7	
西宮市内の事業所	神港園レインボー西宮							
	神港園レインボー酒蔵通							
	デイサービスセンターレインボー西宮				1		1	2
	認知症対応型デイサービスセンターレインボー西宮		1					1
	放課後等デイサービスレインボー西宮							
	ホームヘルプ神港園レインボー西宮							
	居宅介護支援事業所レインボー西宮							
	要望分類別合計(令和4年度)		1		1		1	3
	同・前年度		4		2	1	4	11

要望分類別の総件数	提案	サービス内容	嗜好	職員のマナー	利用料	その他	総件数
令和4年度	3	7		6	1	2	19
前年度	1	13		5	1	9	29

⑦-3 令和4年度通期でのご利用者からの事業所への苦情件数

	サービス内容	個人の嗜好	制度・法律関連	職員の態度	説明不十分	その他	事業所別合計
神戸市西区内の事業所	養護老人ホーム神港園						
	神港園シルビアホーム						
	神港園シルビアショートステイ						
	神港園シルビアデイサービスセンター						
	神港園ホームヘルプセンター						
	シルビアケアプランセンター						
	神出あんしんすこやかセンター						
	苦情分類別合計(令和4年度)						
	同・前年度					1	1
神戸市北区内の事業所	神港園しあわせの家						
	神港園しあわせの家ショートステイ						
	神港園しあわせの家デイサービスセンター			2			2
	神港園西鈴蘭台デイサービスほっと						
	神港園しあわせの家ホームヘルプセンター			1	1		2
	西鈴蘭台ケアプランセンター			2	1		3
	五葉あんしんすこやかセンター						
	しあわせの村保育園						
	苦情分類別合計(令和4年度)			5	2		7
同・前年度	4		5	1	7	17	
神戸市須磨区内の事業所	神港園サニライフ白川				1	1	2
	神港園ショートステイ白川				1	1	2
	神港園デイサービス白川						
	神港園ホームヘルプ白川	2			1	2	5
	白川ケアプランセンター			1	1	1	3
	白川あんしんすこやかセンター			1			1
	介護しょっぶ神港園					1	1
	苦情分類別合計(令和4年度)	2		2	4	6	14
	同・前年度	2		8	2	1	13
神戸市垂水区内の事業所	さん舞子神港園						
	さん舞子神港園いこいの家						
	さん舞子神港園ショートステイ						
	さん舞子神港園デイサービスセンター				1		1
	リハティGsさん舞子神港園			1			1
	さん舞子神港園ホームヘルプセンター			3			3
	舞子ケアプランセンター						
	舞子あんしんすこやかセンター			1			1
	苦情分類別合計(令和4年度)			1	4	1	6
同・前年度	5		5	1	4	15	
西宮市内の事業所	神港園レインボー西宮						
	神港園レインボー酒蔵通						
	デイサービスセンターレインボー西宮			1			1
	認知症対応型デイサービスセンターレインボー西宮						
	放課後等デイサービスレインボー西宮						
	ホームヘルプ神港園レインボー西宮	1	2		4		7
	居宅介護支援事業所レインボー西宮						
	苦情分類別合計(令和4年度)	1	2		5		8
同・前年度	2					2	

苦情分類別の総件数	サービス内容	個人の嗜好	制度・法律関連	職員の態度	説明不十分	その他	総件数
令和4年度	3	2	1	16	7	6	35
前年度	13			18	4	13	48

## 資料⑧ 医療・保健関係

### 1. ご入居者の疾患分類状況(3月末時点の在園者について)※18

3月末時点の在園者数 (疾患分類)	養護老人ホーム神港園		神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニライフ白川		さん舞子神港園		さん舞子神港園いこいの家	
	該当者	割合	該当者	割合	該当者	割合	該当者	割合	該当者	割合	該当者	割合
循環器	27	57.4%	71	71.7%	68	69.4%	33	66.0%	72	98.6%	32	69.6%
呼吸器	5	10.6%	9	9.1%	3	3.1%	1	2.0%	10	13.7%	4	8.7%
消化器	34	72.3%	92	92.9%	91	92.9%	33	66.0%	70	95.9%	45	97.8%
肝胆	2	4.3%	1	1.0%	6	6.1%	1	2.0%	5	6.8%	7	15.2%
内分泌代謝	9	19.1%	27	27.3%	55	56.1%	13	26.0%	51	69.9%	10	21.7%
腎・尿路	10	21.3%	19	19.2%	36	36.7%	2	4.0%	23	31.5%	12	26.1%
血液	10	21.3%	6	6.1%	2	2.0%	8	16.0%	12	16.4%	4	8.7%
神経	17	36.2%	0	0.0%	53	54.1%	20	40.0%	52	71.2%	7	15.2%
褥瘡	2	4.3%	6	6.1%	1	1.0%	2	4.0%	3	4.1%	0	0.0%
その他	32	68.1%	39	39.4%	8	8.2%	7	14.0%	60	82.2%	3	6.5%
整形外科	2	4.3%	6	6.1%	12	12.2%	2	4.0%	7	9.6%	2	4.3%
外科	27	57.4%	46	46.5%	5	5.1%	19	38.0%	62	84.9%	18	39.1%
精神科※19	9	19.1%	10	10.1%	30	30.6%	18	36.0%	20	27.4%	9	19.6%

※18：3月末時点の在園者のカルテに記載の情報に基づく

※19：精神科については、3月末時点で神港園診療所の精神科医が定期的な診療を行っている在園者の人数

### 2. ご入居者の状況(3月末時点の在園者について)

	養護老人ホーム神港園		神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニライフ白川		さん舞子神港園		さん舞子神港園いこいの家	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
言語障がい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
聴力障がい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	1	2.2%
視力障がい	0	0.0%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.1%	0	0.0%
知的障がい※20	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
精神障がい※21	0	0.0%	3	3.0%	6	6.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	8.7%

※20：療育手帳の所持者の人数

※21：精神障がい者福祉手帳の所持者または、自立支援医療の適用者の人数

### 3. 令和4年度通期での訪問診療・往診・受診の状況

#### A. 神港園診療所のドクターによる訪問診療および往診の回数

(診療科)	養護老人ホーム神港園		神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニーライフ白川		さん舞子神港園		さん舞子神港園いこいの家		神港園レインボー西宮	
	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23
内科	2,056		5,675		3,819		2,111		2,498		2,476		0	
精神科	206		163		537		417		270		171		0	
合計	2,262		5,838		4,356		2,528		2,768		2,647		0	

#### B. 神港園診療所を除くクリニックや病院のドクターによる訪問診療および往診の回数

(診療科)	養護老人ホーム神港園		神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニーライフ白川		さん舞子神港園		さん舞子神港園いこいの家		神港園レインボー西宮	
	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23
歯科※22	39		87		11		90		577		392		32	
その他	6		0		0		0		28		0		399	
合計	45		87		11		90		605		392		431	

※22：口腔ケアの実施回数を含む

#### C. 神港園診療所を除くクリニックや病院への受診回数

(診療科)	養護老人ホーム神港園		神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニーライフ白川		さん舞子神港園		さん舞子神港園いこいの家		神港園レインボー西宮	
	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23	診療回数	入院※23
内科	42	15	128	40	23	14	9	5	93	16	6	5	16	0
整形外科・外科	26	2	95	9	11	3	15	2	97	6	21	0	18	0
歯科	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
眼科	22	0	7	0	0	0	8	0	23	0	0	0	11	0
耳鼻科	2	0	1	0	0	0	2	0	26	0	4	0	0	0
皮膚科	6	0	59	1	22	1	14	0	30	0	23	0	16	0
その他	26	1	127	0	13	1	5	1	27	3	12	3	17	0
合計	126	18	417	50	69	19	55	8	296	25	66	8	78	0

※23：診療の後、入院につながった件数

#### 4. 令和4年度通期での看取り介護実績※24

	養護老人ホーム神港園	神港園シルビアホーム	神港園しあわせの家	神港園サニーライフ白川	さん舞子神港園	さん舞子神港園いこいの家	神港園レインボー西宮
本年度実績	-	30件	23件	12件	8件	7件	3件
前年度実績	-	25件	14件	12件	5件	3件	1件
前年比	-	120.0%	164.3%	100.0%	160.0%	233.3%	300.0%

※24：養護老人ホーム神港園については看取り介護は未実施

資料⑨ 栄養関係

食事形態や療養食の利用状況(3月末時点の在園者について)

食事形態	養護老人ホーム神港園		神港園シルビアホーム		神港園しあわせの家		神港園サニーライフ白川		さん舞子神港園		さん舞子神港園いこいの家		神港園レインボー西宮		神港園レインボー酒蔵通	
	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率
普通食	34	72.3%	24	24.2%	18	18.4%	16	32.0%	35	47.9%	2	4.3%	11	64.7%	46	93.9%
刻み食	7	14.9%	35	35.4%	21	21.4%	17	34.0%	26	35.6%	15	32.6%	5	29.4%	3	6.1%
極刻み食	5	10.6%	26	26.3%	0	0.0%	0	0.0%	6	8.2%	18	39.1%	0	0.0%	0	0.0%
ソフト食	0	0.0%	2	2.0%	47	48.0%	17	34.0%	0	0.0%	6	13.0%	0	0.0%	0	0.0%
ミキサー食	1	2.1%	9	9.1%	11	11.2%	0	0.0%	6	8.2%	5	10.9%	1	5.9%	0	0.0%
補助食品のみ・絶食	0	0.0%	3	3.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	47人	100.0%	99人	100.0%	98人	100.0%	50人	100.0%	73人	100.0%	46人	100.0%	17人	100.0%	49人	100.0%
糖尿食	2	4.3%	3	3.0%	4	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
高脂血症食	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
腎臓食	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
心臓食	2	4.3%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
肝臓食	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
潰瘍食	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	5人	10.6%	4人	4.0%	4人	4.1%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
卵	1	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
魚	7	14.9%	4	4.0%	2	2.0%	5	10.0%	19	26.0%	5	10.9%	1	5.9%	0	0.0%
蕎麦	4	8.5%	1	1.0%	0	0.0%	1	2.0%	3	4.1%	1	2.2%	0	0.0%	1	2.0%
鶏肉	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.0%	2	2.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2	4.3%	5	5.1%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.2%	1	5.9%	0	0.0%
合計	14人	29.8%	10人	10.1%	4人	4.1%	10人	20.0%	24人	32.9%	7人	15.2%	2人	11.8%	1人	2.0%
低リスク	0	0.0%	13	13.1%	53	54.1%	3	6.0%	0	0.0%	13	28.3%	0	0.0%	0	0.0%
中リスク	0	0.0%	86	86.9%	42	42.9%	36	72.0%	0	0.0%	28	60.9%	0	0.0%	0	0.0%
高リスク	0	0.0%	0	0.0%	3	3.1%	11	22.0%	0	0.0%	5	10.9%	0	0.0%	0	0.0%
合計	0人	0.0%	99人	100.0%	98人	100.0%	50人	100.0%	0人	0.0%	46人	100.0%	0人	0.0%	0人	0.0%

資料⑩ 職員関係

事業所別職員配置状況(職責および部署による分類) ※26※27

養護老人ホーム神港園

	令和4年4月実績				令和5年3月実績			
	正職員	嘱託等	パート等	合計	正職員	嘱託等	パート等	合計
幹部職員	0.5			0.5	0.5			0.5
事務職員	1.0		2.5	3.5	1.0		2.6	3.6
栄養士	0.4			0.4	0.4			0.4
養護老人ホーム	7.0	0.5	2.0	9.5	7.0	1.3	1.8	10.1
ホームヘルプ	7.0	0.5	4.4	11.9	5.0	2.0	3.4	10.4
合計	15.9	1.0	8.9	25.8	13.9	3.3	7.8	25.0

神港園シルビアホーム

	令和4年4月実績				令和5年3月実績			
	正職員	嘱託等	パート等	合計	正職員	嘱託等	パート等	合計
幹部職員	1.3			1.3	1.3			1.3
事務職員	2.0		2.5	4.5	2.0		3.0	5.0
栄養士	1.6		0.4	2.0	1.6		0.4	2.0
特別養護老人ホーム	35.9	7.0	6.1	49.0	32.8	12.7	5.7	51.2
ショートステイ	8.0	1.0	1.5	10.5	8.0	1.0	1.7	10.7
一般型デイサービス	5.1	5.0	1.3	11.4	7.4	3.8	1.6	12.8
居宅介護支援事業所	5.0		1.0	6.0	5.0		0.9	5.9
地域包括支援センター	4.0			4.0	4.0			4.0
合計	62.9	13.0	12.8	88.7	62.1	17.5	13.3	92.9

神港園しあわせの家

	令和4年4月実績				令和5年3月実績			
	正職員	嘱託等	パート等	合計	正職員	嘱託等	パート等	合計
幹部職員	2.1			2.1	2.1			2.1
事務職員	2.0	1.0	3.4	6.4	2.0	1.0	3.5	6.5
栄養士	1.0		0.8	1.8	1.0		0.9	1.9
特別養護老人ホーム	36.0	16.0	9.6	61.6	36.0	17.4	8.9	62.3
ショートステイ	7.0	3.0	1.6	11.6	7.0	4.0	0.8	11.8
認知症対応型デイサービス	6.0	1.0	6.8	13.8	7.0	1.0	6.5	14.5
地域密着型デイサービス	2.0	1.0	1.2	4.2	2.0	1.0	2.0	5.0
ホームヘルプ	3.0	2.0	4.7	9.7	4.0	1.0	4.0	9.0
居宅介護支援事業所	6.0		2.3	8.3	7.0		1.9	8.9
地域包括支援センター	5.0	1.0	1.8	7.8	6.0	2.0	0.8	8.8
合計	70.1	25.0	32.2	127.3	74.1	27.4	29.3	130.8

神港園サニーライフ白川

	令和4年4月実績				令和5年3月実績			
	正職員	嘱託等	パート等	合計	正職員	嘱託等	パート等	合計
幹部職員	2.0			2.0	2.0			2.0
事務職員	2.0	2.0	3.8	7.8		2.0	3.5	5.5
栄養士	1.0		0.3	1.3	1.0		0.3	1.3
特別養護老人ホーム	19.2	5.0	4.6	28.8	18.0	6.2	5.2	29.4
ショートステイ	10.0	1.0	3.5	14.5	7.0	2.0	3.3	12.3
一般型デイサービス	9.0	1.0	3.4	13.4	6.5	2.0	2.8	11.3
ホームヘルプ	4.0	2.5	6.2	12.7	5.0	3.0	5.1	13.1
居宅介護支援事業所	9.0		0.3	9.3	7.0	1.0	0.2	8.2
地域包括支援センター	9.0		0.4	9.4	9.0		0.3	9.3
福祉用具販売・貸与						1.0		1.0
その他			0.4	0.4			0.3	0.3
合計	65.2	11.5	22.9	99.6	55.5	17.2	20.9	93.6

さん舞子神港園

	令和4年4月実績				令和5年3月実績			
	正職員	嘱託等	パート等	合計	正職員	嘱託等	パート等	合計
幹部職員	1.0	0.2		1.2	1.0	0.2		1.2
事務職員	2.0		5.7	7.7	1.0		6.0	7.0
栄養士	1.0			1.0	1.0			1.0
ケアハウス	30.0	12.0	6.4	48.4	28.0	16.0	5.6	49.6
ショートステイ	9.0	2.0	1.5	12.5	9.0	2.0	1.5	12.5
一般型デイサービス	4.0	4.0	3.6	11.6	3.0	3.0	6.0	12.0
リハビリ特化型デイサービス					1.0	2.0	1.0	4.0
ホームヘルプ	3.0	1.0	6.2	10.2	3.0	1.0	5.3	9.3
居宅介護支援事業所	8.0		0.5	8.5	6.0		2.0	8.0
地域包括支援センター	9.0	1.0		10.0	11.0			11.0
合計	67.0	20.2	23.9	111.1	64.0	24.2	27.4	115.6

さん舞子神港園いこいの家

	令和4年4月実績				令和5年3月実績			
	正職員	嘱託等	パート等	合計	正職員	嘱託等	パート等	合計
幹部職員	0.5	0.1		0.6		0.1		0.1
事務職員	1.0		2.4	3.4		1.0	2.2	3.2
栄養士	1.0			1.0	1.0			1.0
特別養護老人ホーム	20.5	10.0	3.4	33.9	21.0	7.7	3.6	32.3
有料老人ホーム			1.5	1.5				
合計	23.0	10.1	7.3	40.4	22.0	8.8	5.8	36.6

レインボー西宮・酒蔵通

	令和4年4月実績				令和5年3月実績			
	正職員	嘱託等	パート等	合計	正職員	嘱託等	パート等	合計
幹部職員		1.0		1.0		1.0		1.0
事務職員	1.4		1.3	2.7	1.4		2.0	3.4
栄養士		2.0	0.6	2.6		2.0	0.6	2.6
グループホーム	8.5	5.0	2.5	16.0	6.5	7.0	2.5	16.0
サービス付高齢者向け住宅	1.7	1.3	3.5	6.5	1.7	1.2	2.9	5.8
地域密着型デイサービス	4.7	2.0	2.3	9.0	5.2	1.0	1.1	7.3
認知症対応型デイサービス	3.8		1.7	5.5	5.3		1.8	7.1
放課後等デイサービス	1.0	2.0	2.7	5.7	2.0		3.2	5.2
ホームヘルプ	2.1	1.7	1.8	5.6	2.1	2.8	1.5	6.4
居宅介護支援事業所	1.2			1.2	1.2		0.3	1.5
合計	24.4	15.0	16.4	55.8	25.4	15.0	15.9	56.3

法人本部

	令和4年4月実績				令和5年3月実績			
	正職員	嘱託等	パート等	合計	正職員	嘱託等	パート等	合計
幹部職員	3.9	1.4		5.3	3.9	1.4		5.3
事務職員	9.2	1.4	0.6	11.2	9.0	1.4	0.6	11.0
合計	13.1	2.8	0.6	16.5	12.9	2.8	0.6	16.3

医療事業部

	令和4年4月実績				令和5年3月実績			
	正職員	嘱託等	パート等	合計	正職員	嘱託等	パート等	合計
幹部職員	0.2			0.2	0.2			0.2
事務職員	1.4		0.6	2.0	1.4		1.5	2.9
医師		1.8	0.6	2.4		1.0	1.2	2.2
PT・OT	3.0	2.0	0.6	5.6	4.0	1.0	0.6	5.6
その他			0.3	0.3			0.3	0.3
合計	4.6	3.8	2.1	10.5	5.6	2.0	3.6	11.2

法人全体

	令和4年4月実績				令和5年3月実績			
	正職員	嘱託等	パート等	合計	正職員	嘱託等	パート等	合計
全事業所の合計	346.2	102.4	127.1	575.7	335.5	118.2	124.6	578.3

※26：職員の配置数については、1か月の所定労働時間が160.375時間の常勤職員を1.0とし、非常勤職員については1ヶ月の労働時間/160.375で常勤換算し算出

※27：「嘱託等」には嘱託職員と契約職員、「パート等」にはパート職員、派遣職員、登録ヘルパーおよびアルバイト職員の人数を記載



資料① 採用・離職関係

1. 令和4年度通期での職種別採用・離職状況

	令和4年度																	
	介護職員			看護職員			相談員および相談援助職員			事務職員			その他			合計		
	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数
正職員	11	20	0	1	4	0	4	0	4	0	4	2	1	13	30			
嘱託・契約職員	27	11	5	2	9	1	5	1	5	1	5	2	2	48	17			
パート職員	12	21	6	8	2	3	1	0	24	16	45	48						
登録ヘルパー	5	12	0	0	0	0	0	0	0	0	5	12						
合計	55	64	11	11	11	8	6	5	28	19	111	107						
離職率※28	14.7%	27.5%		27.5%	9.3%	20.0%	16.5%	15.2%										
平均年齢※29	46.6	53.4		53.4	51.0	51.0	59.7	52.3										
平均勤続年数※29	7.2	6.6		6.6	10.2	8.0	5.8	7.6										
期首在籍者数	436	40		40	86	25	115	702										
期末在籍者数	427	40		40	89	26	124	706										

※28：離職率＝(離職者数/期首在籍者数)×100(%) ※29：期末時点の平均年齢および平均勤続年数

2. 介護職員の採用・離職状況詳細

	令和4年度						
	期首	採用者数	離職者数	離職者の内訳(勤続年数別割合)			期末
				1年未満	3年未満	3年以上	
①介護職員	352	50	52	14	14	24	350
②登録ヘルパー	84	5	12	3	2	7	77
合計(①+②)	436	55	64	17	16	31	427

	令和4年度					
	増加率	採用率	離職率	離職者の内訳(勤続年数別割合)		
				1年未満	3年未満	3年以上
①介護職員	-0.6%	14.2%	14.8%	26.9%	26.9%	46.2%
②登録ヘルパー	-8.3%	6.0%	14.3%	25.0%	16.7%	58.3%
合計(①+②)	-2.1%	12.6%	14.7%	26.6%	25.0%	48.4%

3. 雇用区分別・勤続年数別離職者の状況※30

	令和4年度												
	期首在籍者数	～半年未満			半年～1年未満			1～3年未満			3年以上		
		離職者数	割合	離職者数	割合	離職者数	割合	離職者数	割合	離職者数	割合	離職者数	割合
正職員	344	0	0.0%	1	3.3%	5	16.7%	24	80.0%	30			
嘱託・契約職員	91	6	35.3%	2	11.8%	6	35.3%	3	17.6%	17			
パート職員	180	12	25.0%	4	8.3%	11	22.9%	21	43.8%	48			
登録ヘルパー	87	1	8.3%	2	16.7%	2	16.7%	7	58.3%	12			
合計	702	19	-	9	-	24	-	55	-	107			

※30：離職時の勤続年数および離職時の雇用区分

1. (前年度実績)

	前年度																	
	介護職員			看護職員			相談員および相談援助職員			事務職員			その他			合計		
	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数	採用者数	離職者数
正職員	1	10	0	1	0	5	1	1	1	0	4	2	21					
嘱託・契約職員	41	22	5	1	6	2	0	1	2	2	54	28						
パート職員	14	11	3	3	1	1	0	0	18	10	36	25						
登録ヘルパー	6	10	0	0	0	0	0	0	0	0	6	10						
合計	62	53	8	5	7	8	1	2	20	16	98	84						
離職率※28	12.2%	13.5%		13.5%	9.2%	7.7%	14.4%	12.1%										
平均年齢※29	50.2	53.6		53.6	51.0	52.0	59.7	53.3										
平均勤続年数※29	7.7	6.8		6.8	10.1	8.3	9.1	8.4										
期首在籍者数	436	40		40	87	26	111	697										
期末在籍者数	436	40		40	86	25	115	702										

※28：離職率＝(離職者数/期首在籍者数)×100(%) ※29：期末時点の平均年齢および平均勤続年数

1. (前年度実績)

	前年度						
	期首	採用者数	離職者数	離職者の内訳(勤続年数別割合)			期末
				1年未満	3年未満	3年以上	
①介護職員	346	56	43	17	12	14	359
②登録ヘルパー	88	6	10	1	3	6	84
合計	434	62	53	18	15	20	443

	前年度					
	増加率	採用率	離職率	離職者の内訳(勤続年数別割合)		
				1年未満	3年未満	3年以上
①介護職員	3.8%	16.2%	12.4%	39.5%	27.9%	32.6%
②登録ヘルパー	-4.5%	6.8%	11.4%	10.0%	30.0%	60.0%
合計	2.1%	14.3%	12.2%	34.0%	28.3%	37.7%

1. (前年度実績) ※30

	前年度												
	期首在籍者数	～半年未満			半年～1年未満			1～3年未満			3年以上		
		離職者数	割合	離職者数	割合	離職者数	割合	離職者数	割合	離職者数	割合	離職者数	割合
正職員	350	1	4.8%	0	0.0%	7	33.3%	13	61.9%	21			
嘱託・契約職員	83	10	35.7%	6	21.4%	6	21.4%	6	21.4%	28			
パート職員	174	3	12.0%	1	4.0%	11	44.0%	10	40.0%	25			
登録ヘルパー	91	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	9	90.0%	10			
合計	698	14	-	7	-	25	-	38	-	84			

※30：離職時の勤続年数および離職時の雇用区分

## 令和4年度 理事会・評議員会開催状況

### 【第1回 定例理事会】

開催日時 令和4年6月3日(金)14時00分～17時08分  
開催場所 神戸市北区しあわせの村1-10  
神港園しあわせの家 2階会議室  
出席役員 理事 9名中 9名  
監事 2名中 2名

報告事項 I (1) 会計監査人による監査報告書について  
(2) 法人監事による結果報告について  
審議事項 I (1) ①令和3年度事業報告書(案)について  
②新型コロナウイルス感染症にともなう功労金の内訳について  
(2) 令和3年度決算報告書(案)について  
①令和3年度決算報告(社会福祉事業・公益事業・収益事業)  
②社会福祉充実残額について  
(3) 規程改定について  
①育児・介護休業規程改定(案)について  
②自家用車通勤管理規程改定(案)について  
③公用車管理規程改定(案)について  
④公印管理規程別表改定について  
⑤組織規程改定(案)について  
(4) 令和4年度の会計監査人について  
(5) 令和4年度第1回定例評議員会 開催日程について

### III. 報告事項

1. さん舞子神港園ショートステイ職員による傷害について
2. 新規事業について
  - ①神港園サニープラザ妙法寺
  - ②介護しょっぷ神港園
  - ③リハデイGsさん舞子神港園
3. サン舞子マンション事業終息について

### 【第1回 定例評議員会】

開催日時 令和4年6月18日(土)14時00分～16時08分  
開催場所 神戸市中央区御幸通8丁目1番6号  
神戸国際会館 8階(802,803号室)  
出席役員 評議員 10名中 10名  
監事 2名中 2名

#### I. 理事長報告事項及び専決事項

- (1) 会計監査人による監査報告書について
- (2) 法人監事による監査結果報告について

#### II. 審議事項

- (1) 令和3年度事業報告書(案)について
  - ①法人総括他
- (2) 令和3年度決算報告書(案)について
  - ①令和3年度決算報告(社会福祉事業・公益事業・収益事業)

- ②令和3年度社会福祉充実残額
  - (3) 令和4年度の会計監査人について
- Ⅲ. 理事長報告事項及び専決事項
- (1) さん舞子ショートステイ職員による傷害について
  - (2) 新規事業について
    - ①神港園サニープラザ妙法寺（仮称）
    - ②介護しょっぷ神港園
    - ③リハデイGsさん舞子神港園
  - (3) サン舞子マンション事業終息について

### 【第1回臨時理事会】書面

理事会の決議があったものとみなされた日：令和4年9月28日（水）  
 決議事項を提案した者：理事長 高谷雅子  
 議事録作成に係る職務を行った者：高谷雅子  
 同意役員：理事 9名中 9名  
                   監事 2名中 2名

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

- ①新任評議員候補の推薦（案）について
- ②各種規程改定（案）について
  1. 経理規程及び決裁処理規程別表
  2. 育児・介護休業規程

### 【第2回臨時理事会】書面

理事会の決議があったものとみなされた日：令和4年10月31日（月）  
 決議事項を提案した者：理事長 高谷雅子  
 議事録作成に係る職務を行った者：高谷雅子  
 同意役員：理事 9名中 9名  
                   監事 2名中 2名

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

- ①妙法寺新規事業用地既存建物の解体について

### 【第2回 定例理事会】

開催日時 令和4年11月14日(火)14時00分～17時47分  
 開催場所 神戸市北区しあわせの村1-10  
                   しあわせの村 2階会議室

出席役員 理事 9名中 9名  
                   監事 2名中 2名

#### I. 審議事項

- (1) 令和4年度上期事業報告
- (2) 令和4年度上期実績・中期補正予算案について
- (3) 新規事業「神港園サニープラザ妙法寺」事業シミュレーションについて
- (4) 規程改定案について
- (5) 令和4年度第1回臨時評議員会招集の件  
     開催日：令和4年11月23日（水）14：00～16：00 予定  
     場 所：あんしんすこやかハウス神出（神港園シルビアホーム）

#### II. 報告事項

- (1) 医療事業部における業務委託について

### 【第1回 臨時評議員会】

開催日時 令和4年11月23日(土)14時00分～16時45分  
開催場所 神戸市西区神出東 1188-345  
神港園あんしんすこやかハウス神出 3階 多目的ホール  
出席役員 評議員 11名中 10名  
監事 2名中 2名

#### I. 審議事項

- (1) 令和4年度上期事業報告書(案)
- (2) 令和4年度上期実績・中期補正予算(案)

#### II. 報告事項

- (1) 新規事業「神港園サニープラザ妙法寺」について
  - ①事業進捗及びスケジュールについて
  - ②経営シミュレーションについて
- (2) 医療事業部における業務委託について
- (3) シルビアホーム大規模改修について
- (4) サン舞子マンション解体について

### 【第3回臨時理事会】 書面

理事会の決議があったものとみなされた日：令和4年12月1日(木)  
決議事項を提案した者：理事長 高谷雅子  
議事録作成に係る職務を行った者：高谷雅子  
同意役員：理事 9名中 9名  
監事 2名中 2名  
理事会の決議があったものとみなされた事項の内容  
①神港園サニープラザ妙法寺建築に係る入札方法及び入札参加資格(公告(案)について)  
②サン舞子マンション解体工事に係る入札方法及び業者の選定等について

### 【第4回 臨時理事会】

開催日時 令和4年12月21日(水)14時00分～16時04分  
開催場所 神戸市北区しあわせの村 1-10  
しあわせの村 2階 会議室  
出席役員 理事 9名中 6名  
監事 2名中 1名

#### I. 審議事項

- (1) 神港園サニープラザ妙法寺新築工事 入札参加者名簿(案)について
- (2) 入札要項書(案)について

### 【第5回臨時理事会】 書面

理事会の決議があったものとみなされた日：令和5年1月11日(水)  
決議事項を提案した者：理事長 高谷雅子  
議事録作成に係る職務を行った者：高谷雅子  
同意役員：理事 9名中 9名  
監事 2名中 2名  
理事会の決議があったものとみなされた事項の内容  
①神港園シルビアホーム大規模修繕工事に係る入札方法及び入札参加資格(公告(案))について

### 【第6回 臨時理事会】

開催日時 令和5年1月16日(月)14時00分～16時04分  
開催場所 神戸市北区しあわせの村1-10  
しあわせの村 2階 会議室  
出席役員 理事 9名中 9名  
監事 2名中 2名

#### I. 審議事項

(1) 新規事業「神港園サニープラザ妙法寺」の建築予定価格について

### 【第7回臨時理事会】 書面

理事会の決議があったものとみなされた日：令和5年1月31日（火）

決議事項を提案した者：理事長 高谷雅子

議事録作成に係る職務を行った者：高谷雅子

同意役員：理事 9名中 9名

監事 2名中 2名

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

①神港園シルビアホーム大規模修繕工事に係る入札参加資格者名簿（案）

②神港園シルビアホーム大規模修繕工事 入札要項書（案）

### 【第8回臨時理事会】 書面

理事会の決議があったものとみなされた日：令和5年2月8日（水）

決議事項を提案した者：理事長 高谷雅子

議事録作成に係る職務を行った者：高谷雅子

同意役員：理事 9名中 9名

監事 2名中 2名

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

①神港園サニープラザ妙法寺新築工事に関する借入金について

②神港園シルビアホーム大規模修繕工事 入札予定価格について

### 【第9回 臨時理事会】

開催日時 令和5年3月6日(月)14時00分～15時00分

開催場所 神戸市北区しあわせの村1-10  
神港園しあわせの家 2階 会議室

出席役員 理事 9名中 9名

監事 2名中 2名

#### I. 審議事項

(1) 「神港園サニープラザ妙法寺」建築工事に係る工事請負契約書について

(2) 「神港園シルビアホーム」大規模改修工事に係る工事請負契約書について

(3) 「神港園サニープラザ妙法寺」新規事業に係る借入金について

### 【第3回 定例理事会】

開催日時 令和5年3月20日(月)14時00分～17時47分

開催場所 神戸市北区しあわせの村1-10  
しあわせの村 2階 会議室

出席役員 理事 9名中 9名

監事 2名中 2名

## I. 審議事項

- (1) 令和5年度事業計画（案）
- (2) 令和4年度期末補正資金収支予算（案）について
- (3) 令和5年度資金収支予算（案）
- (4) 定款変更について
- (5) 規程変更について
  - ①組織規程及び組織規程別表の改定
  - ②就業規則改定
  - ③給与規程及び給与規程別表の改定
- (6) 幹部職員の人事について
- (7) 妙法寺新規事業隣地について
- (8) 令和4年度第2回定例評議員会招集の件  
開催日：令和5年3月30日（木）14：00～16：00 予定  
場 所：さん舞子神港園 3階多目的ホール

## II. 報告事項

- (1) 令和4年度神戸市指導監査結果について

### 【第2回 定例評議員会】

開催日時 令和5年3月30日（木）14時00分～17時25分

開催場所 神戸市垂水区五色山7-12-38  
さん舞子神港園 3階多目的ホール

出席役員 評議員 11名中 10名  
監事 2名中 1名

## I. 審議事項

- (1) 令和5年度事業計画（案）について
  - ①法人総括
  - ②法人本部 しかわせの村保育園
  - ③養護老人ホーム神港園 神港園シルビアホーム
  - ④神港園しかわせの家
  - ⑤神港園サニーライフ白川 介護しょっぷ神港園
  - ⑥さん舞子神港園 ⑦さん舞子神港園いこいの家
  - ⑧レインボー西宮 酒蔵通
  - ⑨医療事業部（神港園診療所）
- (2) 令和4年度期末補正資金収支予算（案）について
- (3) 令和5年度資金収支予算（案）について
- (4) 定款変更（案）について

## II. 報告事項

- (1) 幹部職員の人事について
- (2) 妙法寺新規事業について
- (3) 令和4年度神戸市指導監査結果について